

第七十回帝國議會 衆議院 請願委員會會議錄(速記) 第四回

會議

昭和十二年三月九日(火曜日)午前十時三十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 中 亥歲男君

理事長野 高一君 理事坪山 德彌君

理事永田 良吉君 中川 重春君

田中 彌助君 國光 五郎君

三宅 正一君 楠木 忠正君

湊 季松君 森 幸太郎君

伊藤東一郎君 古藤増治郎君

橋本 祐幸君 堀内 良平君

田尻藤四郎君 小笠原八十美君

渡邊 泰邦君 植村嘉三郎君

古田喜三太君 中村不二男君

三鬼鑑太郎君 高橋 守平君

田中 源君 加藤 賢司君

佐々木家壽治君 熊谷五右衛門君

村松 久義君 大島 寅吉君

岡田伊太郎君 佐竹 晴記君

出席政府委員左ノ如シ

法制局參事官兼
內閣恩給局長 樋貝 詮三君

內務省神社局長 兒玉 九一君

大藏省理財局長 關原 忠三君

大藏省銀行局長 和田 正彦君

大藏省書記官 谷口 恒二君

大藏書記官 安藤 明道君

專賣局部長 花田 政春君

農林省山林局長 村上龍太郎君

農林省水產局長 原 辰二君

農林省畜產局長 細川 利壽君

委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ

議員石坂 繁君 同北原阿智之助君

同 高木桑太郎君 同 齋藤 直橋君

同 手代木隆吉君 同 坂東幸太郎君

同 東 武君 同 荒川 五郎君

同 河上 哲太君 同 三好榮次郎君

同 西村金三郎君 同 大石 大君

同 南條 德男君 同 澤田 利吉君

同 南雲 正朝君 同 東條 貞君

同 北 勝太郎君 同 牧野 賤男君

同 立川 太郎君 同 三善 信房君

同 安部 磯雄君 同 大竹 貫一君

同 矢野庄太郎君 同 高岡 大輔君

同 杉山元治郎君 同 太田信治郎君

同 林 平馬君 同 福井 甚三君

同 田村 秀吉君

內務書記官 田中 重之君

北海道廳土木部長 中村 忠充君

本日ノ會議ニ上リタル請願左ノ如シ

第一分科(內閣、大藏省所管及他ノ分科ニ

屬セサル事項)ニ屬スルモノ

一 天照皇大神祝祭日制定ノ件(第六號)

二 萬世一系ノ皇統御太元竝肇國ノ紀元

ニ關スル件(第二四八號)

三 公文書ノ平易化ニ關スル件(第二二

六號)

四 皇室用御饌料田設置ニ關スル件(第

一三二號)

五 原始的娛樂ニ對スル課稅免除ノ件

(第二一九號)

六 濟生會診療機關用地諸公課免除ノ

件(第二三二號)

七 酒稅法制定ニ關スル件(第一一二號、

第一一三號、第一一七號乃至第二二二

號、第一五一號乃至第一五九號、第一

七五號乃至第一八〇號、第二一二號、

第二一三號)

八 酒造稅法改正ニ關スル件(第二三五

號乃至第二四四號、第二五六號乃至第

二五八號、第二六一號)

九 酒類販賣業免許制度制定ノ件(第二

三四號)

一〇 舊高知藩士族家祿賞典祿給與未濟

額下附ニ關スル件(第七八號、第二四

七號)

一一 岩手縣南地方ニ無水酒精製造工場

設置ノ件(第二四號)

一二 北海道ニ無水酒精製造工場設置ノ

件(第二七四號)

一三 北海道農業金融政策ニ關スル件

(第二七三號)

一四 大鹿村大字鹿鹽ニ於ケル岩鹽試掘

ニ關スル件(第一六二號)

第二分科(外務省、內務省、農林省及商工

省所管)ニ屬スルモノ

一 甲種防火地區內假設建築物除却期限

延長ニ關スル件(第二八一號)

二 甲種防火地區建築補助金交付期限延

長ニ關スル件(第二八二號)

三 防火地區指定變更ニ關スル件(第二

八三號)

四 御年餅式典施行ニ關スル件(第一三

三號)

五 千種忠顯神社建設ニ關スル件(第

二〇六號

六 官幣大社阿蘇神社造營ニ關スル件
(第二二六號)

七 境港ヲ食肉輸入取締規則第二條ニ
依ル海港ニ指定ノ件(第二三五號)

八 境港ニ移入牛檢疫所設置ノ件(第一
三六號)

九 二十五歳未満飲酒禁止法制定反對ノ
件(第二四五號)

一〇 質屋取締法中改正ノ件(第二四九
號)

一一 穀類搗精製粉取締法制定ノ件(第
七七號)

一二 「奈良月瀬線」及「月瀬上野線」ヲ指
定府縣道ニ復活ノ件(第八〇號)

一三 理髮業者ニ對スル營業稅免除ノ件
(第四二號)

○中委員長 ソレデハ是ヨリ開會致シマス、

此際御報告ヲ致スコトガゴザイマス、兵役
義務者及傷痍軍人待遇改善施設ニ關スル件
文書表第百八十四號外六件、産業組合課稅
反對ニ關スル件、文書表第百三十一號外四
件、產婆法制定ノ件文書表第百九十二號外
二十二件、以上ハ既ニ審査ヲ終リマシタ請
願ト同一趣旨ノ請願デアリマスルカラ、前
同様ノ決議ヲ爲シタルモノト認メマシテ、

ソレト直接議院ニ報告致スコトニ致シマ
ス、左様御諒承願ヒマス——日程第一天照
皇大神祝祭日制定ノ件、紹介者ノ御説明ヲ
願ヒマス——荒川君

○荒川五郎君 天照皇大神祝祭日制定ノ請

願ノ要旨ヲ簡單ニ説明申上ゲマス、諸君、世
界唯一ノ神ノ國トシテ皇統連綿、萬世一系
ノ天皇ヲ戴キ、輝カシイ長イ間ノ歴史ヤ
傳統ノ矜持ヲ持ツ我ガ日本ノ國ニハ各種ノ
意義深い祝祭日ガ制定セラレテ、其日ニハ
嚴カナ祭典ヤ種々ノ行事ガ行ハレ、世界ニ
竝ビナイ光榮アル日本皇民タリ、大和民族
タルノ感激ヲ深ウシ、覺悟ヲ新ニシ、修養
ニ資スルコトハ誠ニ崇高ナル御國振リト申
スベキ國風デ、國家的國民の意義信念ヲ固
メル世界無比ノ民族の特異性ヲ表示スルモ
ノデアリマシテ、一言ニシテ申セバ此祝祭
日ハ大切ナ民族の精神ノ修養日デアリマス、
世間ニハ此日ヲ休日トシテ唯無意義ニ遊ブ
日ノヤウニ思ウテ居ル者モアルヤウデアリ
マスガ、此日ハ神聖清淨ノ聖日トシテ諸業
務ヲ措イテ、長イ歴史ノ傳統ヲ遡ッテ遠キ
昔カラノ神々様ヲ親シク目ノ當リ拜シ奉ッ
テ、以テ民族精神ヲ養フ一ツノ大切ナ修養
日デアリマス、彼ノ明治節ノ御制定ノ御大
詔ニモ茲ニ十一月三日ヲ明治節ト定メ臣民

ト共ニ永ク 天皇ノ遺德ヲ仰キ明治ノ昭代
ヲ追憶スル所アラムトスト仰セラレマシテ、
明治天皇ノ偉大ナル御聖德御大業ヲ追憶
シ奉ルコトハ、吾々ノ覺悟決心ヲ深メル所
デアリマシテ、尊イ意義ノアルコトナノ
ソレト、深い尊イ意義ヲ有スルノデアリマ
シテ、實ニ日本國民ノミノ有スル光榮ト感
激ノ心ノ世界ノ日デアリマス、然ルニ其中
特ニ最モ大切ナ日本民族ノ根源デアラセラ
レ、萬世ニ亙リテ日本民族中心ノ御太祖ニ
在シマス天照大神様ヲ御祀リ申上ゲル祝祭
日ガ特ニ定ッテ居ナイコトハ甚ダ遺憾トス
ル所デアリマス、勿論日本民族タル者ハ日
日ニ其御神德ヲ仰ギ、又元旦ニハ初日ヲ仰
イデ御祭ヲ致スノデアリマスガ、併シ神武
天皇ノ鳥見山ニ於ケル御祭ノ詔ヲ拜シ奉ッ
テモ、特ニ一日ヲ定メテ一段ト嚴カナ意義
深キ祭典ヲ行ヒ、皇祖ノ御天業ヲ仰ギ、鴻大
ナル御盛德ヲ偲ビ感激ト崇敬ノ念ヲ深メ、
民族意識ヲ新ニスル途ヲ講ズルコトハ極メ
テ必要ト存ジマス、代々ノ天皇陛下ガ最モ
莊嚴ニ御親祭遊バス宮中三殿、即チ賢所、
神殿、皇靈殿ハ、東方神殿代々ノ神々様ヲ
祀リ、西方皇靈殿デ神武天皇以來ノ皇靈ヲ
御祀リ申上ゲ、其中央ノ賢所ガ即チ特ニ奉祀

セサセ給フ天照大神ノ御分靈デアリマス、此祭
事ヲ仰イデモ國民の民族の一ツノ御祭日ハ
ナクテハナラス所ト存ジマスル、ソコデ或ハ
皇祖祭トカ天照節ト云フヤウナ適當ナ御名
稱ヲ定メラレテ、其御祭日ハ神武天皇ガ靈時
ヲ鳥見山ニ造ッテ皇祖ヲ御祭リ給ウタ二月二
十三日カ、又ハ垂仁天皇ガ今ノ伊勢ノ渡會
宮ニ皇大神宮ヲ御鎮座在シマシタ九月十七
日カラ最モ適當ノ日ト考ヘマスルト云フ旨
デ、此方面ノ權威者タル今ノ總理大臣林大
將ヲ始メ、町田、奈良、尾野ノ諸大將、
小笠原、佐藤等ノ中將、水野、三上、井上、
山岡、國澤等ノ諸博士、頭山滿、德富猪一郎、
濱田國松、今泉定助、賀茂百樹等斯道ノ名
士ガ連署シテ提出セラレマシタ森嚴ナル請
願デアリマス、茲ニ諸君忠誠ノ御精神ニ懇
ヘ御採擇ヲ謹ンデ御願申ス次第デアリマス
○糧食政府委員 本請願ニ關シマシテノ政
府ノ方ノ意見ヲ簡單ニ申上ゲタイト思ヒマ
スガ、天照大神様ノ御神德彌高ク萬民齊シ
ク欽慕仰景シ奉ル所デアルコトハ申スマデ
モアリマセヌ、而シテ本請願ニ於キマシテ其
御神德ヲ祭祀奉ル爲ニ特ニ祭日又ハ祝日ヲ
定メタイト申スノデアリマスルガ、神宮ノ御
祭ハ即チ天祖ノ御祭ト申上ゲベキデアリマ
シテ、殊ニ神嘗祭ハ神宮トシテ最モ、重要

ナル御祭アリ、且又神宮ニ特殊ナモノデアリマス、而シテ其日ハ既ニ一般ノ休日トモナツテ居ルノデアリマス、仍テ更ニ祭日又ハ祝日ヲ定ムルト云フ必要ハナイト云フ

ハ洵ニ御尤トハ存ジマスケレドモ、唯御趣旨ヲ承ツテ置クト云フニ止メテ置キタイト云フヤウニ存ズル次第デアリマス

ノ御神徳ハ廣大無邊デアルカラ特ニ或日ヲ定メテ御祭リ申スノハ趣意ニ副ハヌト言ハレルノハ、私共ノ更ニ意見ヲ異ニ致ス所デ、サウスレバ 明治天皇ノ御盛徳御大業ノ如キ

カセラレマシテモ、大祭ノ日ト御定メニナリ、御祭ナサイマス、ソレカラ神宮ニ於キマシテモ御祭ナサイマス、無論神宮ニ於キマシテ御祭ナサレマス日ハ十月十七日ニ限

風ニ考ヘテ、從來モ斯ウ云フヤウナ見

○荒川五郎君 只今十月十七日ノ神嘗祭ガ

全國民ガ常ニ之ヲ御追憶申シテ勇進邁往シ

リマセヌノデ、外ニモ色々御祭ハゴザイマ

解デ進シテ參ツヤウナ次第デアリマ

天照皇大神ノ御祭リ日ニ相當スルヤウニ御

ナケレバナラヌノニソレヲ特ニ十一月三日

イマシテ、是ハ只今荒川サンノ仰シヤッタ如

ス、尙ホ請願者ハ二月二十三日又ハ九月十

穀ヲ奉ル日デ、即チ國民ノ五穀ニ對スル御

ニ定メル必要ハナイ、御神徳即チ御稜威ナ

クニ、國民ガ同時ニ御祭スルト云フ風ニナツ

七日ヲ以テ此日ニ充テタイト云フ意見デア

祭ヲ致ス日デアッテ、天照大神様ヲ御祭リ申

ルモノハ六合ニ滿チテ居ルノデアル、ソレガ

テ居リマスケレドモ、ヤハリ神宮デモ御祭

リマスガ、二月二十三日ハ只今御説明ニモ

ス日デナイ、主體ト客體ノ違ヒガアルノデ

其御神徳ヲ常ニ仰グノデアルカラ、御祭

シテ居リマスヤウナ譯デ、尙ホ大正三年ノ

アリマシタヤウニ神武天皇様ガ天照大神様

アリマス、全ク精神ヲ異ニシテ居ル、國民

日ヲ定メナイ方ガ宜イト言ヘバ、總テノ御

御祭ニ付キマシテ定メヲ致シテ居リマシ

ヲ御祭リシタ日デアリ、又九月十七日ハ垂

ノ誠意ヲ以テ作ツタル其新穀タナツモノヲ

祭日ニ總テ同ジ議論ヲ及ボスコトニナルノ

テ、之ヲ恆例ノ御祭ノ日ト云フコトニ定メ

仁天皇様ガ皇大神宮ヲ御鎮座ニナツタ日デ

ク生命ノ糧ヲ奉ルコトハソレハ神様ノ御稜

デアリマス、吾々ハ常ニ俗事ニ齷齪シテ其

テ居リマスヤウナ譯デ、御祭ノ方カラ申シ

アリマシテ、何レモ天照皇大神宮様御自ラ

威ノ御蔭デ是ニ斯様ニ立派ナ新穀ガ出來マ

日其日ヲ送ッテ居リマスカラ、特ニ心ヲ靜メ

マス、是ガ大體天照大神様ノ御祭スル

ニ付キマシテノ由緒ノ日ト云フノデハアリ

シタト云フノデ、其國民ノ生命ノ糧ニ對ス

テ何千年ノ大昔ノ神代ニ溯ッテ行ッテ、サウ

日ト云フ風ニ考ヘテ居ルンデヤナイカト云

マセヌノデ、大神様ノ爲ニ此日ヲ取ッテ、此

ル誠意ヲ表スル日デ即チ新穀祭デアッテ、神

ノ御神業ヲ偲ビ、御聖徳ヲ仰グト云フコト

フ風ニ實ハ思ッテ居ルノデアリマス、是ハ色

ルコトモ如何カト考ヘラレル次第デアリマ

様ヲ主トシテ祭ル日デハナイノデアリマス、

ハ、日本國民ノミノ有スル光榮デアッテ、修

色御見解ノ相違モゴザイマセウケレドモ、

ス、謹ンデ按ジマスノニ、天照大神様ハ天

ニ致シテ居リマス、ソレカラ神武天皇ガ鳥

身上、修養上極メテ必要デアルト思フノデ

ソナナ風ニ考ヘテ居リマス、ソレカラ尙ホ

地創メテ分レ御承知ノ三神ガ造化ノ首ヲナ

見山ニ初メテ皇祖ヲ御祭リニナツタ日カ或

アリマス、只今ノ特ニ説明セラレタル十月

只今私ノ申シ様ガ少シ足ラナカッタカモ知

シ給ヒ又二靈群品ノ祖トナラセ給フニ當リ

ハ垂仁天皇ガ伊勢ノ渡會ニ御鎮座ニナリマ

十七日ト、竝ニ御神徳ハ常ニ仰グノデアル

レマセヌガ、天照大神様ノ御遺徳ハ御宏

マシテ始メテ御生レ遊バサレタ所ノ日トカ

シタ日カガ宜カラウト申スノハ請願人ノ意

カラ、特ニ祭日ヲ作ル必要ハアルマイト言

ソレヲ御祭リ致スノガ不適當ダト云フ風ニ

デアリマスカラ、或日ヲ制定シテ、其日ダ

見デアリマシテ、紹介人ハ果シテソレガ適

ハル、所ハ、式祭日制定ノ趣旨デモアルマ

或ハ言葉ノ末デ申上ゲタカモ存ジマセヌ

ケガ御記念ノ日デアルト申上ゲルノハ却テ

當カハ存ジマセヌガ、請願人ノ特ニ願ウテ

イト思ヒマス、如何デセウカ

ガ、實ハ御承知ノヤウニ、天照大神様ノ御

畏イヤウナ氣ガ致シマスノデ、旁、本請願

居ルノハ其日デアリマス、是ハ御研究ヲ或

ザイマスガ、是ハ御承知ノヤウニ宮中ニ於

遺蹟ニ關シマシテハ、何月何日ガ、ドウ云

ニ付キマシテハ、政府デハ其趣旨ノアル所

ハ要スルカモ知レマセヌガ、唯天照大神様

○總員政府委員 十月十七日ノ神嘗祭デゴ

フ風ニアノ神様ガ御動キニナツタカ、ドンナ風ニオヤリニナツテ居タカト云フコトハ、

御承知ノヤウニ今日ノ文獻其他カラシテ分リマセヌノデ、天地ニ茫邈トシテ居ルト云フヤウナ非常ニ大キナ神様トシテ吾々拜シ奉ルノ外ハナイヤウナ事情ニアリマス、

明治天皇様デアリマスルナラバ、十一月三日ニ御生

レニナツタカ、或ハ其外ノ神様ニシマシテ

モ大體事蹟ナドガ分リマスケレドモ、天照大

御神様ニ付キマシテハ、御年中全部ガ神様ノ

御生レニナツタ日デモアリ、或ハ御事蹟ノ日

デモアルト云フ風ニ考ヘラレマスノデ、御

事蹟ヲ調ベマシテモ、日ノ限定セラレタモノ

ハアリマセヌ、サウ云フヤウナ意味ニ於キマ

シテ、アトカラ外ノ關係ノ所ノ日ヲ引イテ

御祭スルト云フコトニナリマス、ドウシ

テモ偏ルコトニナリハシナイカト云フヤウ

ナコトガ考ヘラレマスノデス、先程 明治天

皇様ノ事ヲ御引例ニナリマシテ、洵ニ其點

御尤ダト思ヒマスガ、文獻、其他御遺蹟ノ

事ハ分リマセヌ點ニ於テ、 明治天皇様ト非

常ニ事情ガ御變リニナツテ居ルト思ヒマス

カラ、サウ云フ所カラ申シマシテ、旁、今日

十月十七日ヲ御祭日ト致シテ居ルト政府デ

ハ考ヘテ居リマスノデ、ソレヲ以テ外ニ日

ヲ定メズ、其日ヲ彌榮ニ御祭スルコトガ

一番相應シクアルノデハナイカト云フ風ニ考ヘテ居リマス、御承知ヲ願ヒマス

○荒川五郎君 政府委員ノ御方ト討論シテ

ハ委員會進行ノ御妨ゲニナリマスカラ、討

論ガマシイコトハ避ケマスガ、天照大御神

様ノ事ハ申上ゲル迄モナイコトデアリマ

ス、隨テ請願人モ御生レニナツタ日、或ハ御崩

御ニナツタ日ト云フコトガ判ラナイカラ、

サウシテ御神德ハ六合ニ普ク、常ニ御神德

ヲ仰グベキダト言ハレルノハソレハ御尤デ

アリマス、併シサウ申シテ、サウシテ一日

モ追憶スル日ガナイト云フコトニナルト、

却テ祭上ゲテ趣意ヲ缺クヤウナ意味ニナル

ト考ヘル、隨テ何レノ日カ御祭日ガアルベキデ

アル、既ニ天照皇大神宮ト云フ特ニ神嚴其ノモ

ノ第一ノ神宮ガ在シテ其宮殿ガシツラヘラ

レテアル以上ハ、其御祭日ト云フモノハ、日本

ノ宮祭ト云フモノノタテリカラ考ヘテモ當

然アルベキダト思フノデアリマス、殊ニ神

武天皇ガ即位ノ四年ニ特ニ御祭ノ時ヲ鳥見

山ニシツラヘラレテ、サウシテ特別ニ嚴カ

ナ御儀式ヲ以テ御祭ヲナサイマシテ、サウ

シテ其御詔ガ日本書紀ニモ出テ居リマス通

リ、我が皇祖ノ靈天ヨリ降臨シテ、朕ガ躬

ヲ光助ケ給ヘリ、今諸ノ虜ドモ已ニ平キ、

海内無事ナリ、以テ天神ヲ祀リテ、大孝ヲ

申ベ給フ、ト仰セニナツタ、其初メテ御祭ヲ

ナサツタ日ガ即チ特ニ明カナル意義アル日

デアリマスカラ、ソレデ其日ガ宜カラウカ、

或ハ伊勢ニ御鎮座ナサツタ日ガ宜カラウカ

ト云フノハ——其特別ナ神代史上、特ニ由

緒アル日、其日ヲ選ンダラ宜カラウト云フ

ノデ、ソレ等ノ點ハ、是ハ歴史家ナリ、敬

神奉仕ノ人ニ依ツテ研究セラレテ宜イコトト

思フ、其日ガドウモ十分ニ分ラヌカラ出來

ナイト云フコトハ甚ダ宜シクナイト思ヒマ

スシ、曩ニ申スヤウニ御神德ハ吾々ガ日々

常ニ仰グノデアリマスガ、常ニ仰グノダト

言ウテ、吾々ハ日々ノ俗事ニ纏礙シテ畏多

イ事ダガ、ソレヲ仰ギ御追憶申上ゲル機會

ヲ失ヒ勝チデアル、ソレデ特ニ之ヲ定メテ

大切ナ吾々ノ民族意識ヲ新ニスルト云フコ

トハ、是ハ偉大ナル精神教育デアツテ、我が

日本國民ノ世界ニ冠タル名譽ハ茲ニ在ルト

云フ吾々ノ大ナル光榮ヲ持テ闡明スル所以

デアルト思フノデアリマス、ソコデ請願人

ハ普通ノ請願人デハアリマセヌ、敬神家ナ

リ國家ノ大官ナリ、ソレ等ノ人ヲ實ハ網羅

シテ、特ニ禊齋シテ此請願ヲ差出ス位ナ極

メテ嚴肅ナ意味ニ於テ御請願申シタ次第デ

アリマス、ドウカ政府ニ於カセラレデモ、委

員諸君ノ忠誠ナル御精神ニ依ツテ、特ニ御探

擇アランコトヲ希望致シマス

○岡田委員 本件ハ天照皇大神祝祭日制定

ノ件ト云フ案件ニナツテ居リマスガ、只今先

輩荒川五郎先生ノ最モ莊嚴ナル御説明ニ、

紹介議員トシテノ意嚮ヲ述ベラレタノデア

リマス、政府當局モ之ニ對シテ、大體ニ於

テ祝祭日制定ト云フコトニ付キマシテハ異

論ハナイ、要ハ請願ノ趣旨モ、成ベク國民

ノ中ニ一人モ殘ラズ所謂天祖皇大神ノ大神

様ニ對スル崇敬ノ念ヲ最モ高ク、此事ヲ國

民ニ思ハシメテ、又政府ニ於カセラレデモ

此請願ノ趣旨ノ祭日制定ト云フコトニ付テ

ハ神嘗祭ガ其事ニナツテ居ルノデアルト云フ

コトノ意嚮デアアルガ、是亦國民ト致シマシ

テハ、必シモ其日ノミヲ以テ祭日ト云フ觀

念ニ止マラズ、四六時中我が國民ハ一日モ

殘ラズ此皇祖皇宗ノ御大德ニ浴シ奉ツテ居

ルコトノ此有難キ次第ヲ國民全體ガ常ニ忘

レズ、ドンナ幼少ノ子供ニ至ル迄モ、此事

ノ深キ念ヲ持タシメルコトガ本請願ノ御趣

旨デアルト考ヘルノデアリマス、相同ジウ

シテ居ル所ノ請願ガ屢、請願セラレマシテ、

審議ハヤハリ採擇デアリマスルカラ、本請

願モ採擇致シマシテ、十分此請願ノ趣旨ヲ

透徹致シマスヤウ政府當局ニ於カセラレマ

シテモ、特ニ留意セラレンコトヲ望ンデ置キタイト思ヒマス

○中委員長 岡田君ノ御意見ニ御異議ゴザイマセスカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○中委員長 ソレヂヤ採擇ト決定致シマシタ

○中委員長 次ニ日程第二、文書表第二百四十八號、萬世一系ノ皇統御太元竝肇國ノ紀元ニ關スル件、之ヲ議題ニ供シマス、紹介議員ノ趣旨御説明ヲ願ヒマス——荒川五郎君

○荒川五郎君 萬世一系ノ皇統御太元竝肇國ノ紀元ニ關スル諸願ノ要旨ヲ手短カニ御説明申上ゲマス、神武天皇以前ハ之ヲ神代ト稱シテ其間ノ歴史ハ明デナイ、神武天皇ガ初メテ人皇第一代トシテ天皇ノ御位ニ御即キニナリ、爾來我國ヲ天皇ノ國ト稱ヘル、ソコデ我が日本ノ國ノ紀元ハ何時デアルカト云フコトハ、神代ノ悠久ナル、之ヲ極ムルコトガ出來ナイガ故ニ、神代ヲ措イテ人皇初代ノ神武天皇ノ御即位ノ元年ヲ以テ我が日本ハ紀元トセラレテ居ル、併シ此ノ紀元ハ日本ガ出來タ紀元デハナイ、日本ハソレヨリ遠ク悠久ナ神ノ國デアアル、併シ特ニ人皇初代ノ神武天皇即位ノ年ヲ以テ先ヅ紀

元トシテ、サウシテ其日ヲ紀元節トシテ國民ノ大切ナ祝祭日ニ定メラル、ト云フコトハ、明治ノ初年ニ於テ御決定ニナッタノデアリマス、併シ其日ハ決シテ日本ノ肇マッタ日デハナイノデアリマスカラ、其當時ノ御詔ニモ爾來ノ歴ニモ必ズソレニハ神武天皇即位紀元ト明記シテアル、是等ハ日本ヲ建テタ建國ノ紀元デナイゾト云フ意味ヲ明ニスル爲デアアル、正歴ハ勿論手帳ヤ何ゾニ載ッテ居ル略歴デモ、必ズ神武天皇即位紀元ト明ニ示サレテアルノデアリマス、然ルニ紀元ト言ヘバ西洋ノ紀元ナドヲ考ヘテ、或ハ亞米利加ガ獨立シテ亞米利加ノ國ヲ建テタ日、滿洲ガ支那カラ分立シテ國ヲ建テタ建國ノ紀元ト云フヤウニ、日本ガ其時ニ建テラレタカノ如キ錯感ヲ與ヘルト云フコトハ、我が日本ノ國體觀念ノ上ニ於テ極メテ大ナル錯誤デアアル、神武天皇ガ國ヲ建テラレタノデアルト言ヘバ、然ラバ神武天皇以前ハ何ノ國デアッタカ、日本デハナカッタノカト云フ大ナル錯感ノ結果、大ナル疑ヲ生ズル譯デアリマス、我が日本ノ國ハ全體建テタ國デハナイ、出來タ國デアアル、我が天地ノ修理固成ト共ニ天之御中主神以來諸々ノ神様ヲ經テ伊弉諾、伊弉冉尊ニ至ッテ御神業ガ大イニ成リ、遂ニ天照大神ノ天壤無

窮ノ御詔勅ニ依ッテ國ノ礎ガ固マッタトモ申スベキモノデアアル、隨テ例ヘバ教育ノ御勅語ニモ「皇祖皇宗國ヲ肇ムルコト宏遠ニ」ト日本ノ國ノ肇メハ實ニ宏遠悠久デアアル、神武天皇即位ノ時デハナイノデアリマス、若シ神武天皇ノ紀元ヲ建國ト言ヘバ——此頃建國祭ト言ウテ、其日ニ日本ガ打建テラレタカノ如ク建國ニ千六百年トカ云フ言葉ガ往シテ行ハレテ居リマスガ、若シ神武天皇ガ建テラレタノデアルトスレバ、神武天皇御東征ナルモノハ、人ノ國ヲ征伐シテ御打建テニナッタノカト云フ大イナル洵ニ懼ルベキ疑ヲ生ズル、日本ハ征伐シテ取ツタ國デハナイノデアリマス、神武天皇ノ御東征ハ景行天皇ノ御東征、或ハ仲哀天皇ノ御東征ト事柄ニ於テハ同ジコトデアアル、多少ノ事實ノ大小ハアッテモ、決シテ人ノ國ヲ征伐シタノデハナイ、日本ノ國內ノマッロハヌ者ヲ御治メニナッタノガ、是ガ神武ノ御神業デアアル、今日國體觀念ノ明徴ト云フコトガ頻リニ唱ヘラレマスガ、神武建國ト云フコトハ、國體觀念ノ最モ不明徴ナル言葉デアアル、神武天皇ガ打建テラレタト云ヘバ、日本ハ征服國家、即チ人ノ國ヲ征伐シテ建テラレタト云フコトニモナッテ來マス、日本ノ成立上極メテ重大デアアル、日本ハ天壤無窮デア

ル、天壤無窮ト云フノハ終リガナイ、終リガナイト云フコトハ始メガナイ、始メガアレバ終リガアル、天壤無窮ト云フコトハ即チ無始デアリ、無終デアルト云フ所ニ日本ガ世界ニ比ビナイ卓越シタル國體ヲ成シテ居ルノデアアル、隨テ神武建國ト云フ言葉ハツイ考ナクシテ言ウタモノデアリマセウケレドモ、今日國體觀念ヲ明徴ニシヨウト云フコトニハ、政府モ特ニ機關ヲ設ケテソレ等ヲ注意スルト云フ大事ナ場合、最モ力ヲ用ヒテ此重大ナ意義ニ於テノ御取扱ガアルベキモノト思ヒマス、隨テ日本ノ紀元ハ神武天皇ガ元デナイ、神武天皇モ御年十五ノ時ニ御父鵜茅葺不合尊様ノ皇統ヲ承ケテ皇太子ニ即カレ、皇太子カラ繼テ天皇ニナラレタノデアッテ、即チ皇統ヲ繼承シテ人皇初代トオ成リニナッタノデ、決シテ御自ラガ初メテ御立チニナッタノデハナイノデアリマス、皇統ヲ承ケテ就カレタノデアアル、隨テ其皇統ヲ遡レバ、神代悠久無始デアアルカラ、至ル所ヲ知リマセヌガ、先ヅ此重大ナ、歴史ニモ意義ヲ存シテ居ルノハ天照大神様ノ天壤無窮ノ詔勅ヲ賜ハッタ、國ノ礎ノ固マッタト申スベキ日ガアル、ソコヲ紀元ニデモスベキデアラウ、此點ハ我が日本ノ成立、所謂神ナガラノ國デアルト云フ精神

ヲ徹底スル上ニ於テ、極メテ大事デアリマスカラ、ドウカ我が萬世一系ノ皇統ノ御太元ヲ 天照大神様ニ定ムルヤウニ願ヒタイト云フ是ハ請願人ノ非常ナ熱心デ、モウ數回本會ヲ煩ハシテ、皆様ノ慎重ナ御審議ヲ經來タツテ居ル問題デアリマス、ドウカ御採擇下サレ、政府ニ於カセラレテモ、此我が世界ニナイ輝カシイ國體ノ根源ヲ明ニスル爲ニハ、特ニ此點ニ重キヲ置カレルヤウニ願ヒタイト思ヒマス

○岡田委員 只今荒川先生カラ續々紀元ヲ遡ッテ神代ノ御話ガアリマシタガ、此請願ハ紀元ノ基礎ヲ今國民ガ奉祀シテ居リマス紀元節ヲ神代時代ニ遡ッテ参リタイ、斯ウ云フ事柄デアリマシテ、請願ノ要旨ノ結論ハ此事ニ付テ學校ノ教科書ヲ變ヘテ貰ヒタイ、斯ウ云フノデアリマシテ、事柄ハ最モ莊嚴ニ扱ハナケレバナラスノデアリマス、又之ヲ請願ノ趣旨ニ副フト云フコトニナリマス、文部省モ玆ニ考慮ヲ拂ハル、必要ガ起キテ來ルト考ヘルノデアリマス、幾回モ請願ヲセラレタコトデアリマシテ、事柄ハ洵ニ我が國民ト致シマシテハ一人モ此御説ニ異論ヲ持ツ者ハナイノデアリマス、故ニ採擇致シテ參ッタノデアリマスガ、慎重ニ審議檢討致シマスナラバ文部所管ニモ關係ガ起キテ來ルノデ

アリマス、採擇致シテ置キマシテ、政府當路ヲ於カレマシテモ十分ニ慎重ナル御考慮ヲ拂ハレンコトヲ望ンデ置キタイト思ヒマス、採擇ヲ願ヒマス

○中委員長 岡田君ノ御意見ノ如ク採擇ニ御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○中委員長 ソレデハ左様決定致シマシタ

○荒川五郎君 只今ノ請願二件共敬虔ナル態度ヲ以テ請願委員會岡田委員ヨリノ發議ニ依リマシテ滿場嚴肅ニ審議一致シテ御贊成御採擇下サイマシタコトハ請願人ハ燃ユルガ如キ忠誠ノ念ガ天ニ達シタコトヲ喜ブダラウト存ジマス、謹ンデ請願委員會ニ對シテ敬意ヲ表シマス

○中委員長 日程第三文書表百二十六號、公文書ノ平易化ニ關スル件、紹介議員ノ趣旨辯明ヲ煩ハシマス

○堀内委員 紹介議員ノ河上哲太君ガ差支ガゴザイマシテ、私ヨリ代ッテ趣旨ヲ申上ゲマス、請願ノ要旨ハ從來我國ノ公文書ハ假名混リ漢文體デアリマシテ、漢字漢語ヲ使用シテ居ルコトガ多イノデアリマスカラ、國民ノ大多數ヲ占メテ居リマス所ノ義務教育終了程度ノ者ニハ難解ノ箇所ガ多イノデアリマス、仍テ政府ハ庶政一新ノ法令ノ中

ニ公文書ノ平易化ト云フコトヲ加ヘマシテ、漸次公文書ニ、文體ハ口語體、用語ハ日常語ヲ採用サレンコトヲ希望スルト云フ、斯ウ云フ趣旨デアリマス、ドウゾ御採擇ヲ願ヒマス

○岡田委員 本件ハ只今紹介議員ノ述ベラレタ通りデアリマス、別段議論ノアル問題デハアリマセヌ、前議會ニ於テヤハリ審議採擇サレタモノデアリマス、直チニ採擇願ヒタイト思ヒマス

○中委員長 採擇ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○中委員長 ソレデハ左様決定致シマス

○中委員長 日程第四、文書表第三百二十二號、皇室用御饌料田設置ニ關スル件、是ヲ議題ニ供シマス、紹介議員ノ御説明ヲ煩ハシマス——紹介者ハ居リマセヌカ

○岡田委員 後廻シニ願ヒマス

○中委員長 ソレデハ一時保留致シテ置キマシテ次ニ進ミマス

○中委員長 日程第五、文書表第二百二十九號、原始的娛樂ニ對スル課税免除ノ件、是ヲ議題ニ供シマス、紹介議員ノ御説明ヲ煩ハシマス

○田村秀吉君 請願ノ趣旨ヲ申上ゲマス、本件ノ請願ノ要旨ハ公休日ニ當ッテ原始的

娛樂ヲ免除シテ戴キタイト云フ請願デアリマス、殊ニ農村ヤ山村ニ於キマシテハ、河

トカ海トカ或ハ山ヤ野ニ於テ色々ナ狩獵ヲ爲スコトヲ自然的娛樂トシテ、之ヲ唯一ノ樂ミト致シテ居ルノデアリマスガ、斯ウ云フコトニ現在ハ狩獵ノ税ガ課カッテ居ルノデアリマス、併シ斯ウ云フ農山村ノ住民ニ、

古來ノ自然的娛樂ニ對シテ税金ヲ課ケズニ、一ツノ自然的ナ樂ミトシテ之ヲ許シテヤッテ戴イテモ、風儀上何等ノ惡影響ハナイト思ヒマスルノデ、昔カラノ山野ニ漁ル所

ノ僅ノ樂ミヲ、比較的文化ノ樂ミニ浴シナイ農山村ノ人々ニ對シテ、自然的ナ娛樂ヲ與ヘテヤリタイト云フノガ此請願ノ趣旨デアリマシテ、農村山村ノ人々ニ對スル一ツノ慰安方法トシテ適當ナル請願ト思ヒマス

ノデ、私紹介ヲ致シマシタ次第デアリマス、何卒御採擇アランコトヲ御願致シマス

○岡田委員 是ハ狩獵法ニ關係スルヤウナ廉モアリマスルガ、要スルニ此請願ハ休日ト云ヒマスルカラシテ、日曜祭日ダケト云フ意味デアリマセウガ、サウスルト平素ハ此事ガナクテモ宜シイト云フ意味ニナルト考ヘマス、而シテ農山村民ニト云フノデアリマスルカラ、是ハ都會ノ人ノ山野ニ狩ラスルト云フコトトハ又別ニナルコトデアリマ

ス、只今田村君カラ風儀ヲ案スヤウナ處モ
ナイト云フ御話デアッタガ、寧ろ是ハ風儀
ヲ案スト云フヨリモ風儀ヲ矯正スル、所謂
都會ノ方面ニ出テ軟風ニ浴スルヨリモ、山
野ニ居ッテ此方面ニ娛樂ヲ得ラレルナラバ
心身共ニ洵ニ結構ナコトデアアル、斯ウ云フ
意味デアアルカラシテ、是ハ寧ろ最モ面白
意味ヲ持ッテセラレタ請願デアルト思フ
マス、採擇致シタイノデアリマスルガ、斯

様ナコトハ唯單ニ獵銃デナクテ、空氣銃カ
何カデヤラウト云フノデアリマセウガ、ソ
レノミデナク川ヤ沼ノ魚類ヲ採取スルコト
モヤハリ之ニ關係ガアラウト思ヒマス、サ
ウ云フヤウナ意味ノ請願デアルト思ヒマス
ガ、當局ハ此請願ノ趣旨ガ能ク分ッテ居リマ
スカ、此程度ノコトナラバ許シテ差支ナイ
ト思ヒマスガ、簡單ニ意見ヲ求メタイト思
ヒマス

○村上政府委員 只今ノ原始的娛樂ニ對ス
ル課税免除ニ對シマスル意見ヲ申上ゲマス、
娛樂ノ爲ニ水産ノ動植物ヲ獲ルト云フコト
ハ、漁業權ヲ侵スコトナク、且ツ漁業取締
規則ヲ以テ制限ヲ致シマシタ範圍外ニ於テ
ハ、現在地方ニ於キマシテ遊漁稅ヲ課シテ
居ル所ガゴザイマスケレドモ、大體ニ於テハ
自由ニ相成ッテ居リマス、併ナガラ假令娛樂

ト申シマシテモ、水産動植物ヲ獲リマス人
ノ數、或ハ其獲ル方法ノ如何ニ依ッテハ漁業
ヲ生業トスル者トノ間ニ色々ナ衝突ナドヲ
來シ、或ハ水産動植物ノ蕃殖ノ點カラ見テ
マシテ、色々ナ弊害ヲ生ズルト云フ風ナ場
合モ考ヘナケレバナリマセヌカラ、其點ニ
付キマシテハ十分考究ヲシナケレバナラヌ
ト考ヘテ居リマス

次ニ狩獵ノ目的ニナッテ居ル野生ノ鳥獸
ハ元來農林業上密接ナル利害關係ヲ持ッテ
居ルノデアリマス、現在デハ野生鳥獸ガ或
ハ森林原野ノ開發、或ハ獵具獵法即チ獵ヲ
スル道具、獵ヲスル方法ナドノ進歩等ニ依
リマシテ、野生動物ガ著シク減少シテ參リ
マシテ、是ガ保護増殖ノ必要ヲ認メテ居ル
ヤウナ次第デアリマス、左様ナ次第デアリ
マスカラ、一定ノ日ヲ決メマシテ、自由ニ
鳥獸ノ捕獲ヲ認メルコトナリマス、或

ハ濫獲ニ陥リ、或ハ濫獵ニ互リ、ソレガ爲
ニ野生鳥獸ノ保護蕃殖ノ上ニ色々ナ影響ヲ
及ボス、ソレガ爲ニ是ガ鳥獸ニ依ッテ何ト
申シマスカ、捕ラレテ居ル農作物等ノ害蟲
等、或ハ害ヲ爲ス動物等ノ蕃殖ノ關係モ考
ヘマスト、色々ナ農業上ノ困難ヲモ生ズル
處モアリハシナイカト考ヘラレルノデアリ
マス、又一面カラ考ヘマスト、一定ノ日ニ

限ッテ無稅デ狩獵ヲ許スコトニナリマス、
稅ヲ納メテ狩獵ヲシテ居ル人トノ權衡ヲ失
スルト云フ虞モアリマスルシ、又農林業上
特ニ有害ナ動物、例ヘバ兎デアルト云フ風
ナモノニ付キマシテハ、既ニ有害鳥獸ヲ驅
除スルコトニ對スル狩獵法上ノ制度ガ設ケ
デアリマスノデ、ソレニ依ッテ捕獲ヲ許可ス
ルヤウナ處置ヲ取ッテ居リマスノデ、一定ノ
公休日ニ自由ニ魚ヲ捕ラシ、或ハ鳥獸ヲ獲
ラスト云フコトニ付キマシテハ、直チニ同
意ヲ致シ難イ考デ居リマス

○岡田委員 政府當局ノ御意向ノ所モ分リ
マシタ、併シ是ハ時間モ許サヌモノデアリ
マスカラ議論ヲシテ居ル餘裕ガアリマセヌ
ガ、要スルニ此請願ノ程度デアラナラバ、
其心ヲ以テ所謂手加減ヲシテ戴イタラ宜イ
ダラウト思ヒマス、其程度ニ於テ採擇ニ決
定シタイト思ヒマス

○中委員長 採擇ニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕
○中委員長 ソレデハ左様決定致シマス
○中委員長 日程第六、文書表第二百三
十二號濟生會診療機關用地諸公課免除ノ
件、之ヲ議題ニ供シマス、紹介議員ノ御説
明ヲ煩ハシマス——紹介議員ノ御出席ガナ
イヤウデアリマスカラ、是モ一時保留致シ

テ次ヘ進ミマス

○中委員長 日程第七、文書表第一百十二
號、第一百十三號、第一百十七號乃至第二十
二號、第五百十一號乃至第五百十九號、第百
七十五號乃至第百八十號、第百九十二號、
第二百十三號、是等ハ皆同一趣旨ノ請願デ
アリマスカラ一括シテ議題ニ供シマス、紹
介議員ノ御説明ヲ煩ハシマス——蔭山君オ
居デニナリマセヌカ

○岡田委員 他ノ人ノモアリマスガ誰モ居
リマセヌカラ、後廻シニ願ヒマス

○中委員長 ソレデハ是モ一時保留シテ置
キマス

○中委員長 日程第八、文書表第二百三
十五號乃至第二百四十四號、第二百五十六
號乃至第二百五十八號、第二百六十一號、
之ヲ一括シテ議題ニ供シマス、紹介議員ノ
御説明ヲ煩ハシマス——土倉サン

○岡田委員 紹介議員ガ居リマセヌケレバ
後廻シニ願ヒマス

○中委員長 是モ保留シテ置キマス

○中委員長 ソレデハ一時保留ニ致シテ居
リマシタ日程第七ヲ議題ニ供シマス——堀
内君

○堀内委員 是ハ同一ノ請願デアリシテ、
私ノ紹介ノモアリマスカラ、私ヨリ申上ゲ

マス、本請願ノ要旨ハ今回政府ノ提案ニ係ル酒稅法案ハ我國酒造界多年ノ要望デアリマスル所ノ酒類庫出課稅制度、各酒類間ニ於ケル稅率ノ均衡化、尙ホ酒類販賣免許制度ノ三點ヲ容認セルモノデアリマシテ、洵ニ時宜ニ適セルモノデアルト云フコトヲ信ジマス、仍テ尙ホ政府デハ前記ノ重要事項中庫出稅制ノ施行ヲ圓滑ナラシムル爲メ、其徵收猶豫期間ヲ二箇月ニ修正延長スルト云フコトノ外、其他ノ諸點ニ付テモ十分考慮ヲ加ヘラレマシテ、是ガ實現ヲ期セラレタシト云フ請願デアリマス、ドウゾ御採擇ヲ願ヒマス

○岡田委員 本件ハ所謂政府ニ於カレマシテモ暫定的ト申シマスガ、改正法ヲ見テ居リ、ソレニ對スル稅率バカリデナク、免許制度等ノ關係モアルノデアリマスシ、徵收期間ノ關係モアリマスガ、是等ニ對スル御考及ビ吾々ハ此方面ノ專門デハアリマセスカラ、ハッキリシナイ點モアルノデアリマス、此場合一通リ御説明ヲ願ヒマス

○安藤政府委員 酒稅法制定ニ關スル件ニ關シマシテ意見ヲ申上ゲマス、本件請願ハ前内閣當時政府ヨリ提出致シマシタ酒造法案ノ制定ニ關スル要望デアリマスルガ、既ニ此案ハ撤回致シテ居リマス、唯此請願ノ

趣旨ニ付キマシテハ、將來稅法改正ノ際ニ篤ト考究致シタイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス

○岡田委員 尙ホ澤山ノ紹介者ガアルノデアリマシテ、其紹介議員デ之ニ對スル紹介ノ趣旨ヲ述ベラレタイ方モアルカモ知レマセヌシ、又委員會モソレヲ聽カント欲スルノデアリマスガ、既ニ前内閣ノ成案ニ依ル時代ノ考ヲ以テ請願サレタモノガ大部分ノヤウニ見受ケルノデアリマス、其後現内閣ニナリマシテ、大體稅法ノ見透シガ付キマシテカラ出タ案モアルト思ヒマスガ、要ハ稅制大改正ノ時期モ迫ッテ居ルノデアリマスカラ、其時分ニ十分此請願ノ趣旨ナドモ考慮セラレンコトヲ望ンデ、何レモ一括採擇ヲ致シテ政府ニ呈シテ置キタイト思ヒマス

○中委員長 採擇ニ御異議ゴザイマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○中委員長 ソレデハ左様決定致シマス

○中委員長 日程第九、文書表第二百三十四號、酒類販賣業免許制度制定ノ件、之ヲ議題ニ供シマス、紹介議員ハオ出デニナラヌヤウデアリマスガ、政府ノ説明ヲ伺ヒマシテ審議シタイト思ヒマス
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○中委員長 ソレデハ左様取計ヒマス

○安藤政府委員 本請願ニ對スル意見ヲ申述ベマス、本請願ハ前内閣當時政府ヨリ提出致シマシタ酒稅法案中ニ規定セラレタルモノデアリマス、同法案ハ既ニ撤回セラレマシタカラ、請願ノ趣旨ニ付キマシテハ將來稅法改正ノ際篤ト考慮スルコトニ致シタイト思ヒマス

○岡田委員 何レモ關聯シテ居ル事柄デアリマスカラ、日程第八同様採擇シテ置キタイト思ヒマス

○中委員長 採擇ニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○中委員長 ソレデハ左様ニ決定致シマス

○中委員長 日程第十、文書表第七十八號、第二百四十七號、舊高知藩士族家祿賞典祿給與未濟額下附ニ關スル件、之ヲ議題ニ供シマス、紹介者ノ御説明ヲ願ヒマス——大石君

○大石大君 此請願ノ要旨ハ大體御配付ノ文書ニ盡シテ居リマスガ、御承知ノ通り、高知藩ガ維新當時天下ノ雄藩ト致シマシテ、薩長其他ノ藩ト共ニ京都ノ守護ノ爲ニ屢、出兵致シ、殊ニ維新ノ大業完成ノ爲ニハ東北ニマデ出兵致シマシテ、王政復古ニ貢獻シタノデゴザイマス、ソレガ爲ニ藩ニ非常ナ

ル負債ヲ生ジ、其負債ノ償還ノ爲ニ各藩士ノ祿高ノ中カラ約三分ノ二ヲ獻納セシメ例ヘバ三百石取ッテ居ルトコロノ藩士ニハ二

百石ヲ償還資金ニ獻納セシメタノデアリマス、他藩ニ於テハソレノ元ノ通り其祿高ヲ復シテ置イタカラ藩士ニ損失ハナカツタ、現ニ鹿兒島藩ノ如キハ政府ニ於テ曩ニ四萬圓モ償還セラレタ、獨リ高知藩ノミガ實際ノ祿高ニ應ズル償還ヲ受ケテ居ラスカラ、未濟額ガ相當ニ殘ッテ居リマス、秩祿償還處分取扱ニ斯様ナ不公平ノアリマスコトハ、嘗ニ高知舊藩士ノ迷惑トナルノミナラズ、國家ノ施設トシテ甚ダ遺憾ノ點ガアラウト思ヒマス、本請願ハ既ニ七回モ本院ニ御採擇ニナツタノデアリマス、ドウカ今回モ御採擇アラントラ御願致シマス

○岡田委員 本件ハ隨分古イ問題デアリマシテ、屢、請願サレテ其儘ニナツテ居リマスガ、委員會ト致シマシテハ別段ニ變化モナイノデアリマスカラ、ヤハリ採擇シテ置クノガ至當デアラウト思フノデアリマス、而シテ本件ニ關シマシテハ目下恩給法ノ改正モ出テ居リマスガ、恩給トハ違ヒマスガ、ヤハリ國家ガ一ツノ補償ヲシテ行クダケノ繼續ノ關係ヲ持ッテ居ル請願デアリマスカラ、ドウ云フ風ニ處理シテ居ラレルノカ、

簡單デ宜シウゴザイマスカラ御説明ヲ願ヒ
タイト思ヒマス

○關原政府委員 此請願ニ付キマシテ、政

府ノ意見ヲ申上ゲマス、秩祿ニ關スル問題
ハ多年ノ問題デゴザイマシテ、皆様能ク御
承知ノコトデゴザイマスノデ茲ニ詳シク申
上ゲル必要モナイカト考ヘマスガ、從來斯
ノ如キ請願ナリ法律案ナリガ此議會ニ現レ
ル度ニ、如何ナル内閣ニ於キマシテモ、政
府ト致シマシテハ遺憾ナガラ御同意致シ兼
ルト云フコトヲ申上ゲテ參ッタノデアリマ
ス、只今岡田サンノ御話ノ如ク、度々委員會
等ニ於テ御探擇ニナッテ居リマスシ、又法律
ニ付キマシテモ、衆議院ヲ通過シタコトモゴ
ザイマスノデ、此際此請願委員會ノ此機會ニ
於キマシテ、政府ノ考ヘテ居リマスコトヲ申
上ゲマシテ、御參考ニ供シタイト考ヘルノ
デアリマス、御承知ノヤウニ家祿ハ舊幕時代
ニ於キマシテ、幕臣ノ生活ノ基礎ニナッテ
居リマシタモノデゴザイマスガ、明治二年ニ
藩籍奉還ニナリマシテ藩知事其他ノ者ノ家
祿ガ減少ヲサレマシタノデアリマス、其
後、翌年ノ三年ノ中ニ藩制ノ制定ガアリマ
シテ、翌四年ニ廢藩置縣トナリマシテ各藩
ノ負債竝ニ家祿等ヲ政府ガ引繼イダノデア
リマス、其當時家祿ニ付キマシテハ相當政

府ノ財政ヲ壓迫スルモノガアリマシタ
ノデ、尙ホ又斯ル制度ヲ今後ニ於テ存
續スルコトモ適當デナイト云フコトヲ考ヘ
ラレマシタノデ、明治九年ニ至リマシテ、
家祿ヲ全廢スルト云フ一大英斷ニ出マシ
テ、ソレト同時ニ家祿公債證書發行條令ト
云フモノニ依リマシテ、家祿ノ廢止ニ代ヘ
テ祿高帳ニ依リマシテ、ソレヲ標準トシ
テ、一定ノ公債證書ヲ給與致シマシテ、サ
ウシテ生活ノ安固ヲ圖ク次第デゴザイマ
ス、然ルニ其當時ノ、只今モ一寸御話ガア
リマシタ如ク、各藩ノ事情ガ區々ニナッテ居
リマシタ關係カラ、其給與ノ方法ニ付キマ
シテ、或ハ給與不足ト云フヤウナ問題ガ喧
シクナリマシテ、明治三十年ニ於キマシテ
家祿賞典祿處分法ト云フ法律ノ制定ヲ見タ
ノデアリマス、之ニ依リマシテ明治九年ニ
致マシタ處分ノ訂正追求ヲ致シタノデアリ
マス、四十年ニ至リマシテハ、其處分ニ對
シマスル行政訴訟ノ途ヲ開ク法律ガ制定サ
レマシタ、然ルニ其後ニ於キマシテモ、此
問題ガ屢、議會ノ問題トナリマシテ、更ニ
大正八年ニナリマシテ、同趣旨ノ法律ガ制
定サレマシテ、更ニ追求等ガ行ハレタノデ
アリマス、明治九年ニ此處分ヲ致シマシテ
カラ、明治三十年ニ至リマシテ、之ヲ修正

追求ヲ致シマシタ趣旨ハ、其當時數百年間
ニ亙リマシタ此家祿制度ヲ全廢致シマシタ
コトガ可ナリ大キナ社會上ノ變革デアリマ
シテ、其當時致シマシタ處分ニ付キマシテ
種々ノ不平ガアリマシタノデ、之ヲ是正ス
ルノガ適當デアルト認メラレタモノデアラ
ウト思ヒマス、其後大正八年ニ法律案ガ制
定セラレマスルニ當リマシテハ、皆様ノ御
承知ノ如ク貴衆兩院ノ委員會ニ於キマシテ
モ、亦本會議ニ於キマシテモ、秩祿ノ問題
ハ之ヲ以テ最終ノ措置トシヨウト云フコト
ヲ委員會ニ於テ、政府ニ於テ説明致シ、又
委員長ノ報告モゴザイマシテ、決定セラレ
マシテ、ソレニ依ッテ手續ヲ致シマシテ、大
體昭和四年ニ此仕事ガ終ッタト云フコトニ
ナッテ居ルノデアリマス、サウ云フヤウナ次
第デゴザイマシテ、明治初年ノ本秩祿ニ關
スル處置ニ付キマシテハ、大正八年ノ法律
ノ制定及ビ是ノ施行ニ依リマシテ、本問題
ガ全部ノ解決ヲ見ルト云フ立前ニ於キマシ
テ、此長キニ亙ッタ重大ナ問題ヲ處理シ終ッ
タノデアリマス、サウ云フ次第デゴザイマ
スカラシテ、其後ニ於キマシテハ、請願等
ノ現レマシタ場合ニ於キマシテハ、常ニ政
府ト致シマシテハ、御同意ヲ致シ兼ネルト
云フコトヲ申上ゲ來ッテ居ルノデアリマス、

而シテ今現ハレテ居リマス請願ハ二ツゴザ
イマスガ、只今御説明ニナリマシタモノカ
ラ申上ゲマスト云フト、此請願ノ要旨ニ、
只今御説明ニナリマシタヤウニ高知藩ニ於
テ明治三年ノ藩制ノ命ズル所ニ依リマシ
テ、藩債償却ノ爲メ、藩士ノ家祿、賞典祿
ノ祿高ノ一部ヲ徵收シテ、之ニ充デテ、例
ヘバ祿高二百石ノモノニ付キマシテハ、一
時百二十石ヲ藩債ノ償却ニ充テ、殘額八十
石ヲ下ゲ渡スコトトナリマシタガ、其後明
治五年、第二百二十六號ノ布告ニ依リマシ
テ、藩債ノ償却ノ爲メ、家祿ノ一部ヲ差出
スト云フコトハ、爾今總テ差免ズルト云フ
コトニナリマシタノデ、其際當然前ノ家祿
ニ復舊スベカリシ筈デアッタニ拘ラズ、復舊
サレナカッタカラシテ、其給與ノ不足額ヲ追
求シタイト、斯ウ云フ意味デアリマス、高
知藩ニ於テ明治二年ニ祿制ノ改正ヲ行ッテ、
一般ニ減祿ヲナシ、其後更ニ削祿細目ヲ定
メテ、明治四年分カラ右明治二年改正祿高
ノ大體三分ノ一ヲ減ズルコトトシタノデア
リマス、然ルニ明治五年大藏省ノ達示ニ依
リマシテ、明治五年分以降ハ再び明治二年
ノ改正祿制ニ復舊セラレマシタ、即チ其結
果ニ於キマシテ、明治四年一箇年分ダケニ
付テノミ削祿細目ニ依ッテ減祿ガナサレタ

譯デアリマス、其後明治八年ノ第三百三十八號ノ布告ニ依リマシテ從來ノ米祿ヲ金祿ニ直シマシタ、次イデ先程申シマシタ明治九年ノ太政官第百八號ノ布告、同百五十二號ノ布告ニ依リマシテ、金祿公債處分ノ際ニハ最後ノ祿制デアル明治二年ノ改正祿高ニ依ッテ金祿公債證書ヲ附與シタノデアリマス、請願者ハ、高知藩デハ明治三年ノ祿制ニ從ッテ藩債償却ノ爲メ家祿ニ分賦シテ祿高ノ一部ヲ差出サシメタリト云フコトデアリマスケレドモ、私ノ方ノ調査ニ依リマスト云フト、ドウモ斯ウ云フ事實ガ認め難イノデアリマス、或ハ請願者ガ藩債償却ノ爲メ舊祿額ノ減少シタト云フノハ、明治二年ノ祿制ノ改正、或ハ明治四年ノ創祿ノ細目ニ依ル減祿ヲ指スノデハナイカト考ヘラレルノデアリマス、若シサウダトシマストハ祿制ノ改正ニ依ル舊祿額ノ減少デアリマスカラシテ、假令其改正ノ目的ガ藩債ノ償却デアッタトシマシテモ、明治五年ノ第百二十六號布告ニ據ッテ前ノ祿ニ復舊セラルベキモノデハナイノデアリマス、隨テ請願者ノ言フヤウナ祿高ノ給與不足ハ、是ハナイト見ナケレバナラスト思フノデアリマス、併ナガラ此點ハ姑ク措キマシテ、假ニ請願者ガ主張致シテ居リマサウニ、家祿賞典祿ノ給與未

濟額ガ此處ニアッタト致シマシテモ、今日はガ救濟手段ヲ講ズルト云フコトニ付キマシテハ、遺憾ナガラ御同意致シ兼ネルノデアリマシテ、之ヲ二ツノ場合ニ分ケテ申シマスト、金祿公債ノ處分ヲ致シマシタ前ノ年ノ祿高ノ給與未濟、之ニ對スル救濟ト、金祿公債處分ノ際ノ金祿公債證書ノ給與未濟額ニ對スル救濟トニ分ケテ見ナケレバナラスト思フノデアリマス、ソレデ前ノ方ノ金祿公債處分前ノ年々ノ祿高ノ給與未濟額ニ對スル救濟ニ付テ考ヘテ見マスト云フト、斯ウ云フモノニ對シテ給與未濟額ガアッタト致シマシテモ、是ガ救濟ノ爲メ今日手段ヲ講ズルコトハドウモ御同意シ兼ネルノデアリマス、其理由ハ、第一ニ他ノ債權トノ權衡ヲ考ヘテ見テ適當デナイト思フノデアリマス、ト謂ヒマスノハ、茲ニ給與不足分ノ救濟ヲ受ケヨウトシテ居リマス金祿處分前ノ年々ノ家祿ト云フモノハ、今日デ申上デマスレバ、丁度俸給トカ、或ハ俸給類似ノ國家ニ對スル普通ノ債權デアリマス、國家ニ對スル他ノ一般ノ債權ト、性質上何等違ッテ居ル所ガナイノデアリマシテ、其取扱ヲ異ニスベキ理由ヲ認め難イノデアリマス、斯ウ云フヤウナ債權ヲ六十年モ經チマシタ今日、之ヲ採上デマシテ是ガ復活ヲ認め

テ其請求ヲ許スト云フコトニ致シマスコトハ、是ト類似ノモノトノ權衡上認めザルヲ得ザルモノガアルト思ヒマス、サウ致シマスト、一般ニ國及ビ社會生活上時効制度ヲ認メテ居リマス、殊ニ國ニ對スル恩給、俸給等ニ對シテハ、五年トカ七年トカ云フ短期ノ時効ヲ認メテ居リマス精神ヲ全然沒却スルコトニナリハシナイカト云フヤウニ考ヘマス、ソレカラ第二ニハ先程申上デマシタヤウニ、此秩祿處分ニ對スル從來ノ沿革カラ見テ、今日之ヲ採上デスルコトハ如何カト考ヘルノデアリマス、ソレカラ第三ハ救濟ノ問題トシテ考ヘテ見マシテモ、先程御紹介ノ御言葉ノ中ニモゴザイマシタヤウニ、當時明治維新ニ際シテ藩制施行前後ニ於テ減祿ガ行ハレ、又明治九年ニ至リマシテ此一大變革ヲ致シマシタ時ニハ、各藩ノ事情モ色々異ッテ居リマス、又藩債償還ニ充當セシムルト云フ方法ニ付キマシテモ、或ハ減祿致シタモノモゴザイマスシ、或ハ御返シ米等ト稱シマシテ、其中カラ割イタト云フモノモアリマス、サウ云フヤウナ譯デアリマシテ、當時ノコトヲ今日私共ガ想像致シテ見マスト、實ニ御同情ニ堪ヘナイモノガアルノデゴザイマスルガ、併ナガラ六十年後ノ今日ニ至リマシテ、其當時ノ事

情カラ今日マデ債權ガ繼續シテ居ルトハ考ヘラレナイノデアリマシテ、今日ニ至リマシテ此救濟問題ヲ取扱フト云フコトハ、ドウモ適當デハナイト云フヤウニ考ヘルノデアリマス、第四ニハ今日ノ我國ノ財政狀態デアリマス、御承知ノ如ク國費多端、財政窮乏致シマシテ、赤字ヲ出シテ居ルト云フヤウナ場合ニ於キマシテ、國庫ノ支出ヲ致シマスノハ、理由ガ十分ナモノデナケレバ國民ノ同意ヲ得ルモノデハナイト考ヘルノデアリマス、第五ニ吾々ノ事務ヲ處理スル方面カラ申シマシテモ、何シロ六十年前ノコトデアリマシテ、此調査ガ中々困難デアリマス、或ハ場合ニ依ッテハ調査ガ不能ノモノモアリハシナイカ、サウ致シマス、是ガ適當ニ權衡ヲ得タル給與ヲ致スコトハ困難デハナイカト考ヘルノデアリマス、ソレカラ處分ノ際ノ金祿證書ノ給與未濟額ト云フコトニ對シマシテハ、冒頭ニ申上デマシタヤウニ、明治九年ニ行ハレタコトヲ明治三十年ニ直シ、更ニ之ヲ最終トシテ大正八年ニ又直シタト云フヤウナ狀態デアリマスカラシテ、今更此問題ヲ採上ゲルト云フ筋デハナカラウカト考ヘラレルノデアリマス、斯様ナ次第デアリマシテ、政府ト致シマシテハ、此請願ニ對シマシテハ遺憾ナガラ御同意致シ兼ネ

ルノデアリマス、皆様御承知ノ如ク士族ノ問題ハ多年ノ問題ト致シマシテ政府ノ考ヘテ居リマスコトハ十分御説明申上デマシテ、皆様が請願ナリヲ御處理下サレマスルニ付キマシテ、十分政府ノ意ノ在ル所ヲ御諒察下サランコトヲ希望致ス次第デアリマス

○岡田委員 只今當局ノ縷々之ニ對スル事情ヲ伺ヒマシタガ、同情スベキ點ハアルガ、可ナリ古イ問題デゴザイマス、先ヅ問題ハ時効ニ掛ツタトデモ申シマセウカ、サウ云フヤウナ事情デアリマス、併シ斯ウ云フヤウナ請願ハ何時マデモ國家ガ此請願者ノ願出デ行クト云フコトヲ此儘ニシテ置クト云フコトハナンドスカラ、適當ニ何カ多少ノ志ヲ付ケテ御處理ナサツタ方ガ宜イノデハナイカト思ヒマス、從來審議採擇サレタノヲ、只今ノ御意見ニ依ッテ迎モ是ハ見込ガナイカラ參考ニ付スルト云フ譯ニモ參リマス、ヤハリ採擇ニシテ置キマシテ、當局ハ何カ多少ノ志ヲ付ケテ解決ヲ付ケラレルヤウナ方法ヲ講ジラレタ方ガ宜イト思ヒマス、採擇ニ願ヒマス

○中委員長 只今ノ岡田君ノ御意見ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○中委員長 ソレデハ左様ニ決定致シマス

○中委員長 日程第十一、岩手縣南地方ニ無水酒精製造工場設置ノ件、文書表第二百二十四號、之ヲ議題ニ供シマス、紹介議員ノ趣旨辯明ヲ煩ハシマス

○岡田委員 紹介議員ガ居マセヌカラ後廻シニ願ヒマス

○中委員長 ソレデハ第十一ハ保留致シテ置キマス——日程第十二、北海道ニ無水酒精製造工場設置ノ件、文書表第二百七十四號、之ヲ議題ニ供シマス

○北勝太郎君、北海道内ニ於テ昭和十二年カラ馬鈴薯ヲ原料トズル無水酒精製造工場ヲ設置シテ戴キタイト云フ請願デアリマス、馬鈴薯ハ御承知ノ如ク寒地作物デアリマシテ、北海道ニ於ケル冷害克服上最モ大切ナ作物デアリマス、北方農業救済ノ上カラモ是非是ガ栽培ヲ獎勵シナケレバナラスノデアリマス、馬鈴薯ハ品種ノ改良ト耕作法ノ改善トニ依リマシテ、驚クベキ收穫量ヲ擧ゲテ居リマシテ、今ヤ實收八百万貫以上ニ達スル狀態ニナツテ居リマスノミナラズ、從來酒精量ガ少イト信ゼラレテ居ツタヤウデアリマスガ、最近斯界ノ權威者ニ依リマシテ必シモサウデナイコトガ主張サレテ居ルノデアリマス、ノミナラズ北海道ニハ現在七十五万町歩ノ畑地ガアリマス、全國畑地

ノ約二割五分ニ當ツテ居リマス、尙ホ今後開拓ノ餘地ガ非常ニ多イノデアリマシテ、國家所要量ノ全額ヲモ充シ得ルノデアリマス、而モ尙ホ餘力ガアルト云フヤウナ有様デアリマス、加之近時軍需豫算ガ關東以西ノ地ニ消化サレテ、國家施設ノ偏在致スコトハ國策トシテ採ラザル所デアリマスカラ、北方農業救済ノ意味ト、公平圓滿ナル國策ヲ遂行スルト云フ意味ニ於キマシテ、是非北海道ニ無水酒精工場ヲ設置シテ戴キタイト云フノデアリマスカラ、ドウゾ御採擇ヲ願ヒタイト思フノデアリマス

○岡田委員 本請願ハ國家ノ最モ重要ナ問題デアアル燃料自給自足ノ一端ノ振興ノ問題デアリマシテ、幸ニ是ガ國策トシテ實現サレル時期ニ當リマシテ、主トシテ當局ニ於ケレハ甘薯ガ最モ適當デアアル、馬鈴薯デ作ル酒精其モノハ品質ニ於テ變リハナイガ、馬鈴薯其モノガ所謂「パーセンテージ」ガ低イ、或ハ貯藏ニ堪ヘ難イ、色々ノ點ニ於テ適當ニ非ザルヤウニ考ヘテ居ラレタ時ガアツタヤウデアリマス、其後段々研究ノ結果サウデハナイ、是ノ取扱方法ニ依ッテハ寧ロ甘薯ヲ本體トスルヨリモ馬鈴薯ヲ本體トスル方ガ宜シイ、此馬鈴薯ハ何處ガ一番適當カト申シマスル

ト北海道ガ最モ重要ナル產地デアアル、只今紹介議員トシテ北君ノ述べラレタ廣袤七十万町歩ト云フ農耕適地ニ互ッテ馬鈴薯ヲ栽培スルニ最モ適シテ居ル、此方面ニ於キマシテ、此工場ヲ造ルト云フコトハ北海道ノ拓發ノ上ニモ洵ニ結構デアリマスガ、國家ガ求メントスル所ノ無水酒精ヲ造ル上ニ於キマシテモ非常ニ便利ト經濟ヲ見ルコトガ出來ルノデアリマス、獨リ北海道ダケデアリマセヌ、是ハ東北ニモ關係ガアリマシテ、只今後廻シニナツテ居リマスル松川君ノモヤハリ一部ソレガアルノデアリマス、要スルニ北海道、東北方面ノ廣イ餘裕ノアル農耕地ニ馬鈴薯ヲ盛ニ作ラセ、サウシテ國家ハ此自給自足ノ一端ヲ北方ニ於テ求メラル、コトガ最モ適當デアルト思ヒマス、多クハ意見ハ述べマセヌガ、當局モ之ニ對シテハ先日ノ委員會ニ於キマシテモ略々御同意ノコトト承ツテ、吾々ハ大イニ喜ンデ居ル者デアリマス、尙ホ此場合簡單デ宜シウゴザイマスカラ、本請願ニ對スル御意向ヲ承ツテ處理致シタイト思ヒマス

○坂東幸太郎君 私モ紹介議員デスガ、只今北君ノ説明、又岡田君ノ御話デ分ッテ居リマスガ、尙ホ一言附加ヘマスノハ、此無水酒精ノ御計畫ハ國防上カラ來テ居ルト云フ

コトハ是ハ當然デアル、所ガ其計畫ノ内容ハ、七年度計畫ダト云ッテ居リマスガ、軍部ノ方デハ五年ヲ主張シテ居ル、所ガ一方北海道ハ御承知ノ通り茲數年間屢、洪水ガアリマシテ、非常ニ困ッテ居リマス、此馬鈴薯ハ寒地農業デアリマスカラ北海道ニハドウシテモ無クテハナラス所ノ農業デアリマス、ソコデ國防上ノ必要ヲ充ス爲ニ、又北海道ノ凶作ヲ豫防救済スルト云フ點ニ於キマシテモ、ドウシテモ十二年度カラデナケレバナラス、然ルニ今度ノ豫算ニ依リマスルトソレガ無イラシイ、デアアルカラ出來ルコトナラ住民ノ爲ニ十二年度カラ之ヲ實行シ、若シ出來ナイナラバ明年度カラドウシテモ之ヲ實行スルヤウニ、七年計畫ヲ五年ニ短縮シテ貫ヒタイト云フコトヲ追加シテ、是非共之ヲ實行シテ貫ヒタイト云フ意味ニ於キマシテ御採擇アラシコトヲ御願致シマス

○花田政府委員 只今御話ノアリマシタ無水「アルコール」ノ工場ヲ北海道竝ニ東北方面ニ置クト云フ請願ノ趣旨デアリマスガ、御趣旨ニ付キマシテハ政府ト致シマシテモ全ク同意見ナノデアリマス、唯前ニ請願ノ時ニ他ノ政府委員カラモ説明致シマシタヤウニ、現在專賣局デ計畫致シテ居リマスル無水「アルコール」ノ製造原料ト致シマシテ

ハ御話ノ通り甘藷竝ニ馬鈴薯ヲ使フト云フコトニ計畫ヲ致シテ居リマス、ソレデ此甘藷ト馬鈴薯ノ問題デアリマスガ、是ハ今御話ニナリマシタヤウニ價格ノ點トカ、或ハ貯藏ノ點トカ、製造技術ノ點トカ、サウ云フコトカラ致シマシテ、先ヅ昭和十二年度ニ於キマシテハ甘藷ヲ主トシテ作ラウト云フコトニナッテ居ルノデゴザイマス、ソレハ出來マシタ「アルコール」ヲ「ガソリン」ニ混入シマス上ニ於キマシテ、「ガソリン」ノ價格ヨリハ高クナク供給スルヤウニシタイト云フコトニナリマス云フト現在ノ計畫デハドウシテモ「ガソリン」ノ市價ヨリモ無水「アルコール」ノ生産費ノ方ガ高ク掛ル譯デアリマス、詰リソレダケ國庫ノ損失ニナルノデアリマス、其意味ト、ソレカラ尙ホ別ニ御協賛ヲ願フコトニナッテ居リマス揮發油竝ニ「アルコール」ノ混用法ニ於キマシテ或ル程度ノ供給數量ヲ專賣局ノ方デ持タナケレバナラナイト云フコトカラシテ、昭和十二年度ニ於キマシテハ差當リ甘藷ヲ以テ製造スル、サウシテ其間ニ農林省或ハ北海道廳等ニ於キマシテ其貯藏ノ方法ナリ、乾燥ノ方法ナリ、其他技術上ノ點モ研究スル、サウシテ出來ルダケ早イ期間ニ於テ東北竝ニ北海道方面ニ馬鈴薯ヲ原料トスル無

水酒精工場ヲ造ラウト云フコトニナッテ居リマス、ソレデ北海道廳ノ方ニ於キマシテモ來年度カラ種々其研究ニ掛ルコトニナッテ居リマス、ソレカラ御話ノ成ベク早く餘計ニ供給スルヤウニシタラト云フコトモ、是モ豫算ノ許ス範圍内ニ於キマシテ專賣局ト致シマシテハ造リタイト思ッテ居リマス、出來ルダケ請願ノ趣旨ニ副ヒタイト思ッテ居リマス

○永田委員 私ハ此請願ニ對シテハ至極贊意ヲ表スル次第デアリマスガ、此機會ニ一口政府當局ノ説明ニ付キマシテモウ少シ分ラヌ點ガアリマスカラ、是ハ重要問題デアリマスノデ御尋シテ置キタイト思ヒマス、馬鈴薯モ無論私共ハ贊成スル譯デスガ、十二年度ニ御實施ニナル甘藷ヲ原料トスル工場ガ最初ハ七箇工場ト云フコトニ承ッテ居タノデアリマス、今馬鈴薯ハ北海道東北ヲ中心トシテ居ラル、ガ、甘藷ニ於テハ御覽ノ通り私共ハ鹿兒島縣ハ芋ノ本場デアリマスカラシテ、此地方ニハ隨分御研究ヲ遊バシテ、慥カ工場モ鹿兒島縣ニハ出水其他ニ於テ二工場位設置ガアリハセヌカト仄ニ承ッテ居ッノデアリマス、所ガ鐵ノ原料ガ騰ルトカ、色々ナ都合デ最初ノ七箇工場ノ計畫ヲ最近ニ於テ五箇工場カニ減ゼラレタヤウ

ニ承ッテ居ルノデアリマス、是モ或ハ仕方ナイカモ知レマセスガ、但シ鹿兒島縣ノヤウナ甘藷ヲ最も多量ニ産スル地方ト又鹿兒島縣ノ半分、三分ノ一モ出來ナイヤウナ場所トフ同ジク取扱ッテ貫ッテハ大變迷惑スルノデアリマス、殊ニ鹿兒島縣ノ如キハ大隅ト薩摩トハ鹿兒島灣ヲ隔テ、交通其他ノ點ニ於テ一樣ニ見ルコトハ出來ヌノデアリマス、薩摩ニ工場ヲ造ッテ置イテモ大隅デハ其恩惠ヲ蒙ルコトモ出來ヌ、又芋ハ大隅ガ本場デ、大隅ニ行キマスト一名高須芋ト云ッテ居リマス、大隅ノ方ガ鹿屋ヲ中心トシタ方ガ原料モ多イシ工場ノ要件モ備ッテ居ルノデアリマス、ソレヲ何ノ事情カ知リマセスガ、大隅ハ後ニシタ、英雄豪傑ハ薩摩ノ方ガ多イカ知ラヌガ芋ハ大隅ガ多イノデアアル（笑聲）ソレヲ政府當局ハ取違ヘテ居ラレルノデハナイカ、斯ウ云フ問題ハ政府委員ノ方ハ公平ナル判斷ノ下ニ仕事ヲヤラスト、北海道ニ不平ガアルヤウニ芋ノ本場ノ鹿兒島縣ニモドンナ不平ガアルカモ知レナイ、十年戰爭後永クヤッテナイカラ、何時爆發スルカモ知レマセス、之ヲ餘程御注意ヲナサッデ是等ノコトヲ御研究アラシコトヲ希望スル者デアリマス、七箇工場ガ五箇工場ニ減ッタコトハ事實デアリマスカ、又鹿兒島縣ノ如

ク、北海道ノ如ク馬鈴薯甘藷ニ於テ多量ニ生産スル所ハ其權威ヲ認メテ戴イテ、農村ノ振興、燃料國策上重要ナル案件デアリマスカラ、其重要ナ基礎條件ヲ外レヌヤウニナツテ戴キマセスト云フト 鹿兒島縣ノ如ク、原料ノ少イ薩摩ヲ先ニヤツテ原料ノ多イ大隅ヲ後廻シニスルガ如キハ、官僚政治ノ最モ惡イ所デアリマスカラ、サウ云フコトハマダ發表ニハナラヌケレドモ、仄ニ聞イテ心配シテ居ルノデアリマス、物事ハ出發點ガ一番重要デアリマスカラ、此際ニ十分調査ヲセラレテ決定セラレンコトヲ希望スルノデアリマス、之ニ對シテ簡單ナル御所見ヲ伺ツテ置キマス

○花田政府委員 御話ノ通り無水「アルコール」ノ工場ノ設置ト致シマシテハ大體七箇所ヲ單位ニシテ豫算ガ計上シテアルノデアリマスガ、今御話ノ通り工場ノ機械等ニ非常ニ多クノ鐵材ヲ要シマスノデ、ソレノ値上リニ依ツテ果シテ七箇所出來ルカドウカト云フコトヲ今心配シテ居ル次第デアリマス、五箇所ト決ツタ譯デモアリマセヌ、七箇所豫算ノ許ス範圍ニ於テ出來ルダケ餘計造リタイト云フ風ニ考ヘテ居リマス、ソレカラ今鹿兒島縣ニ設置スル無水「アルコール」ノ工場ノ御話ガアッタノデアリマスガ、

原料產地トシテ甘藷ノ餘計出來ル所ヲ目標トスルコトハ勿論デアリマスガ、其他ニ甘藷ノ價格ノ問題、ソレカラ無水「アルコール」ノ製造事業ノ性質、地下水ガ非常ニ豊富デナケレバナラスト云フト、ソレカラ製造工程ニ於テ出テ參リマスル殘滓ノ處分ニ便利デナケレバナラスト云フト、又製品ノ供給上輸送關係ノ便宜デアルコト等、サウ云フコトモ考慮シテ決定スル次第デアリマシテ、或ル地方ニ設置シマスル場合ニ、何處ノ地方ニ設置スルカト云フコトハ、原料供給ノ點ニ關シテ供給ヲ求メテ居ル農林省ナリ又地方當局ナリ、縣當局ノ意見ヲ聽キマシタ上デ決定スル譯デアリマシテ、マダ鹿兒島縣ニ於テ何處ニト云フコトヲ決定シテ居ナイト思ッテ居リマス、サウ云フ點ヲ考慮致シマシテ決定シタイト思ッテ居リマス

○東武君 私ハ請願ノ紹介者トシテ一寸一言申シマスガ、燃料國策ノ一端トシテ無水「アルコール」ノ工場設置ト云フコトハ大方々ニ問題ニナツテ居ルノデスガ本請願モ北海道前大學總長ノ佐藤昌介君ガ請願シテ居リマス、私共一同ガ紹介者ニナツテ居ルノデスガ、此燃料國策トシテ無水「アルコール」ヲ製造スルト云フコトニ付テノ大體大

藏省專賣局ノ見當方間違ッテ居ル點ガアルト思フ、私共政民兩黨共ニ請願シテ居リマスガ、非常ニ不平ナノデス、ソレハ燃料國策トスルナラ非常ニ國家ガ大キナ犠牲ヲ拂ハナケレバナラス、又燃料ト云フモノヲ國策トスル爲ニハ石炭液化、無水「アルコール」ト云フヤウナ有ユル資源ヲ以テ科學的ニ需給ノ幾分デモ補ヒタイト云フノガ國家的ノコトデ國防ノ本義ダトモ思フ、所ガ今度製造スルト云フヤウナ箇所ナドヲ見マシテモ、其趣意ニ副フ點ハ全然ナイトハ申シマセヌケレドモ、農村救済ノ意味トハ是ハ大分違フト思フ、只今紹介議員ノ同僚諸君カラノ御話ガアリマシタガ、ソレハ一ツノ農村救済ト言ツタ位デ、農村救済ト云フノハ第二義的デアアル、是モ全然農村救済ニナラスト云フ意味デハナイガ、併シ多量ニ生産シテ多量ニ廉價ニ之ヲヤルト云フノデナケレバ、唯試驗的ニ官廳ノ役人ヤ技師ガ給料ヲ取ツテヤルト云フノナラバ、是ハ效果ハ奏セナイト思フ、ソレニハドウ云フ方法ヲ用ヒルカト云ヘバヤハリ面積ガ非常ニ大キクアツテ、サウシテ彈力性ガアツテ、サウシテ將來性ヲ十分ニ持つツ云フ所ニ指定シテ、大キナ方法デヤラナケレバナラス、本當ノ試驗的ト云フコトナラバ現在ノデモ宜イカ

モ知レマセヌガ、無水「アルコール」デ國防ノ一端ヲ是デ補フト云フノニハモウ少シ見解ヲ廣クシテヤラナケレバナラスト思フ、ソレニ對シテハ今鹿兒島ノ永田君ノ御話ガアリマシタ、私共甘藷ガ惡イトハ申シマセヌ、惡イトハ申シマセヌケレドモ、甘藷ノミニ依ツテ斯ウ云フ事業ヲヤルト云フコトハ是ハ誤ッテ居ルト思フ、是ハドウシテモ馬鈴薯、又菊芋ナドニ依ッテ——東北振興會社ナドハ菊芋ノ獎勵ヲシテ居ル、是ハ食用ニハナラヌケレドモ、含有量ハ多イ、馬鈴薯ナドハ北海道ナドハ七十万町歩ノ面積デ今デモ二千万圓以上ノ生産ヲ舉ゲテ居ル、工業化シテ之ニ對シテ現ニ「アルコール」ノ原料トシテ製造シテ居ルモノモアル、是等ヲ一應調査モシナイシ、研究モシナイ、サウシテ唯机上ノ上デ專賣局デ此地方ガ宜カラウ、アノ地方ガ宜カラウト云フコトヲ言ッテ、ホンノ杓子定規的ナコトヲヤルト云フノハ非常ニ誤ッテ居ルト思フ、ソレデ東北、北海道ノ者ハ非常ニ之ニ對シテ不平ヲ持つテ居ル、馬鈴薯ノ如キ將來性ノアル、非常ニ豊富デ生産ヲ舉ゲルモノガアルノデアツテ、マダ今後之ヲ擴張シテ耕作シヨウトスレバ、何万町デモ何十万町デモ出來ルモノガアル、サウシテ北海道ニハ特ニ工業試驗

場ト云フモノガアツテ、是等ニ對シテノ價格、サウシテ「ガソリン」ノ價格ノ研究モ大抵出來テ居ル、馬鈴薯百斤ノ價ガ現在九十六錢、一貫匁當リノ單價ガ六錢、澱粉ノ含有率ガ二〇%、百斤當リ酒精ニシテ四升二合、製造經費ガ十圓、一石當リノ價格ガ三十二圓八十五錢、酒精一「ガロン」當リノ價格ガ六十八圓九十八錢、斯ウ云フ風ニ今相當研究シテ居ルノデアル、是等ニ對シテ北海道ナドハ全然除外シテ一ツノ試驗場モ作ラヌト云フコトハ——何モ北海道ノ農業ノ救済ト云フヤウナコトニハ此工場ヲ一箇所持ッテ行ッテ何程ノコトモナイケレドモ、國策トシテ苟モヤルト云フナラバ、斯ウ云フ馬鈴薯ナドヲ除外シ、北海道ノヤウナアノ廣漠タル寒地農業ニ適スルヤウナ豐富ナ所ヲ除外シテ、サウシテ小サナ工場ヲ千五百町歩ト云フヤウナ目安デ全體ヲ計畫シテヤルト云フコトハ、餘リニ識見ノナイ仕事デハナカラウカト云フノデ、一同非常ナ不平ヲ持ッテ居ルノデアリマス、只今ノ御説明ヲ承リマシテ全體サウ云フ計畫ヲ持ッテ居ラヌト云フ譯デハナイ、明年度等ニ於テ必ズハ實行スルト云フコトヲ只今政府委員ガ言明サレタコトニ依ッテ、強イテ此點ヲ責メル必要ハナイノデアリマスガ、ドウカ

モウ少シ研究ヲ廣クシテ大キナ見地カラシテ此國策、國防ノ完成ヲスルト云フコトニ對スル所謂燃料國策ノ一端ニ資スルト云フ點ナラバ、モウ少シ大キナ考ヲ持ッテ計畫スルコトガ出來ルノデハナカラウカ、斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマスカラ、專賣局ノ只今御説明ヲ承ッタコトニ對シマシテ、自分等ノ考ノアル所ヲ申上ゲテ御參考ニ供スル次第デアリマス

○岡田委員 北海道ノ問題デ大變時間掛ルヤウデ、諸君ニ相濟ミマセヌガ、此請願ハ實ハ政民全部ノ紹介デアリマシテ、只今ノ東君ノ言ハレタ通り、北海道農會長トシテ佐藤男爵ガ請願シテ居ルノデアリマシテ、今度愈、此工場ヲ造ラレルト云フ第一歩ニ於キマシテ、少クモ國家ノ國策樹立ノ見地カラ申シマシテモ、亦國家本來ノ事業ハ成ベク偏在シナイデ北方ヘモ之ヲ普及セシメルト云フコトカラ申シマシテモ、北海道ノ適作物ヲ獎勵スル上ニ於キマシテモ、ドウシテモ五箇所ナリ、七箇所ナリヲ設置セラレル場合ニハ、一箇所ヤ二箇所ハ必ズ北海道ニ第一著ニヤハリ御造リニナル方ガ、是ハ適切ナコトデアル、斯様ニ考ヘルノデアリマス、本請願ヲ採擇致シテ戴キタイト同時ニ、私モ紹介議員ノ一人ト致シマシテ、

是非トモ北海道ニ工場ヲ設ケラレンコトヲ望ンデ、當局ニ申添ヘテ、採擇ヲ願ヒマス

○中委員長 採擇ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○中委員長 ソレデハ左様ニ決定致シマス——ソレデハ是デ休憩致シマシテ、午後一時半カラ開會致シマス

午後零時四十分休憩

午後二時二十分開議

○中委員長 ソレデハ午前ニ引續キ會議ヲ開キマス、午前中ニ一時保留ニナッテ居リマシタ日程第十一、岩手縣南地方ニ無水酒精製造工場設置ノ件デアリマスガ、是ハ日程第十二ト略、同様ノ趣旨ノ請願デアリマスカラ、紹介議員ハオ出デニナリマセヌケレドモ、政府ノ簡單ナ御説明ヲ聽イテ審議シタイト思ヒマス

○花田政府委員 本件ニ關シマシテハ北海道地方ニ馬鈴薯ヲ原料トスル無水「アルコール」ノ工場ヲ設置セラレタシト云フ陳情ニ對シマシテ御説明致シマシタ同様ノ理由ニ依リマシテ、本年度ニ於テ設置スルト云フコトハ困難カト考ヘマスルガ、出來ルダケ早ク御希望ノ趣旨ニ副フヤウニ、北海道並ニ東北ヲ一括シテ考ヘタイト思ッテ居リマス

○岡田委員 只今ノ當局ノ御意向ハ委員長ガ報告シテ居ラレル通り、日程第十二ト同様ノコトト看做シテ採擇シタイト思ヒマス

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○中委員長 ソレデハ採擇ニ決定致シマス

○中委員長 日程第十三北海道農業金融政策ニ關スル件、文書表第二百七十三號ヲ議題ニ供シマス、紹介議員ノ御説明ヲ願ヒマス

○北勝太郎君 北海道ノ農業金融ヲ殆ド一手ニ引受ケテ居リマス北海道拓殖銀行デアリマスガ、此銀行ハ勸業銀行等ニ比ベマシテ甚シイ高金利ニアルノデアリマス、借金ノ多イ北海道ニ於キマシテハ、農業ノ進展ヲ非常ニ阻碍致シ農家經濟ヲ極度ニ脅威致シテ居ルノデアリマス、殊ニ北海道ハ屢、申シマシタヤウニ數年ノ凶作ガ續キマシタノデ、延滞者モ從ッテ多イノデアリマスガ、其延滞者ニ對シマシテハ、延滞利子ガ非常ニ高率デアリマス、數度ニ互ッテ政府ノ方針デ利下ガアリマシタケレドモ、此延滞金ノ全額ヲ支拂フ者デナケレバ是ガ適用ヲ致サナイ、實ニ殘酷ナ處置ヲシテ居ルノデアリマス、私先日モ勸業銀行ニ參リマシテ、或人ノ延滞利子解決ノコトニ當ッタノデアリマスガ、勸業銀行ハ中々同情ノアルヤリ方

ヲシテ吳レテ居ルノデアリマスルケレドモ、拓殖銀行ニ至ッテハ實ニ從來血モ涙モナイヤウナ行キ方ヲシテ居ルノデアリマス、片端シカラ土地ヲ競賣ニ付シテ居リマシテ、目下拓殖銀行ガ農家カラ取上ゲタ土地ガ五万町歩以上ニ達スルダラウト稱セラレテ居ル位デアリマシテ、全ク農民ハ泣カサレテ居ルノデアリマス、農業金融政策上、公正妥當デナイ處置ダト私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、是ガ是正ハ北海道農業更生ノ上ニ喫緊ノ處置ダト確信致シテ居ルノデアリマスルカラ、速ニ是ガ是正ヲ要望スルト云フノガ本請願ノ趣旨デアリマス、何卒御採擇ヲ願ヒタイト存ジマス

○東武君 是モ紹介者ハ殆ド全道ノ各議員ガ皆通ジテ一致シタ請願デアリマスルガ、只今此議員カラ述べラレタ如ク、非常ニ重大ダト思ッテ居ルノデアリマス、今日農地法ナドモ出テ居ルシ、又近クハ負債整理法案モ、今明日中ニハ當院ニ提出スルト云フ運ビニ相成ッテ居ルト云フコトヲ聞イテ居リマス、是等ノ利子ノ高イコトハ、今更申ス迄モナイ話デアリマスガ、今日ハ低金利時代デ、郵便預金ノ利子ハ二分七厘何ボト云フヤウナモノデアリシ、或ハ銀行ノ預金利子デモ三朱カラ四朱ニ達シナイト

云フ狀態デアル、ソレカラ一般ノ商業銀行ナドハ、不動産銀行トハ同ジニハ參リマセヌケレドモ、非常ニ低金利ノ時代デアリマシテ、勸業銀行ハ比較的大銀行デアル爲ニ、大體五朱程度ノ貸金ヲシテ居ルノデアリマス、北海道ノ拓殖銀行ハ、從來カラ貸シタモノハ殆ド九分八厘ト云フヤウナ一割近イモノガ其儘ニナッテ居ル、多少緩和ヲ致シテ居リマスルケレドモ、大體ハ從來ノ貸付ノ固定シタモノガ非常ナ高金利ニナッテ居ル、農村ノ困窮疲弊ト云フヤウナコトモ概括シテ申シマスルト負債ノ集積ガ一番大キイ惱ミデアリマス、特ニ北海道ノ如キ所ニ依ッテ非常ナ高金利デ拓殖銀行ガ政府特殊銀行トシテ立ッテ居ルト云フコトハ如何ニシテモ時代錯誤ダト思フ、大藏省カラ配付サレタ書類ヲ見テモ銀行ノ株主配當ハ八朱以上ヲ繼續シテ、是ハ一割デアリシタガ段々八朱位ニ低下致シテ居ルケレドモ、斯様ナ狀態ヲ繼續シテ居ルト云フコトハ、何トシテモ國家ノ政治ノ上ニ於テ是正シナケレバナラス

點デアルト考ヘテ居リマス、私ハ北海道拓殖銀行ガ北海道殖産ニ貢獻シタコトハ認メテ居ル一人デアルケレドモ、現在ノ狀況ヲ以テシテハ此金利ヲ下ゲルト云フコトハ甚ダ困難ナ狀況ガアルト思ヒマスガ、只今申

シマシタ如ク全道幾万町歩ト云フ土地ガ銀行ノ所有ニナリ、府縣ニモサウ云フ狀況ガ方々ニアルノデアリマス、是ハ社會政策ノ上カラ申シマシテモ、今日ノ農村ノ狀態カラ申シマシテモ此儘ニシテ置クコトハ出來ナイコトデアラウト思ヒマスガ、何等カ適切ナル方法ハナイダラウカト云フノデ、此請願ガ出タ次第デアリマス、幸ヒ銀行局長モ御出席デアリマスカラ、此點ニ付テ何カ道民ノ幾分デモ安心シテ其業ニ進ミ得ルヤウナ方法ガナイモノデアラウカ、其點特ニ御考慮ヲ願ヒタイト、紹介議員ノ一人トシテ申上ゲル次第デアリマス

○谷口政府委員 只今北サンカラ北海道拓殖銀行ノ金融ノコトニ付キマシテ御話ガアリ、又東サンカラ低金利ノ情勢等カラ北海道ノ農業金融政策全般ニ付テ色々御話ガアリマシタ、篤ト承ッタノデアリマス、北海道ニ於キマシテハ拓殖途上ニアリマスル關係上、特ニ低金利資金ノ必要デアルト云フヤウナ點ハ全ク御話ノ通りデアリマス、北海道拓殖銀行ト致シマシテモ、年來其事ニ付色々努メテ參リマシタコトハ今東サンノ仰セノ如クデアリマスルガ、最近延滞金ノコトニ付キマシテ色々ヒドイ扱ヒ方ガアルノデハナイカト云フヤウナ仰セモアルノデ

アリマスガ、此延滞金ノ扱ヒノコトニ付キマシテハ既往貸付ノ利下ヲ過去ノ延滞金ニ付テ適用ヲシナイト云フコトハ、延滞ナシニ完全ニ辨濟致シマシタ者ト權衡ノ點カラ考ヘマシテ、是ハムツカシイカト思ハレルノデアリマス、利下ガ實施期以降ニ於キマシテハ延滞金ノ全部ヲ納メテ支拂ッテシマハナケレバ是ガ適用ヲシナイト云フヤウナコトガ實情デアルト云フヤウニ仰セラレマシタガ、是ハ利下ゲノ實施期以降ノ分ニ付キマシテハ、延滞ガアリマシテモ、引下ゲタ利率ヲ適用スル取扱デアルヤウニ承ッテ居ルノデアリマス、尙ホ此北海道拓殖銀行ノ利率ガ日本勸業銀行ノソレニ比シマシテ高率デアル、其點ガ御話ノ中デモ中心ヲ成ス部分カト思フノデアリマスガ、是ハ吾々ト致シマシテモ、最近ノ金利ノ情勢ニ鑑ミマシテ、利率ヲ下ゲテ行クコトヲ認メマスルト同時ニ、此勸業銀行ノ利率ト、ソレカラ北海道拓殖銀行ノ利率トノ開キヲ出來ルダケ小サクシテ行クト云フコトニハ努メテ行ク考デ居ルノデアリマシテ、最近認可致シマシタ利率ノ中ニハ田畑ノ擔保貸付ニ付テ見マスルト云フト、六厘ノ差違トナッテ居ルモノモアル次第デアリマス、是ハ北海道拓殖銀行ノ貸出ノ利率ト致シマシテハ、同銀行

ノ色々資金ノ原價デアリマスとか、或ハ同
收ノ危険率、其他色々ノ情事カラ見マシテ、
多少高率デアルト云フコトハ已ムヲ得ナイ
所デアルカノヤウニ思ヒマスルノデアリマ
スケレドモ、先程仰セノ如ク拓殖途上ノ北
海道ニ於テ、出來得ル限り低利ノ資金ヲ供
給スルコトノ必要ノアルノハ是ハ勿論デア
リマシテ、北海道拓殖銀行ノ貸付金ノ利率
モ出來得ル限り之ヲ低下サセルヤウナコト
ニ致シテ居リマス、今申上ゲマシタヤウニ、
勸銀利率トノ開キモ漸次接近シテ參リマシ
タヤウナ狀況デアリマス、尙ホ今後ニ於キ
マシテモ、只今御話ノ次第ニモ則リマシテ、
出來得ル限り御趣旨ノ程ノ現レマスルヤウ
ニ致シタイト考ヘル次第デアリマス

○東武君 政府委員ノ極メテ御同情アル御
答辯ヲ承テ満足致スモノデアリマスルガ、
今拓殖銀行ノ信用ニ於テ拓殖債券ナドハ最
近ドノ位デ發行致シテ居ルデセウカ、一寸
書類デモアリマシタラ御聞キ致シタイト思
ヒマス

○谷口政府委員 只今御尋ノ點ハ丁度此處
ニ確ナ數字ヲ持合セテ居リマセスケレドモ、
多分四分二三厘ノモノデアラウト承知致シ
テ居リマス

○岡田委員 是ハ北海道農業金融政策ニ關

スル件ト云フ廣イ意味ノコトニナッテ居リマ
スルガ、獨リ農業バカリデハナク、北海道
ノ拓殖ト云フコトニ付キマシテ重大ナ關係
ガアル問題デアリマス、是ハ勸業銀行ト拓
殖銀行トソレヲセメテ同率ニシテ貫ヒタイ
ト云フ請願デアリマスガ、實ヲ申シマス
云フト、北海道ハ御承知ノ如ク我國ノ最モ
大事ナ産業源泉ノ國デアリマシテ、此處ヲ
速ニ開發シナケレバ今ノ此産業立國、生産
工業ヲ盛ニ爲サネバナラヌト云フ現狀ニ即
スルコトハ出來ナイ、ソレニハ第一ニ北海
道ノ拓殖ガ問題ダト思ッテ居リマス、私共ハ
北海道ニ居リマスガ故ニ北海道ノ問題ヲ申
スト云フヤウニナリマシテハ、甚ダ範圍ガ
狭イコトデゴザイマスルガ、實ハ北海道モ
朝鮮モ臺灣モ中央カラ申シマス同ジ狀態
ニ居ルノデゴザイマスガ、北海道ノ拓殖銀
行ハ何時モ地方ニ對シテ金融上ニ付テ洵ニ
冷淡デアルトカ或ハ酷デアルトカ云フコト
ヲ吾々地元ノ者モ聞イテ居リマスシ、一般
ニモサウ云フヤウニ言ハレルノデアリマス
ケレドモ、是ハ銀行其モノバカリ見テ居ル
譯ニハ行カスト思フ、ドウシテモ大藏省ノ
御方針ガソコニ根柢ヲ成シテ居ルノデアリ
マシテ、拓殖銀行ハ今慥カ配當ハ七朱デア
ルト思フノデアリマスガ、是同ジ立場ニ

居ル朝鮮ノ拓殖銀行、是等ハ悠々ト一割ノ
配當ヲシテ居ルノデアリマス、北海道ノ拓
殖モ元ハ七朱デナカッタ、モット上ノ率ヲ持ッ
テ居ッタノデアアルガ、段々切詰メナケレバナ
ラスノデ七朱ニナッテ居ルノデアリマスガ、
斯ノ如ク配當モ低クシテ、サウシテ尙ホ金
融機關トシテ地方ニ満足ヲ與ヘラレスト云
フコトハ、何カソコニ制度ノ缺陷ガアルノ
デアラウト思フ、其一ツト致シマシテハヤ
ハリ此債券ノ發行ニ對シテノ便否ナドモア
リマセウシ、又政府ノ一部持ッテ居ラレル株
ニ對スル配當ナドモ、是ハ元ハヤハリ政府
ノ持株ニ對シテハ無配當デアッタ筈ダト思
フ、ソレガ近頃ハ之ヲ政府ノモノニ配當ヲ
取ルコトニナッテ居ルト思フノデアリマス、
是等モドウシテ政府ガ此北海道ノ拓殖ノ狀
態ノ下ニ於テ、拓殖銀行ヲシテ獨リ歩キサ
シテ宜シイト云フ迄ノ方針ヲ執ラレタノデ
アルカ、一體申シマス云フト北海道ノ金
利ノ高イト云フコトハ勸業銀行カラ比ベマ
スト貸付スル方法ニ於テモ一通リノ調査ヲ
シ、實際ニ其處ニ行員ヲ派遣シテヤル上ニ
於テ中々廣イ土地デアッデ、又同ジ農家ノ耕
作地ト申シマシテモ内地デハ一町歩内外ガ
一戸當リノ單位デアルノニ、北海道ハ其五
倍モ六倍モノ耕地ヲ持ッテ居ルト云フ關係

デ、隨テ調査ニ行クノニ中々廣イ範圍ノ調
査ヲシナケレバナラスノデ費用モ掛ル、デ
アルカラシテ先刻來ヤハリ此紹介議員トシ
テ述ベテ居ラレルノニ銀行ハ處分土地ヲ悉
ク取ルト言フテ居リマスケレドモ、是モ決
シテ銀行ガ取リタクテ取ルノデハナクシテ
已ムヲ得ズソコニ至ル、已ムヲ得ズソコニ
至ルト云フコトハ北海道ノ借金ヲシタ地主
ガドウモソコノ所ニ至ラナケレバナラスヤ
ウナ情勢ニ入ッテ來ルカラサウナルノデアリ
マス、決シテ土地ヲ取ルト云フコトハ銀行
ノ本意デモナイ、無論取リマシテモ銀行ハ
其土地ノ處分ニ付テ隨分困難ヲシテ居ル情
勢ニアルノデアリマシテ、私ハ此拓殖銀行
ノ利息ノ額ハ段々當局ノ御話ノ通り縮マッ
テ參リマシテ、元ハ二分モ三分モ違ッテ居ッ
タノガ今日デハ一分内外ニナリマシタ、尙
ホ之ヲ接近セシメテ、遂ニ此請願ノ趣旨ニ
合フヤウニ勸業銀行ト同ジ進行クノヲ目的
トスレバ、ソレモ達シ得ル時期ガアリマセ
ウ、唯私共ハ速ニ其處ニ達セシメタイト云
フコトト、モウ少シ進ンデ、北海道ハドウ
シテモソレダケノ場所デアリマシテ、金融
ヲ特別ニ與ヘナケレバナラスノデアリマス、
勸業銀行ナドト云フ數千年來開發ガ出來テ
居ル内地ノ本位トシテ居ル貸付デアルカラ

洵ニ貸スニモ借リルニモ便利デアル、手數モ掛ラナイシ、能ク調査モ付イテ居ルノデアル、其處ノ金融ヲスルノト北海道ノ金融、而モ内地ノ金融ヲ受ケル所ノ人々ト、北海道ノ開發ヲシナケレバナラス大ナル責任ヲ有シテ借金ヲスル方面ノ人々ノ立場ヨリ見テ、ドウシテモ内地ノ金利ガ若シ五分デアルナラバ、北海道ハソレヨリ一分下ツタ四分ノ金ヲ使ハシテ開發ヲ促進シナケレバナラス、斯ウ云フノガ本來デアルト思フノデアリマス、ソレニ付テハ銀行ハヤハリ一ツノ特殊銀行トハ申シマシテモ、株式會社、即チ營利會社デアリマスルカラシテ、配當モ相當ニシナケレバナラスカラ、或ハ是レ以上直チニ進ンデ金利ノ低下ヲノミ強制スルコトハ困難カモ知レナイ、故ニ是ハ銀行ノミデナク、大藏省ニ於カレテ相當ノ方法ヲ講ジテ載クヨリ仕方ガナイ、斯様ニ思フノデアリマスルガ、只今ハ餘リ大キナ數字ニハナリマスマイガ、政府持株ノ配當ナドハドウ云フ譯デ近來御取リニナツタノカ、ドウカ是等モ一ツ御伺シタイシ、尙ホ進ンデ銀行ノ採ツテ居リマス政策ニ對シテ便法ガアルト云フ御考ガアルナラバ、其方法、ソレカラモウ一步進ミマシテ幾ラカ北海道ニ對シテ投資サレル資金ニ對スル補助、或ハ特殊

ノ低利資金ヲ其方ヘモツト豊富ニ廻シテヤル途ガナイカドウカト云フコトニ付テ、大藏省ノ御考ヲ伺ヒタイト思フノデゴザイマス、相成ベクハ是ハ大藏大臣ニデモ其方針ヲ伺フ方ガ吾々モ之ヲ審議シテ行ク上ニ於テ、根據ノアル方針ヲ立テ、行クコトガ出來テ便宜デアルト思ヒマスルガ、今俄ニ大臣ノ出席ヲ求メルト言ッテモ時間モ要スルコトデアリマセウカラ、成ベク其點ニ付テ吾々ノ只今申シテ居リマスコトニ付テ、此事ダケナラバ出來ヤウト云フ範圍ヲ限ッテモ宜シイカラ承リタイト思ヒマス

發揮致シマスルヤウニ指導シテ行クコトニ致シタイト考ヘマス、尙ホ政府ノ持株ニ付キマシテノ御質問ガアリマシタガ、其點ニ付キマシテハ能ク正確ニ取調ベマシタ上デ御答ヲ致シタイト思ッテ居リマス

居リマスガ、不動産銀行ヲ通ジテ二億圓カラ出シテ、田畑ニ對スル負債整理ニ充ツルト云フ法案デアリマスルガ、是ハ何レ議會ニ提案サレタ曉ニハ相當ニ議論ガ起ルダラウト思ヒマス、不動産銀行ヲ通ジテ負債整理ヲスルト云フコトニナルト云フト、ヤハリ從來固定シタ即チ焦付キノ、不動産貸付ト云フモノハ、幾ラカ緩和サレルコトニナルト思フケレドモ、是ハ將來ニ互ル話デアツテ、既ニ長イ間借リテ居テ其間ノ金利ガ重積シテ、ソレガ拂ヘスト云フヤウナ風ノ者ガ非常ニ澤山ニアツテ銀行モ相當ニ迷惑ヲシテ居ルニ相違ナイ、又銀行局トシテハ關係ノナイコトデアルガ、北海道拓殖計畫トシテハ、全道ニ三百有餘ノ土功組合ト云フモノガアル、是ハ内地ノ耕地整理組合ノヤウナモノデアアルガ、是ノ殆ド全部ハ國家ガ救済ヲシナケレバナラス狀態ニ今ハナツテ居ル、是等ハ其仕事ノ可否善惡ハ別トシテ、水田——三百万石ノ生産ヲスル爲ニサウ云フ仕事ヲヤツテ居ル、サウシテソレハ多クハ組合ノ負債ニ依ツテ、拓殖銀行カラ費用ヲ借リテ居ル、此金利ガ非常ニ高イ、負債ノ額モ多クナツテ來テ居ルト云フヤウナコトデ、最近ニ六百万圓バカリデ救済ヲシナケレバナラスト云フヤウナ運命ニ立到ッテ

ノ低利資金ヲ其方ヘモツト豊富ニ廻シテヤル途ガナイカドウカト云フコトニ付テ、大藏省ノ御考ヲ伺ヒタイト思フノデゴザイマス、相成ベクハ是ハ大藏大臣ニデモ其方針ヲ伺フ方ガ吾々モ之ヲ審議シテ行ク上ニ於テ、根據ノアル方針ヲ立テ、行クコトガ出來テ便宜デアルト思ヒマスルガ、今俄ニ大臣ノ出席ヲ求メルト言ッテモ時間モ要スルコトデアリマセウカラ、成ベク其點ニ付テ吾々ノ只今申シテ居リマスコトニ付テ、此事ダケナラバ出來ヤウト云フ範圍ヲ限ッテモ宜シイカラ承リタイト思ヒマス

○谷口政府委員 只今岡田サンノ御話ハ、北海道農業金融ニ關シマスル將來ノ方針ニ關スル御尋デアリマスルガ、北海道拓殖銀行ト致シマシテハ北海道開發ノ重大ナル責任ヲ遂行シナケレバナラス、サウ云フ責任ヲ持ッテ居リマス同時ニ、又土地ノ事情其他ノ關係カラ貸出ニ困難ナル條件ヲ前ニ控エテ居リマシテ、其間種々苦心ノアル所デアリマスルガ、先程東サンノ御話ニモアリマシタ通りニ、從來ニ於キマシテハ北海道開發ニ相當ナル貢獻ヲシテ參ツタノデアリマシテ、先程來岡田サンノ御話ノヤウナ御趣旨ヲ十分承リマシテ、政府ト致シマシテハ北海道拓殖銀行ヲ將來一層能ク其機能ヲ

還ヲサセルト云フコトニスレバ、全面的ニ相當ニ低金利ノ今ノ範圍ニ於テモ出來ル途ガアラウト思フ、政府ガ少シ此必要ナルコトヲ御考ヘ下サツテ御研究爲サツタナラバ途ハアルト思ヒマス

ソレカラ今度明日ノ中ニ議會ニ提出サレル五億圓ノ負債整理ノ案デアリマスガ、是ハ預金部ヲ通ジテ市町村ト中央金庫ト不動産銀行ヲ通ジテ五億圓ヲ今後十箇年間ニ負債整理ニ充デルト云フ案ガ閣議決定シテ近ク議院ニ提案ヲサレルコトニナツテ居ルサウデアリマス、之ニ依ツテ政府ハ損失補償ニ一億二千万圓出スト云フコトニナツテ

居リマス、サウ云フコトヲ彼此レ考ヘテ見
マスト云フト、ドウシテモ北海道拓殖銀行
ノ機能ト云フモノハ、内部的ニ一ツ之ヲ再

六十二號之ヲ議題ニ供シマス、紹介議員ノ
御説明ヲ願ヒマス

水ガ出ルニ止マツタダケデ、中々岩鹽ニ掘リ
當テルト云フヤウナコトハ容易ニナカッタ

工藤等カラ農商務省ヘ報告シテアル筈デア
リマス、ソレハ明治三十六年ノコトデアリ

検討致シマシテ、サウシテ新タナ北方金融
ノ建設ヲスルヤウナ風ニ政府ノ方ニ於テ御
考究ヲ願ヒタイ、斯ウ云フ考ヲ有ッテ居リ

○北原阿智之助君 鹿鹽ノ岩鹽ノ紹介ヲ致
シマシタカラ、其大要ヲ申上ゲタイと思ヒ
マス、是ハ大鹿村ト申シマシテ、赤石山ノ

ノデアリマス、ソレガ爲ニ唯其鹽水ヲ汲ン
デ之ヲ風呂ニ焚イテ、サウシテ營業シテ居ッ

マス、其後折々調査ノ爲ニ頼ンダ人モアリ
色々ヤッテ來マシテ、明治四十年ニ、第二十

マスガ、是ハ請願委員會ノミヲ通ジテ申上
ゲルコトデアリマセヌ、在來全道各代議
士全部ノ紹介ニナッテ出テ居ル譯デアリマ

西ノ方ノ麓ニアル村デアリマス、赤石山ハ
御承知ノ如ク一万尺以上ノ山デ、其麓ニ昔

後明治三十二年ニ農商務省ノ地質調査所長
理學博士巨智部忠承ト云フ博士ガ來村サレ

試掘ヲ爲スベク要求ヲシタノデアリマス、
四十一年ニ文部、大藏、農商務三省カラ神

スカラシテ、其點ヲ十分御考慮ヲ願ッテ、サ
ウシテ宜シク御願ヲシテ置キタイと思ヒマ

鹽ガ出ルサウデアリマス、ソシナ譯デ、村
民ハ之ヲ汲ンデ昔ハ醬油ノ代リニシタリ、

岩鹽ノアル所カラ水ガ滲ミテ出ル層ヲ言フ
ノデアリマス、サウシテ其巨智部サンノ言

ハ、太古ニ海水ガ浸潤シテ凝結シタモノガ
鹽水トシテ順ニ其處カラ出テ來ルノカモ

ノデアリマスガ、其コトハ直チニ要求モ出
來マスマイカラシテ、十分ニ當局ニ於カレ

ト云フコトヲ聞イテヤッテ參リマシテ、サウ
シテ岩鹽ノ採掘ヲ長野縣ノ權令立木兼善ト

カラ推察スルト云フト、獨逸アタリハ凡ソ
千尺位ノ地下ニ大抵岩鹽層ガアルノデア

アルカドウカハ能ク分ラナイト云フ譯デ
アッタサウデアリマス、其後折々サウ云フ風

テハ、此點ハ御話ヲ願フコトニシテ、御考
究ヲ仰グコトニシタイと思ヒマス、尙ホ幾

即チ岩鹽採掘ノ始マリデアッタノデアリマ
ス、明治十年頃ニ米國人ノ「ヘンリー・ライ

ガ、此處ハドウモ岩鹽層ガアルカナイカハ
分ラナイケレドモ、鹹染層デアルト云フコ

ナ調査、鑑定等ヲ經タノデアリマシタガ、
ヤハリ同ジヤウナ調査報告デアッタノデア

多紹介議員モ澤山居ラレマスノデ、論議モ
ゴザイマセウガ、採擇願ヒタイと思ヒマス

マン」ト云フ、是ハ地質ノ博士ト見エマス
ガ、此人ヲ願シテ調査ヲ受ケマシタ所ガ、

今申シマシタ黒部銑次郎、工藤欣八ノ二人
ヲ農商務省ノ調査委員ニ任命致シマシテ、

ハ明治三十年頃カラ調査モセズ其儘ニナッ
テ居ルノデアリマス、若シ千尺位ノ所ニ獨

アリマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ〕

是ハ地下ニ岩鹽ガ存在スルモノデアラドラ
ウト云フ「ヘンリー」氏ノ説明ヲ受ケタノ

政府カラ三百圓宛ノ手當ヲ支給シテ、長野、
靜岡、山梨、群馬各縣下ニ涉ッテ赤石山連

等ガ有ルカ無イカト云フコトヲ調査サセタ
ノデアリマス、其後該調査ノ結果ヲ黒部、

鹽試掘ヲヤッテ戴ケバ——大鹿村ト云フノ

○中委員長 ソレデハ左様決定致シマス
○中委員長 日程第十四、大鹿村大字鹿鹽
ニ於ケル岩鹽試掘ニ關スル件、文書表第百

ハ只今モ申スヤウニ赤石山ノ麓ノ寒村デア
リマスカラ、村民ハ此非常時ノ不景氣ノ時
代ニ助カルコトデアルカラ、ドウカ調査ヲ
シテ、若シ此岩鹽ニ掘當レバ非常ナ國家ノ
利益デアルト云フ所カラ、此事業ヲ國ノ力
デヤツテ戴キタイ、斯ウ云フ趣旨デアリマ
ス、宜シク御採擇ヲ御願シマス

○花田政府委員 只今北原サンカラ詳細ニ
御話ガアリマシタノデアリマスガ、其要旨
ハ長野縣ノ下伊那郡大鹿村大字鹿鹽ニ政府
ノ事業トシテ岩鹽ノ試掘ヲシテ貫ヒタイト
云フコトナノデアリマス、御承知ノ通り外
國ニ於キマシテハ岩鹽トカ、或ハ今御話ノ
アリマシタ鹹染層トカ云フモノガアリマシ
テ、鹽又ハ鹽ノ原料ガ取レルノデアリマス、
日本ニ於テモ若シ斯フ云ウモノガアレバ鹽
其モノトシテ、或ハ鹽ノ原料トシテ非常ニ
好都合ナコトハ御話ノ通りデアリマシテ、
從來政府ニ於テモ斯ウ云フモノガ有ルカ無
イカト云フコトニ付テハ相當調査ヲシテ居
ルノデアリマス、デ御話ノ通り本邦内地ニ
於ケル岩鹽ノ調査ニ關シマシテハ、明治四
十一年三月ノ議會ニ於テ、岩鹽調査ノ建議
ヲ採擇サレマシテ、其調査ヲ政府ニ要求サ
レタノデアリマス、政府ハ之ニ對シ内地ニ
於ケル鹹泉涌出ノ中心地ト認ムベキ長野縣

大鹿地方、今ノ御話ノ地方ト同一地方デア
リマス、ソレト福島縣ノ鹽澤地方ニ今御話
ノヤウナ専門技師ヲ派遣致シマシテ實地調
査ヲサセタノデアリマスルガ、其結果トシ
テ結論的ニ申上ゲマスルト云フト、本邦内
地ニ於テハ岩鹽ノ產出ノ見込ガナイモノト
認定シタノデアリマス、又昨年七月本請願
提出者ト同一人カラノ申出ニ依リマシテ、
其地方ヲ所轄致シマスル高崎地方專賣局ヲ
シテ大鹿村地方ヲ實地調査サセタノデアリ
マスルガ、其時ニ於テモ岩鹽產出ノ見込ノ
アル新事實ヲ發見出來ナカッタノデアリマ
ス、ソコデ現ニ同地方ニ於テ湧出シテ居リ
マスル先程御話ノ鹽水ヲ採取シマシテ分析
試験ヲ行ヒマシタガ其含有シテ居ル曹達量
ハ百分中二・七八%位デアリマシテ、普通ノ
海水位ノ程度ノモノデアリマス、製鹽トシテ
使用スル鹹水ト致シマシテハ、ドウシテモ
十五六度乃至十七八度位ノモノヲ必要ト致
シマス、サウシテ普通ノ海水程度ノモノガ
アツタト云フコトニナッテ居リマス、斯ウ云フ
事實竝ニ從來全國各地ニ於キマシテ相當大
規模ニ石浦、石炭、其他ノ採炭、採鑛又ハ
土木工事ノ爲ニ地下數百尺ニ及ブ工事ヲ
致シテ居リマスガ未ダ岩鹽層ニ出會ハタト
云フコトハナイノデアリマスルカラ、斯ウ

云フ事實ニ徴シマスルモ、本邦内地ニ於テ
ハ岩鹽層存在ノ見込ガ甚ダ乏シイモノト思
フノデアリマス、デアリマスカラ只今政府
ト致シマシテハ、若出レバ非常ニ結構デア
リマスガ、今申上ゲタヤウナ事情デ、現在
調査致シマシタ程度ニ於キマシテハ、非常
ニ岩鹽ガ發見サレルトモ考ヘナイノデ、更
ニ大規模ノ試掘ヲスルト云フコトハドウカ
ト考ヘテ居ル次第デアリマス

○岡田委員 本件ハ只今紹介議員ガ述ベラ
レタ點ヲ政府モ以前ニ左様ナ調査ヲ爲シタ
コトモアルト云フコトデアリマス、マダソ
レガ何レトモ決定シテ居ラヌノデアルガ、
尙ホ政府ニ於カレテハ、左様ナ方面ノコト
ハ、何レ學術的ニモ研究スル要アルモノト
考ヘルノデアリマス、其故ニ調査ノ資料ト
セラレンコトヲ望シテ採擇シテ置キタイト
思ヒマス

○中委員長 岡田君ノ御意見ニ御異議ゴザ
イマセスカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕
○中委員長 ソレデハ左様決定致シマ
ス——御諮リ致シマス、第二分科ニ屬スル
日程第一、第二ヲ便宜上一括シテ議題ニ供
スルニ御異議アリマセスカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○中委員長 ソレデハ左様ニ致シマス
○中委員長 日程第一甲種防火地區内假設
建築物除却期限延長ニ關スル件、文書表第
二百八十一號、日程第二甲種防火地區建築
補助金交付期限延長ニ關スル件、文書表第
二百八十二號、此二案ヲ一括シマシテ紹介
議員ノ御説明ヲ求メマス

○立川太郎君 紹介議員ノ安藤正純君ガ申
上ゲル筈デアリマシタガ、御用多忙ノ爲ニ
私ガ代ッテ紹介ノ趣旨ヲ申上ゲマス、是
ハ御存ジノ通りニ、大正十一年九月一
日ノ關東大震災後ノ措置デアリマスガ、
帝都ハ官民一致ノ努力ヲ以チマシテ、今
日街衢ガ非常ニ整理サレマシテ、其面目
ヲ一新シタノデアリマスガ、日本橋區ハ殆
ド全部ガ甲種防火地區ト云フコトニ指定サ
レテ居ルノデアリマス、區民ハ日本橋ガ帝
都ノ中心デアルト云フコトニ鑑ミマシテ、
又都市ノ美觀ヲ保持スルト云フ上カラ見マ
シテモ、亦不測ノ災害ガ何時來ルカモ知レ
ナイト云フヤウナ點カラ致シマシテモ、防
火地區内ノ假設建築物ヲ除却シテ、堅牢ナ
ル建築物トシテ帝都ノ日本橋區タルノ面目
ヲ保持スル爲ニ、區民ハ非常ニ努力シテ居
ルノデアリマス、政府モ補助金交付制度ヲ
設ケラレ、又復興建築助成株式會社ト云フ

低利金融機關ヲ設ケラレ、是ガ實現促進ヲ獎勵サレテ居リマスガ、奈何セン、大震災ニ依ッテ受ケタ經濟上ノ創痍ハ非常ニ大キ

イノデアリマシテ、殊ニ經濟界ノ不況ト相俟ッテ、中小商工業者ハ非常ニ苦シデ居リマス、其日ノ營業ノ繼續ニスラモ非常ニ努力

シ、苦慮ヲ重ネテ居ルヤウナ狀態デアリマス、又近來物價ノ昂騰ガ非常ニ甚シイノ

デ、到底日本橋區民ガ補助交付金ヲ受ケルトカ、又復興建築助成會社ノ低利資金ヲ借

リテ建築致シマシテモ、之ヲ返還スルト云フコトニ非常ニ苦シデ居ルヤウナ實情デア

リマス、ソレト防火地區内ニ在リマシテハ、家屋ガ狹小デアッテ、又地主ノ同意ヲ得

ルコトモ困難デアリマス、建築資金ニ多大ノ金ガ掛ルノデアリマシテ、其他種々ノ

支障ノ爲ニ、此防火の本建築ヲ爲スコトガ出來ナイノデアリマス、區民ハ一日モ早く

其實現ヲ期待シテハ居リマスガ、今申上ゲマシタヤウナ經濟上ノ狀況デアリマスノ

デ、法定期限デアル所ノ昭和十三年八月ノ末日迄ニ、假設建築物ヲ除却シテ、本建築

ニ取掛ルト云フコトハ、到底今日ノ實情カラ致シマシテハ困難ナコトデアリマス、隨

テ十三年八月末以後モ假設建築物ヲ其儘ニ除却シナイデ當分延期シテ戴キタイト云フ

ノガ本請願ノ趣旨デアリマス、是ハドナタガ御考ヘ下サツテモ至當ノコトダと思フノデアリマス

又第二番目ノ助成金及ビ交付金ノ延長デアリマスガ、既ニ假設建築物ノ除去ヲ延期

シテ戴ク以上ハ、延期シテ戴クト同時ニ之ニ對シテ助成シテ戴ク、助成金ノ交付期限

ハヤハリ昭和十三年八月末日マデニナッテ居ルノデアリマスガ、是モ相當ニ御延期ヲ

願ヒタイト思フノデアリマス、ドウカ御採擇下サランコトヲ望ミマス

○兒玉政府委員 只今御申述ベニナリマシタヤウニ、東京及ビ横濱ニ於キマスル所ノ

大正十二年ノ震災災ニ罹ッタ地區ノ中、所謂甲種防火地區内ニ建築致シマシタ所ノ假設

建築物ノ除却期限ハ、昭和十三年ノ八月末日マデトナッテ居ルノデゴザイマス、然ルニ

尙ホ右ノ地區内ニ於キマシテハ相當多數ノ假設建築物ガ殘存シテ居リマシテ、之ヲ期

限マデニ除去シマスコトハ實際問題トシテ非常ニ困難デアラウト思ッテ居リマス、隨テ

各般ノ事情ヲ考慮致シマシテ善處致シタイト存ジテ居リマス、又隨ヒマシテ之ニ對シ

マスル所ノ建築ノ補助ノ問題モ同様ニ考慮致サナケレバナラスト存ジテ居リマス、是亦財政ノ方面ノ事情モ勘考致シマシテ、十

分ニ考慮致シタイト存ジテ居リマス

○岡田委員 本件ハ帝都ノ問題ト致シマシテハ、相當大キナ關係ヲ有スルノデアリマス、紹介議員カラノ只今ノ紹介ノ趣旨ニ依ッ

テモ明ニ現在ノ情勢ハ分リマシタガ、ソレニ對シテ政府當局ハ大イニ此地區内デ建築

物ヲ持ッテ居ル人々ニ對スル同情ノアル考ヲ御漏シニナッタノデ、本件ハ採擇致シテ差

支ナイト思フノデアリマス、併シ相成ベクハ是ハ請願者ノ側ニ於キマシテモ、

出來ル限り本建築ニ進マレルヤウ希望スル者デアリマス、過日ノ銀座ノ眞シ中

ニアリマシタヤウナ事件ナドモ、ヤハリ是ハ狹隘ナル「バラック」ヲ強ヒテ使用セシメテ

居ッタ結果、サウ云フコトニナッタ關係モアルト思ヒマス、ア、云フヤウナコトハ悲惨

ナル狀態ヲ見ルバカリデナク、廣イ意味ニ於テ甚ダ面目ニモ關スルコトデアルト思フ

ノデアリマス、當局ニ於カレテハ此請願ノ趣旨ニ御同情ニナルト同時ニ、成ベク速ニ

最初ノ既定方針ヲ進メテ行カル、ヤウニナサレンコトヲ希望シテ採擇シタイト思ヒマス

○中委員長 採擇ニ御異議ゴザイマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○中委員長 ソレデハ左様決定致シマス

○中委員長 日程第三、防火地區指定變更ニ關スル件、文書表第二百八十三號——立

川君

○立川太郎君 是モヤハリ提案者タル安藤正純君ガ來テ居リマセヌカラ私ガ代ッテ申

上ゲマス、日本橋區ハ殆ド全部ガ甲種ノ防火地區ニ指定サレテ居ルノデアリマスガ、

區民ハ帝都ノ日本橋區デアルト云フコトカラ致シマシテ、全部立派ナル建築ニ致シタ

イト非常ニ努力シテ居ルノデアリマスガ、幹線路内ノ所謂集團防火地區内ニアリマシ

テハ借地權ガ狹イ、又地主ノ同意ヲ得ルコトガ困難デアアル、建築資金ガ多大ニ掛ルト

云フコトカラ、防火的ノ本建築ヲシ得ルモノハ殆ド少イノデアリマス、是ハ地主ガ住

ンデ居ルナラ宜シイノデアリマスガ、地主ノ土地ヲ借りテ中小商工業者ガ相當澤山住

ンデ居リマシテ、今日學校トカ官廳ナドニ於キマシテモ、建築材料ガ騰貴シタノデ非

常ニ困ッテ居ラレルヤウデアリマスガ、況ヤ此中小商工業者ハ非常ニ苦シデ居ルノデ

アリマス、故ニ此地域全體ハ防火の本建築ヲ造ルト云フコトハ非常ニ困難デアリマス

カラ、此集團防火地區ハ之ヲ除去サレマシテ、外ノ區ト同ジヤウニ路線の防火地區ニ指定シテ戴キタイト云フコトデアリマス、

是モ住ンデ居ル人々ノ經濟的状況カラ見マスト已ムヲ得ナイコトデアラウト思フノデアリマスカラ、此點ニ付キマシテモ政府ノ御同情アル御取計ヲ戴キタイト思フノデアリマス

○兒玉政府委員

請願ニ相成ツテ居リマス

ル所ノ區域ハ帝都ニ於キマスル所ノ經濟上ノ中心地帶デゴザイマシテ、嚴重ナ防火ノ設備ヲ致シマセスケレバナラヌ最重要ナル地點デゴザイマス、隨テ現在ノ集團的ノ防火地區ヲ、所謂路線的ノ防火地區ニ變更致シマシテ、重要ナル路線ノ兩側ダケニ耐火構造物ヲ造リマシテ、其他ハ木造ヲ許スト云フコトハ、餘程考究ヲ要スベキ問題デゴザイマス、勿論區民ノ方々ニハ非常ニ勇氣ノ毒ナ點モゴザイマスルガ、今俄ニ御贊成申上ゲルト云フ譯ニハ實ハ考ヘラレナイノデアリマス、獨リ日本橋區ノミナラズ京橋ニモ丸ノ内ニモ、ヤハリ集團的ノ防火地區ガゴザイマシテ、是等モ同時ニ考ヘナケレバナラヌ問題デゴザイマスノデ、今暫ク考慮サシテ慮キタイト存ズル次第デアリマス

○立川太郎君

全部ヲ除外シテ戴クト云フコトハ餘程困難デアラウト思フノデアリマスガ、其地域内ニ於キマシテモ或ル部分ダ

ケハ路線的防火地區ニサレテモ宜イノヂヤナイカト思フ地域ガ餘程アルヤウニ思ハレルノデアリマス、此點ハ十分御調査下サイマシテ同情アル御處置ヲ願ヒタイト思ヒマス

○岡田委員

本件ハ政府モ考慮ハシテ居レルガ、直チニ同意ハ表シ兼ねルト云フコトデアリマシタガ、御尤デアラウト思ヒマス、故ニ紹介議員ニ於カレテハ尙ホ次ノ機會マデ十分ニ實情ヲ調査セラレテ、尙ホ重

ネテ請願ヲセラレルヤウニシタガ宜イト思ヒマス、其點ニ於キマシテ、本件ハ一應政府ニ參考トシテ送付シタイト思ヒマス

○中委員長

岡田君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○中委員長

ソレデハ參考送付ト致シマス

○中委員長

日程第四號年餅式典施行ニ關スル件、文書表第百三十三號——ハ紹介議員ガ居ラレマセスカラ保留致シマス——

日程第五千種忠顯卿神社建設ニ關スル件、文書表第二百六號、紹介議員ノ御説明ヲ煩シマス

○西村金三郎君

請願ノ趣旨ヲ申述ベマス、

請願ノ目的ハ建武維新ノ際武勳ヲ立テ、其後延元ノ役ニ於テ國難ニ殉ゼラレタ所ノ贈

從二位千種忠顯卿ノ遺靈ヲ祀ル神社ガナイ

ノデアリマス、故ニ神社ヲ造ツテ戴キタイ、斯ウ云フコトニアルノデアリマス、此千種卿ハ村上天皇ノ後裔デアリマシテ、非常ナ剛毅瀾達ナル人デアツテ、常ニ後醍醐天皇ノ側近ニ居ラレ、建武中興ノ樞機ニ參畫シタ

人デアリマス、元弘元年ニ其討幕ノ舉ガ漏レテ、翌年後醍醐天皇ガ隱岐ニ流サレ給フタ時、隱岐マデ附イテ行ツテ、終始御世話ヲ申上ゲタノハ河野局ト此千種卿デアリマス、

男性トシテ唯一ノ側近ニ在ツテ、援助サレテ御仕ヘシタ人デアリマス、其隱岐ニ在ル間ニ密ニ監視ノ眼ヲ偷ンデ出雲ニ上ツテ、出雲ノ鰐淵寺村ノ頼源和尚ト相談シテ、其頼源ノ兄貴ニ當ル所ノ名和長年ト謀ヲ通ジ、赤

松則村ト謀ヲ通ジテ、遂ニ翌年後醍醐天皇ハ伯耆ノ國ヘ御出デニナツタ、是ガ建武維新ノ業ノ成ツタ基ヲ成シタノデアリマス、其後京都ニ御出デニナル時ニハ、先ヅ第一ニ功勞者トシテ後醍醐天皇ノ先驅ヲ仰付ケラレ、

兵庫ニ於ハ楠木正成、赤松則村ナドガ御奉迎申上ゲテ、其後京都ニ行ツテ六波羅ヲ攻メラレタ、其時分ニハ副將軍トシテ之ヲ攻メラレタ、斯ウ云フ事蹟ガアルノデアリマス、

ソレカラ其時ニ是非トモ忘レルコトノ出来ナイノハ、三種ノ神器ノ神鏡ガナクナツテ

居ツタノデアリマス、ソレヲ西園寺公ノ北山

莊カラ見付ケ出シテ賢所ヘ御納メシタ、其後維新中興ガ敗レテ、遂ニ足利尊氏ガ攻メラツテ、叡山ノ雲母坂ニ於テ討死サレタ、

ソレガ延元ノ戰デアリマス、當時建武維新ノ際ニ、三木一草ト云フノガ建武ノ元勳ノ表稱デアリマス、其三木ノ一人ガ楠木正成デアリ、次ハ名和長年、名和伯耆守デアリ、

其次ガ結城氏デアアル、一草ト云フノハ千種忠顯卿デアリマス、此三木ガ悉ク祀ラレテ居ルノニ單リ千種忠顯卿ダケガ祭祀スル場所ガナイノデアリマス、ソレデ其當時三重

縣ニ祀ラレテ遂ニ三重縣ノ人トナラレタ爲ニ、中央トノ關係ガソコニナクナツテ、斯ノ如キ狀態ニナツタノデアルト思フノデアリマス、現内閣ハ殊ニ祭政一致ノ政ヲ大ニ主張シテ居ラレル時デアリマス、斯ノ如キ時ニ

是非トモ此偉勳アル人ヲ當然ニ祀ラレルベキ神社ヲ造ツテ戴キタイト云フノガ請願ノ趣旨デアリマス、ドウカ御採擇ノ程ヲ御願致シマス

○兒玉政府委員

本請願ノ要旨ハ、贈從二位千種忠顯卿ヲ御祭神トスル神社ヲ國費ヲ以テ再建シテ戴キタイト云フノデゴザイマス、千種忠顯卿ノ御功績ハ從二位ヲ贈ラレタニ鑑ミマシテモ、洵ニ偉大ナルモノガア

ルコトハ是ハ勿論デゴザイマス、勤王ノ事

績ハ大ニ見ルベキモノガアルノデゴザイマ

ス、唯忠顯卿ヲ御祀リスル神社ヲ國費ヲ以

テ建設スルト云フコトハ、他ノ功臣ヲ御祀

リシテ居リマスル所ノ別格官幣社トノ權衡

ヲ考ヘマスルノデ、慎重ニ考究シタイト

存ズルノデゴザイマス

○岡田委員 只今西村紹介議員カラ續、千

種忠顯卿ノコトニ付キマシテ御説明ガアリマ

シタガ、國費ヲ以テト云フコトハ請願ニナ

イノデアリマス、ソコデ紹介議員ニ御尋ス

ルノデアリマスガ、是ハ國家ガ相當ノ社格

ヲ與ヘラレルト云フコトニ依ッテ満足セラレ

マセウカ、即チソレノ地方ノ縁リ、有

志ノ人々ニ依ッテ建設サレル神社デアルカ、

其神社ニ相當ノ社格ヲ政府ガ認メラレレバ

請願ノ趣旨ハ徹底スルノデアルカ、ソレデ

アルナラバ採擇シテ可ナリト思フノデアリ

マスルガ、若シ左様ニアラズシテ、是ハ政

府ガ然ルベキ神社ヲ建設シ、而シテ其請願

者ノ所謂希望ニ副フベキ社格ヲ與ヘテ行キ

タイト云フコトデアレバ、此場合委員會ト

シテハ尙ホ考慮シナケレバナラスト思フノ

デアリマス

アリマス

○岡田委員 只今ノ紹介議員ノ御意向ガ明

ニナリマシタカラ、採擇致シテ宜シイト思

ヒマス

○中委員長 御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○中委員長 ソレデハ採擇ニ決定致シママ

ス

○中委員長 日程第六官幣大社阿蘇神社造

營ニ關スル件、文書表第二百十六號、之ヲ

議題ニ供シマス、紹介議員ノ御説明ヲ願ヒ

マス

○三善信房君 只今上程サレテ居リマスル

此阿蘇神社ノ件ニ付キマシテ、私カラ説明

致シマス、官幣大社ニ當リテ居リマスル阿蘇

神社ハ、神武天皇建國ノ鴻業ヲ翼贊サレ

マシタ所ノ皇孫健甕龍命ヲ御祀リシテアル

所ノ神社デアリマシテ、寔ニ由緒深キ古社デ

アリマス、殊ニ國民ノ信仰ガ厚クアリマス

ルガ、最近ニ至リマシテ著シク腐朽荒廢致

シテ居リマシテ、寔ニ私共トシテハ恐懼ニ堪

ヘナイ次第デアリマス、今ヤ國ハ舉ゲテ國

體明徴ナラシメントスル秋ニ當リマシテ、

國民思想ノ涵養上カラ申シマシテモ、頗ル

御神德敬仰ノ實ヲ擧ゲナケレバナラスト思

フノデアリマシテ、之ニ依ッテ國民精神ヲ

鞏固ナラシメ、以テ國運ノ隆昌ヲ期セナケ

レバナラスト思フノデアリマス、更ニ近時

阿蘇地方一帯ガ國立公園ニ編入セラレマシ

テ、其國立公園ノ設備等モ著々進ンデ居リ

マス、國際的觀光施設ト相俟チマシテ、名

實共ニ國家の大社ノ尊嚴保持ノ上カラ考ヘ

マシテモ、速ニ此造營ヲ希望シテ止マナイ次

第デアリマス、今ヤ地元ニ於キマシテハ既

ニ此造營ノ計畫ガ成リマシテ、此コトニ付

キマシテハ幾多當局ニモ陳情致シテ居ルヤ

ウナ次第デアリマス、當局ニ於カレマシテ

ハ洵ニ國事多端ノ折柄デモアリマスケレド

モ、此由緒アル神社ニ對シマシテ造營ノ節

ニ特ニ國ヨリ相當ノ助成ヲセラレンコトヲ

希望致ス次第デアリマス、何卒御賛成ヲ得

テ御採擇アランコトヲ希望致シマス

○石坂繁君 私モ紹介議員ノ一人デアリマ

ス、本件ニ付テ尙ホ私カラモ事情ヲ申上ゲ

タイト存ジマス、只今三善君ガ申上ゲマシ

タ如クニ、官幣大社阿蘇神社ハ、神武天

皇ノ御皇孫健甕龍命ヲ奉祀シテアリマス極

メテ由緒深キ御宮デアリマス、神武天皇

孫健甕龍命ヲ九州ノ中部阿蘇ニ御派遣ニ相

成ツクノデアリマス、實ニ今ヲ去ルコト二千

五百二十五年ノ昔デアッタノデアリマス、命

ハ阿蘇ニ才出デニナリマシテ、先ヅ其地方

ノマツワラザル者共ヲ討チ平ゲテ、サウシ

テ漸ク鎮定致シマスルヤ、大イニ其地方ノ

政治ヲ敦クシ、治水干拓開墾殖産興業等有

ユル方面ニ日夜艱難辛苦シテ蒼生ヲ安ンゼ

ラレタバカリデナク、其地方ニ王子王孫ノ

方々ヲ封シテ、サウシテ地方ノ重鎮ニ就カ

シメラレタバカリデナク、外寇ヲ禦ギ以テ

樞原朝ヲシテ永ク後顧ノ憂ヲ絶クシメラレ

タノデアリマス、當時ノ御遺績洵ニ顯著ナ

ルモノガアルノデアリマス、孝靈天皇ノ九

年六月、勅命ニ依リマシテ、阿蘇神社ヲ創

立致サレマシテ、健甕龍命ヲ阿蘇大明神ト

シテ鎮齋セラレタノデアリマス、爾來洵ニ

神威灼然トシテ今日マデ傳ッテ居ルノデア

リマス、歷代御朝廷ノ尊崇極メテ篤ク、夙

ニ延喜式内ノ名神大社ニ定メラレサウシテ

奉幣ノ奠ヲ忽セニセラレナカッタノデアリ

マス、社地亦頗ル廣大デアリマシテ、一時

ハ其神德ヲ輝カスニ十分ナルオ宮ノ祭モ

アツクノデアリマス、然ルニ國民ノ信仰篤ク

規模崇高廣大デアツク、其オ宮モ時勢ノ變遷

ニ伴ヒマシテ次第ニ朽廢シテ參リマシタ、

今日デハ其尊嚴ヲ傷ツケテ居ルコト洵ニ大
キナモノガアルノデアリマス、尙ホ阿蘇山
上ニアリマス攝社デアル阿蘇山上神社ノ如
キハ、是亦全ク朽廢ニ陥テ居ルヤウナ狀態
デアルノデアリマス、此由緒アル神社、此
尊イ御方ヲ奉祀致シテ居リマス所ノオ宮ノ
再興ヲ圖リマス云フコトハ、三善君モ申
サレマシタ如ク、國體明徴ノ點カラ申シマ
シテ、國民思想ヲ指導シマス點カラ申シマ
シテモ、將又祭政一致ヲ高調サレマス點カ
ラ申シマシテモ、是非トモ私ハ必要ナルコ
トデアラウト考ヘテ居ル次第デアリマス、
地元ニ於キマシテハ奉贊會ヲ設ケラレマシ
テ、熱心ニ此計畫ヲヤツテ居ルノデアリマ
ス、昭和十五年ニ、神武天皇即位二千六百
年ノ年ヲ迎ヘマスルニ際シマシテ、是非ト
モ古ノ社殿ヲ復興シ、神域ヲ擴張シタイ
云フ計畫デアルノデアリマス、今三善君モ申上
ゲマシタ通りニ、洵ニ今日ハ國費多端ノ折柄デ
アルト云フコトハ承知致シテ居リマスルガ、
又此神社ノ由緒ヲ考ヘマスルト、是非トモ此
地元奉贊會ノ計畫ヲ助成シテ戴キマス意味ニ
於テ、國費相當ノ所ヲ御支辨戴クヤウニ切
ニ御願致ス譯デゴザイマス、尙ホオ宮ノ所
在地阿蘇郡宮地町ハ昔ノ郡役所ノ所在地デ
アリマシテ、今日國立公園ノ指定ヲ受ケマ

シタ阿蘇ノ麓デアリマス、其登山口ノ一ツ
ニ該當致スノデアリマシテ、今日雲仙、阿
蘇、別府、之ヲ結合致シマシタ國際觀光途
上カラ申シマシテモ非常ニ觀光客ガ増加致
シテ居リマス、此處ニ神社ヲ御造營致シマ
スコトハ、神德ヲ敬仰致シマスバカリデナ
ク、此國際觀光途上ニ於ケル一美觀ヲ添ヘ
ルコトニナルデアラウト思ヒマス、私共熊
本縣選出ノ議員全部紹介者トシテ此請願ヲ
呈出致シタ譯デアリマス、幸ヒ先日貴族院
ニ於キマシテハ採擇ニ相成ツテ居リマス、何
卒委員諸君ノ御贊同ヲ得マシテ、御採擇ア
ランコトヲ衷心ヨリ希望致シマス

○**兒玉政府委員** 阿蘇神社ノ御由緒竝ニ御
祭神タル健甕龍命ノ御業績ニ關シマシテ
ハ、只今纏、御述ベニナリマシタヤウニ洵ニ
有難イ次第デゴザイマシテ、古來ヨリ本神
社ハ地方ノ古社トシテ崇敬ノ的トナツテ居
ルノデゴザイマスルガ、只今御述ベニナリ
マシタヤウニ本神社ハ御建築後相當年子ヲ
經マシテ腐朽甚シウゴザイマス、又御境内
モ割合ニ狹小デゴザイマシテ恐懼ニ堪ヘナ
イ點モアルノデゴザイマス、從前ヨリ之ヲ
適當ニ御修造申上ゲルト云フコトノ必要ヲ
痛感シテ居ルノデゴザイマス、十分ニ他ノ
神社トノ權衡ヲ考ヘマシテ國庫財政ノ許ス

限り成ベク速ニ御營繕ノ工ヲ起サウト存ジ
テ居リマス
○**岡田委員** 本件ハ神德最モ高キ阿蘇神社
ノ御造營ニ關スルコトデアリマス、只今紹
介議員ノ御意向モアリマシタシ、又政府當
局ノ本件ニ對スル御意向モ伺ヒマシタ、謹
ンデ直チニ採擇致シタイト思ヒマス
○**中委員長** 岡田君ノ御意見ニ御異議ゴザ
イマセヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕
○**中委員長** ソレデハ採擇ト決定致シマス
○**中委員長** 日程第七、第八ハ一括シテ議
題ニ供スルコトニ致シマス、第七、境港ヲ
食肉輸入取締規則第二條ニ依ル海港ニ指
定ノ件、文書表第三百三十五號、日程第八、
境港ニ移入牛檢疫所設置ノ件、文書表第百
三十六號、此二案ヲ一括シテ付議シ、紹介
議員ノ御説明ヲ伺ヒマス——三好君

○**三好榮次郎君** 只今私ノ紹介デ議題ニナ
リマシタ境港ヲ食肉輸入取締規則第二條
ニ依ル海港ニ指定ノ件ト境港ニ移入牛檢疫
所設置ノ件デアリマスガ、境港ハ丁度朝鮮
ノ對岸ニアリマシテ、從來朝鮮ノ牛ヲ極ク
非公式ニハ食肉獸トシテ船員等ガ持ッテ來
ルヤウナコトガ度々アツタノデアリマス、從
來此牛疫検査所ノ設置ノコトヲ當局ニモ地

方カラ陳情請願ヲ致シタコトガ度々アツタ
ノデアリマスガ、今日マデマダ其機會ニ至
リマセヌ、朝鮮カラ日本ヘ參リマス牛ノ牛
疫検査所ハ只今慥カ敦賀ト下關ニアリマシ
テ、境港ハ丁度其中間ニ位シテ居ルノデア
リマス、其境ノ對岸ノ朝鮮ノ浦項ト云フ所
ガアリマスガ、朝鮮牛ノ產地トシテ、集散
地トシテ相當ナ市場デアルト云フコトヲ聞
イテ居リマス、其浦項カラ丁度對岸ノ境ニ
朝鮮牛ヲ内地ヘ入レマスコトガ一番便利デ
アルト云フノデ、對岸ノ浦項ノ商業會議所
等カラ左様ナ話ガ境ノ方ニモ參リマシテ、
朝鮮ノ方ニ於テハ色々ナ手續ヲ履ンデ内地
ノ當局ノ方ニモ色々ナ陳情ヲ致シテ居リマ
ス現狀デアリマス、朝鮮牛ヲ内地ニ入レマ
スノニ、只今アリマス敦賀ト下關デハ丁度
中間ニアル、而モ朝鮮ト一番近イ所ニアル
境ガ境デアリマスガ爲ニ、此處ニ牛疫検査
所ノ設置ヲ願ツテ、サウシテ朝鮮牛ヲ内地ヘ
入レテ、丁度山陰道カラ山陽ニ掛ケマシテ
値段ノ安イ而モ勞働ニ便宜ナ朝鮮牛ヲ内地
ニ入レルベク、茲ニ本請願ノ御採擇ヲ願ヒ
タイ、同時ニ第七ノ此食料牛トシテノ移入
ハドウシテモ海港ノ指定ヲ得ナケレバ食肉
牛トシテノ移入ガ出來ヌサウデアリマス、
丁度是同ジヤウナ意味ニ於テ七ト八トノ

二ツノ請願ヲ御採擇願ヒタイト云フ趣意デアリマス、ドウゾ宜シク御願申上ゲマス

○中委員長 簡單デ宜シウゴザイマスカラ政府ノ御所見ヲ伺ヒマス

○細川政府委員 境港ニ朝鮮牛ヲ移入致シマス爲メノ檢疫所設置ノ御希望ニ付テ段々ト御述ベニナリマシタガ、是ハ從來カラモ再々此議會ニ請願等デ現レテ居リマス所デアリマス、朝鮮方面ニ於キマシテハ浦項カラ牛ヲ送り出スト云フヤウナコトニ最近段段其手順モ運ンデ参ッタヤウデアリマスルガ、内地ニ於キマスル朝鮮牛ノ分布ノ狀況ヲ見マスルト云フト、大體朝鮮牛ハ統計ニ依リマスルト二十七万頭足ラズ居ルノデアリマスガ、其朝鮮牛ハ主トシテ瀬戸内海ニ面シテ居リマスル方面ノ山陽道ノ方面、若クハ四國或ハ東北、關東方面ニ其分布ガ多イノデアリマシテ、境港カラ朝鮮牛ヲ移入致シマスルノニ便利デアルト思ハレル地方ニハ現今ノ所朝鮮牛ノ分布ハ極メテ其數ガ少イノデアリマス、二十七万頭ノ中ニ島根縣ニ於テ百九十頭、鳥取縣ニ於テハ未ダ統計ニ現レテ居リマセヌ、尙又檢疫ヲ濟マセマシテ、其檢疫ヲ開放セラレタル牛ガ内地ニ於テ各地ニ輸送セラレテ参ルノデアリマスガ、直接此檢疫開放牛ノ山陰地方ニ輸送セラレ

タモノハ昭和十年及ビ昭和十一年ノ統計ニ依リマシテモナイノデアリマス、斯様ナ狀態デアリマスルノデ、今直チニ境港ニ朝鮮牛移入ノ檢疫所ヲ設置スルト云フコトニ付キマシテハ、政府當局トシテハ直チニ其必要ハ認メ難イノデアリマス、將來寧ロ其推移ヲ見マシテ尙ホ研究ヲ續ケテ参リタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○岡田委員 當局ニ御尋シマスガ、此指定海港ニナリマススト云フコトト、隨テ此請願ノ趣旨ガ採用セラレレバヤハリ此檢疫モシナケレバナラスコトニナル、其檢疫所ヲ造ルノト、其費用ハ凡ソドノ位要リマスデスカ、假ニ造ルトスレバ……

○細川政府委員 實ハ此請願第七ノ方ハ、是ハ内務省ノ所管ニナツテ居リマスノデ、其方ノ關係ハ私ノ方デ能ク分リマセヌノデゴザイマスクレドモ、今此檢疫所ヲ設置致シマスル具體的ノ費用ヲ一寸茲デ申上ゲマシテモ、不正確ニナルトイケマセヌガ、大體牛ヲ入レテ参リマシテ、ソレヲ五日間留メテ置カネバナリマセヌ、隨テ其牛ヲ收容致シテ置キマス場所ト、又ソレニハ種々役人等モ——注射致シ、或ハ體溫ヲ測リマシテ病牛デアアルヤ否ヤト云フコトヲ檢疫致スノデアリマスガ、サウ云フ設備竝ニ之ニ要シ

マスル所ノ技術官ヲ置クト云フコトニ相成ルノデアリマス

○岡田委員 只今政府ノ答辯ニ依リマス數字ハ洵ニ小サイモノデアリマシテ、此必要ヲ認メルヤウナ數字デナイヤウニ示サレタノデアリマスガ、併シ是ハ其地方ニ此設備ガ出來ナイカラ移入ガ出來ナイノカトモ見ラレル點ガアルノデアリマシテ、ソレガ今ハッキリシマセヌガ、併シ是非移入ノ必要ガアレバ、他ヲ廻ッテモ其處ニヤハリ持つテ來ルノデアアルカラシテ、或ハ多クノ輸入ノ數ハ見込マレナイノデハナイカトモ思ハレル點ガアルノデアリマス、兎ニ角折角紹介議員ノ御紹介デアアルガ、政府ニ參考トシテ送付シマシテ、尙ホ十分政府ニ地方ノ狀況ヲ調ベルヤウニシテ貰ヒタイト思ヒマス、參考送付ニ願ヒマス

○中村委員 今何處カラ朝鮮牛ハアノ地方ニ入ッテ來マスカ

○細川政府委員 只今主ニ門司デ檢疫ヲ致シマシテ、彼處カラ各地ノ方ニ参リマス、尙ホ敦賀カラ入りマシテ、敦賀港カラ各地ニ輸送サレテ参リマス、大體其分布ガドウ云フ系統ヲ辿ッテ参ルカト申シマス、門司ニ入りマシタモノハ、瀬戸内海ニ面シテ居ル所ノ廣島、或ハ岡山、乃至ハ兵庫ノ南部

及ビ香川等ノ四國ノ方ニ参リ、更ニ近畿地方ノ方ニ参ルノガ主ナモノデアリマス、敦賀港ニ入りマスモノハ、是ハ關東及ビ東北ノ方ニ参ル、門司カラ入りマシタモノモ幾分ハヤハリ關東東北ノ方ニ流レテ参ル、斯様ナ狀況ニナツテ居リマス

○中村委員 結局是ハアノ地方ガ交通不便デ、境港アタリニ移入ガ許サレナイカラ、其處ニ運ンデ行ッテモ上陸不便デアリ、或ハ經費ガ掛ッテ引合ハナイ、其爲ニ今ノ分布狀態デハ非常ニ少ナイ、朝鮮牛ヲ移入シタイト云フコトハ、是ハ全國可ナリ強イデスカラ、私ハ現在ノ少イト云フ狀態デ、瀬戸内海アタリノヤウニ、船ノ便利ガ非常ニ好イ所デアリ、交通ガ安全ナ所デアリマスルト、現在ノ情勢デサウ云フコトモ言ヘマスガ、私ハ恐ラクハ入りタイコトハ非常ニ入りタイト思フガ、サウ云フコトガ出來ナイ爲ニ、今當局デ仰シヤルヤウニナツテ居ル、私ハ是ハ出來ルコトナラバ造ッテサヘ戴クナラバ、ソレダケノ效果ト云フモノハアルモノダト思フ、數ニ依ッテ當局ニ於テモ多少御躊躇ニナツテ居ルモノトスルナラバ、私ハ之ヲ採擇シテ、斯ウ云フモノハ早ク造ッテ戴イテドン／＼入レルト云フコトニシタイ、決シテ當局ノ御方針ト相反シテ

居ルコトデハナイ、當局ノ特別ノ御意見ガ
ナケレバ私ハ採擇シタイト思ヒマス

○岡田委員 私モサウ云フ考ヲ起シタノデ
アリマス、併シ地理ガ丁度真シ中ニアルカ
ラト云フ理由ダケデハ、國費多端ノ折角無
暗ニサウ云フモノヲ設置スルコトハドウカ
ト云フ考ガアリマシタ、ソコデ政府當局ニ
費用ガ凡ソドノ位掛ルカト云フコトヲ御尋

シタノデアリマス、併シドウモ牛ノ檢疫ニ
ドウシテモ五日モソレ以上モ其處ニ圍ハナ
ケレバナラスト云フコトニナリマス、是
ハ相當ノ設備モ要ルコトデアリシ、相當ノ
費用モ要ルモノト思フノデアリマス、ソレ

デ此場合參考送付ニシテ置イテ、サウシテ
尙ホ十分請願者ノ方モ調査セラレテ、政府
委員モ考慮ヲ拂ハレテ、次ノ議會位ニ御出
シニナッテ、サウシテ其時分ニモウ少シ徹底
シタ資料ニ依ッテ決定シタラ如何デアリマ

セウカ、此場合政府ニ參考トシテ送付スル
ヤウニ一ツ御賛成ヲ願ヒマス

○古田委員 只今ノ中村サンノ採擇ニ賛成
致シマス

○中村委員 強ヒテ固執スルノデハアリマ
セスガ、アレハ五日間留置クヤウナコト
ハ、多分業者カラ相當ノ經費ヲ取ルノデア
リマセウシ、設備モ割合ニ私ハ簡單デアル

ト思フ、是ハ吾々ノ所ニアルカラ大概知ッテ
居ルガ、ソレ程大キナ問題デハナイカラ相
當ノ移入ガアレバソレダケノ效果モアルト
思フ、ソレカラ經費モ全部政府ノ方デ負擔
スルノデナクテ、其留置ク期間ハ適當ニ關
係ノ者ニ負擔ヲ命ズルヤウニナッテ居ルノ
デハナイカ一寸參考ニ伺ヒマス

○細川政府委員 大體ヤハリ政府ノ負擔ニ
ナリマスノハ其經常費ト致シマシテハ主ト
シテ人件費及ビ建物ノ費用等デアルト思ヒ
マス、唯御參考ノ爲ニ申上ゲテ見タイト思ヒ

マスガ、曾テ朝鮮牛ヲ神戸カラ移入致シマ
シテ、彼處ニ檢疫所ガ設置セラレテ居ッタ
コトガアルノデアリマスガ、近畿或ハ關東
ノ方面ニ參リマスニシテモ、神戸ニ檢疫所
ガアレバ、態門司カラ入レテ來ナイデモ

神戸ニ持ッテ來サウナモノノヤウニ思ハレ
タノデアリマスガ、實ハ神戸ニ入ル數ガ極
メテ僅カデアル、ソレハ廣島縣ノ尾道ニ古
來大キナ市場ガアリマスノデ、其處デノ取
引ト云フモノガ朝鮮牛ニ付テハ相當ニ多イ

ヤウニ思ハレルノデアリマス、其取引關係
ノ流レハ中々一朝一夕ニハ變ッテ來ナイノ
デハナイダラウカト云フ風ニモ考ヘラレマ
スル點ガアリマスルノト、モウ一面東北或
ハ關東ノ方ニ入リマスノハ、或ハ敦賀カラ

入ッテ來テ、アレカラ陸送ヲシテ參ルト云
フコトノ方ガ便利デハナイダラウカ、尙ホ
山陰地方ハ——是ハ山陰バカリデハアリマ
セス、山陽ノ脊梁山脈ニ近接シタ地方モ勿
論左様デアリマスルガ、改良和種ノ非常ニ
盛ナ所デアリマシテ、此改良和種ガ餘程普
及致シテ居リマス、勿論朝鮮牛ヲ移入スル
ト云ヒマシテモ、生體デ入レテ參リマスモ

ノガ、全部是ガ殺サレテ肉ニナルモノバカ
リデハナイノデアリマシテ、ヤハリ耕作用
其他ノ役用牛トシテ使ハレテ、更ニソレガ
肉用牛トシテ屠殺サレテ參ル、斯様ナ狀況

ニナッテ居ル、アノ地方ノ農業經營ノ習慣
乃至ハ實體ト云フモノト餘程ヤハリ密接ナ
ル關係ガアルノデハナイカト考ヘラレマス、是
等ノ點カラ見マシテ今迄ノ數字ニ鑑ミテ見マ

シテモ、今直チニ境港ニ生牛ノ檢疫所ヲ設置ス
ルト云フコトニ付テハドウモ其時期尙早ト申シ
マスガ、必要ガ直グニハナイノデハナカラ
ウカ、斯様ニ政府トシテハ考ヘテ居リマス、

尤モ朝鮮ニハ今マデハ或ハ釜山、或ハ仁川、
若クハ鎮南浦ト云ッタヤウナ方カラ牛ガ主
ニ出テ居リマシタノデアリマスガ、今度更
ニ浦項ノ方面カラ出マスト云フコトニナリ
マスレバ、茲ニ一ツ違ッタ港カラ、今マデ出
ナカッタ港カラ出テ來ルト斯様ナコトニナル

ノデアリマス、自然其流レガ一體ドウ云
フ風ニナルカ、是ガ門司ニ參ルト云フコト
ハ餘程不自然ナコトニナル、其爲ニ自然此
山陰ノ地方ニモ牛ノ檢疫所ヲ設置スルノ必
要ガアルト云フコトニ付テハ寧ロ將來ノ推
移ニ鑑ミマシテ、政府ノ方トシテモ怠ルコ
トナク是ガ研究ヲシタイト斯様ニハ思ッテ
居リマス、ドウゾ其點ヲ御諒承願ヒタイト
思ヒマス

○中委員長 一寸御諮リ致シマスガ、參考
送付ト採擇トニ御意見ガ分レテ居リマスル
ガ、岡田君ノ御主張ニナリマス參考送付ト
云フノモドレダケ費用ガ掛ルカト云フ政府

ニ對スル御質問ニ對シテ只今一寸政府ガ御
即答出來ナイト云フコトデアリマスカラ、
一應是ハ保留シテ置キマシテ、其點ヲ聽キ
マシタ上デ決定スルコトト致シタラ、如何
デスカ

〔贊成〕ト呼フ者アリ

○中村委員 宜シウゴザイマス、但シ私ハ
此際一寸申上ゲテ置キタイノハ、請願委員
會ノ從來ノ採擇方針ハ大體總テノモノガ、
今日只今ハ出來ナイケレドモ、政府デモ相
當ノ理由ヲ認メテ、相當ニ研究シテ將來ノ
情勢ノ推移ニ依ッテハ或ハサウ云フコトガア
ルカモ知レナイト云フヤウナ場合ハ採擇シ

テ居ルノデアリマス、私ハ取扱ガ二三ニナルノガ厭ナノデアリマス

○岡田委員 只今サウ云フ御話が出タカラ申シマスガ、私ハ時間ヲ惜ムモノデアリマスカラ、成ベク此儘ニシテ、能ク懇談シタラ宜イト思ッタノデアリマス、固ヨリ政府ガ全然同意セラレヌデモ、委員會ハ之ヲ押切ツテ採擇スル場合モアル、又ソレヲ反對ナ處理ニ出ルコトモアリマスガ、何モ此處理ノ經過ノ上ニ於テ二、三ニスルト云フコトハナイノデアアル、併シ成ベク討論的ニ所謂論

リマス、併シ餘リ十萬、二十萬ト云フ數ノ上ニ於テ、僅カニ何百ト云フヤウナ小サナ數字デアッテ見レバ、其地方ニ相當移入ヲシテ行カナケレバナラスト云フ情勢ニアルノデヤナイノカト云フコトモ、多少考ヘテ見ラレル點モアルノデアアルカラ、先ヅ此場合政府ニ參考送付ニシテ置クノガ至當ダラウト思ッタノデアリマス、併シ尙ホ御議論モアルヤウデアリマスシ、此場合暫ク延期シマシテ、十分ニ調査シタ上ニ決定スル方ガ宜イカト思ヒマス

争ニ依ッテ物ヲ處理スルト云フヤウナコトハ相成ベクシナイデ、出來ル限リハ譲リ合フテ滿場一致デ行キタイ、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマシテ、只今私ハ政府ト色々御話ヲシテ居ッタノハ、小サナ費用デ、餘リ大キナ犠牲ヲ拂ハヌデ行ケバ、造ッテモ宜シイガ、併シ折角造ッテサウシテ是ガ數ノ少イモノデアッテ、爲ニ却テ不完全ナ移入港ニナツタリ、檢疫所ニナツタリスルヤウナコトガアツテハ、折角ノ方針、大キク言ヘバ此檢疫ト申セバ、ヤハリ一ツノ國內ノ畜産上ニ於ケル重大ナル防疫デアアルカラシテ、是等ニ對スル、缺陷ガ少シデモ出來ルヤウナコトガナイヤウニ考ヘナケレバナラスト云フヤウナ點カラ、モウ少シ考ヘタイト思ッタノデア

○中村委員 私モ延期シテ貰ヒタイ、ト云フノハ一體此處デ議論ノ纏ラヌ理由モ、政府ノ方デ幾ラ金ガ掛ルカ分ラナイト云フヤウナコトデ、一體政府ノ説明モ聽カヌデ參考送付ニスルト云フコトハ宜シクナイ、ソレデ政府ニ質セルダケ質シテサウシテ決定シタラ宜イト思フ、私ノ動議ハ止メテ延期ニ贊成シマス

○中委員長 只今申上ゲマシタヤウニ一時決定ヲ保留シテ置キマシテ、政府ノ御返事ヲ伺ツタ上ニ成ベク御相談ヲシテ圓滿ニ解決シタイト思ヒマスカラ左様御承知ヲ願ヒマス、一時保留シテ置キマス

○中委員長 日程第九、二十五歳未満飲酒禁止法制定反對ノ件、文書表第二百四十五

號、紹介議員ノ御説明ヲ願ヒマス

○太田信治郎君 此請願ノ趣旨ハ大體二十五歳未満飲酒取締法ヲ制定スルト云フコトノ請願ニ反對ヲ致ス次第デアリマス其理由ハ第一ニ法律ノ一タビ施行セラル、以上ハ是ガ施行ニ當ッテ履行セラレ、又違反取締ニ對スル十分ナル用意等ガナケレバナラヌノデアリマス、權威ノナイ、取締ガ不十分デアリ、履行ノ不十分デアアルヤウナモノ、法律ノ制定ト云フコトハ、餘程躊躇シナケレバナラヌダラウト思フノデアリマス、更ニ我國ニ於キマシテハ從來ノ美風デ神ニ御神酒ヲ獻ゲ、或ハ冠婚葬祭ニ酒ヲ戴ク、婚禮ニハ三々九度ノ盃ヲ取交スト云フヤウナ一ツノ美風ガアルノデアリマス、又一面カラ申シマスレバ、出征ノ兵士ヲ送ル場合ニハ、互ニ酒ヲ飲ンデサウシテ大イニ其行ヲ盛ンシ、又凱旋スル場合ニモ酒ヲ飲ンデ大イニ其凱旋ヲ祝福スルト云フコトガ一ツノ美風トシテ行ハレテ居リマス、然ルニ斯様ナ法制ノ爲ニ左様ナ美風ニ反スルヤウナコトヲスルノハ甚ダ面白クナイ事ダト思フノデアリマス、モウ一ツハ北海道、東北ノヤウナ寒氣ノ甚シイ地方ニアリマシテハ最モ必要デアリマス、漁村ニ在リテハ遠洋漁業ニ行ッテ、大漁ノ結果家ニ歸ッテ一

杯ノ酒ヲ飲ムト云フコトハ實ニ慰安デアリマス、又山村ノ方ガ山ヘ仕事ニ行キ、或ハ田ヲ耕シテ其祭日若クハ休日ニ休養ヲ爲シテ一杯ノ酒ヲ飲ムト云フコトハ更ニ勇氣倍シテ仕事ニ精勵スル、實ニ衛生的ニモ亦精神ノ作興ニモ非常ニ結構ナモノデアルト吾吾ハ思フノデアリマス、然ルニ之ヲ法律的ニ取締ルト云フコトハ、又假ニ取締法ヲ設ケタ所デ、其取締ハ如何ニモ困難アルト思フ、第一其取締ノ方法ニ付テ、販賣者ガ取締規則ニ反スル販賣ヲスルコトハ出來ナイト云フコトニナリマシタ所デ、女、子供ガ買ヒニ來ル、此酒ハ家庭ニ入ッテ何人ガ飲ムカト云フコトハ販賣業者ニハ分ラナイ、又外デ取締ヲシタ所ガ、家庭ノ中ニ入ッテ何人ガ此酒ヲ飲ンデ居ルカ、ソレヲ取締ルト云フコトハ到底是ハ不可能デアリマス、之ヲ要スルニ斯様ナコトハ寧ロ人間本來ノ嗜好品デアリマスカラ、是ノ取締ハ道德的觀念若クハ衛生的觀念ノ發達ニ依リ、或ハ宗教的ノ信仰ニ依ッテ之ヲ見合セ、或ハ之ヲ忌避スルト云フヤウナコトガ、自然ニ出ルコトハ結構ト思ヒマスケレドモ、法律ヲ以テ之ヲ一般的ニ取締ルト云フコトハ、甚ダ私共ハ面白クナイト思フ、且ツ此國家ノ國防産業上ニモ必要ダト吾々ハ認メテ居ル、唯茲

ニ一般學生其他が勉強等ヲスル時代ニ、酒ヲ飲ムコトノ衛生的ニ面白クナイト云フヤウナコトモ考ヘラレマススケレドモ、是等ハ

寧ろ學校ノ當局者ニ於テ十分注意ヲ與ヘテ、法律的デナク取締ルコトガ寧ろ私ハ必要デ

アルト思フ、故ニ此取締法ハ寧ろ宗教的信仰ニ依ッテ、自然ニ各自ガ衛生ヲ重シジ道德ヲ重シジテ、取締ヲ行フト云フコトニナル

ノハ宜シイガ、法律ニ依ッテ之ヲ取締ルト云フコトハ、曩ニ申上ゲタ如ク、取締不可能

ノ不用意ナ法律ヲ施行スルト云フコトハ、權威ノナイ法律ヲ設ケルコトニナツテ、甚ダ將

來ノ法律ノ權威ノ爲ニモ面白クナイト存ジマス、其意味ニ於テ本請願ヲ致シタ次第デ

アリマスカラ、ドウカ満場ノ諸君ニ御採擇ヲ御願致ス次第デゴザイマス、尙ホ一言附

加ヘテ申上ゲデ置キタイノハ、私ノ紹介ヲ致シマシタ請願ト前田房之助君ノ御紹介ヲ

致サレマシタ案ト殆ド同ジコトデアリマス、故ニ前田君ニ代リマシテ、私ガ茲ニ説明ヲ

致シタ次第デアリマス、併セテ御採擇アラシコトヲ希望致シマス

○岡田委員 本件モ殆ド例年ノ請願デアリマス、別段本請願ノ本體ニ對シテ著シイ變化モナイ、寧ろ國稅ノ上ニ於キマシテハ、

酒造稅ノ増徴ヲシナケレバナラスト云フ時

デアリマスカラ、前例ニ依リマシテ採擇致シテ置キタイト思ヒマス

○中委員長 本案ハ採擇ニ御異議ハゴザイマセヌカ

○中村委員 度々岡田君ト論争スルヤウナ形ニナツテ恐縮デスガ、私ハ實ハ此請願ヲ採

擇スルコトガ豫テ請願委員會トシテ果シテ適正ナ處置デアルカト云フコトニ、大キナ

疑問ヲ有ッテ居タ、ト云フノハ、今年モ出テ居ルカドウカ知リマセヌガ、是ト丁度反

對ノ請願ガ例年現レテ居ル、其場合ニ今ノモノト反對ノモノト、迎モ兩立シナイモノ

ヲ兩方共採擇シテ居ル、是ハドウモ私共議員ノ良心トシテ許サレナイコトダト思フ、

請願委員會トシテドチラカニ意見ヲ決メ得レバ結構デアアル、ドチラカモハッキリ決マラ

ストスレバ、結局兩者ハ此場合ニハ政府ニ參考トシテ送付スルノガ適當デアアル、他ノ

案トシテハサウ云フ取扱ヲシテ居ルヤウデアリマス、今迄ノ例モアリマスガ、私ハ請

願委員會ノ審議ノ權威ノ爲ニ、茲デ一ツ御五ニ考ヘテ見タイト思フ、案ノ善惡ハ兎ニ

角ト致シマスガ——ソレトモウツハ法律案ガ議員提出デ出テ居リマスガ、政府ガサ

ウ云フ法制化ヲ爲スモノデハナイカト云フコトヲ豫期シテ、前以テ之ニ反對スルト云

フヤウナ請願ガチヨイ——此頃現レテ來ルヤウナ傾向ニナツテ居ル、私共ハ政府ガ法律

案ナンカヲ提出スルコトガ分ッテ居リマス場合ニ、サウ云フ請願ガ先ニ出サレルコト

モ實ハ有體ニ言ヘバ迷惑ナンド、ソレハ仕方ガナイトシテモ、議會ニ於テ眞ニ討議研

究ヲシテ問題ヲ決シナケレバナラスト云フ其前ニ簡單明瞭ニ請願委員會デ贊否ヲ決ス

ルコトハ頗ル重大ナ問題デアアル、ソレデ意見ガ一致シテ、十分ニ討論シテヤルコトナ

ラ差支アリマセヌガ、サウデナクテ、今迄餘リニ斯ウ云フ問題ヲ輕々ニ扱ヒ過ギタト

思フ、一寸委員長ニ承リマスガ、制定ノ件ハ出テ居リマセヌノデセウカ

○中委員長 此前ノ分科ニ出テ參考送付ニナツテ居リマス

○中村委員 私ハ異論ガアル、政府ノ意見ヲ聞ケバ或ハ之ニ同意サレルカドウカ能ク

私ハ知リマセヌガ、斯ウ云フ法律ヲ制定スル前ニ、斯ウ云フ問題ニ付テ意思表示ハ私

ハセヌ方ガ宜シイト思フ、前ニ是ト丁度反對ノモノガ出テ兩方對立シテ居ルナラ、私

共ノ意見ヲ決定シナイデ、反對側ノモノト同様ニ參考送付ニシテ、兩方同ジヤウニ取

扱フガ妥當ダラウト思ヒマス

○岡田委員 中村君ノ御言葉ニ私ガ御答ス

ルノモラカシイガ、今ノ御話ノ中ニ、一方ヲ採擇シ、反對ノモノモ採擇スルノハ矛盾ダ

ト云フ御話ハ御尤デスガ、左様ナモノハ殆ドナイ筈デアルト思ヒマス、私ハ請願委員

會ノ全部ヲ知悉シテ居ル譯デハアリマセヌカラ、自分ノ存ジナイモノモアルカモ知レ

マセヌガ、私ノ知ッテ居ル範圍デハサウ云フ場合ハナカッタヤウニ思ヒマス、唯一方ヲ採

擇シテ一方ヲ參考送付ニスルトカ、一方ヲ不採擇ニシテ一方ヲ參考送付ニシタト云フ

場合ハアルノデアリマス、又左様ナ事情ハ出テ參ルノデアリマス、正反對ノモノヲ兩

方トモ採擇シタヤウナコトハナイト思ヒマス、從來ハ禁酒法ニ贊成ノモノニ對シテハ

採擇スベカラズト云フコトニ決シテ居リマシタシ、ソレト反對ノソレヲ阻止スル所ノ

モノ、即チ制定ハ出來ナイト云フモノハ採擇シタ、斯ウ云フコトニナツテ來テ居ルノデア

リマス、併シ最近禁酒法案ノ方ヲ參考送付ニスルト云フコトハ慥カ此議會バカリデヤ

ナイ其前アタリカラ片一方ノ方ニ對シハ緩和シテ來タノデス、併シ一方ヲ參考送付ニ

シタラ是モ參考送付ニシタラ宜イデヤナйкаト云フコトハ、是ハ私バカリデナク皆様

モ御同意ト思ヒマス、サウ云フ譯デアリマシテ、モウ一ツノ恰モ豫防線ノヤウナ請願ガ

來ルト云フ話ハ、私共モ常ニ言ッテ居ルコトデサウ云フヤウナコトハ成ベク避ケタイト思ヒマスケレドモ、御承知ノ通り同僚諸君ヤ先輩諸君ガ紹介シテ來ラレルノデアルカラ、之ヲ斥ケルコトモ困難デアリマスカラ、ツイ其處ハ適當ニヤッテ居ル次第デ、其邊ヲドウカアナタモ請願ニハ御精通ニナッテ居ルノデアリマシテ、唯時間ガナイカラ成ベク端折ッテ行キタイト云フ爲ニ、不徹底ナ所ガアラウカト思ヒマスガ、ドウカ此邊デ一ツ御處理願ヒタイト思ヒマス

○中村委員 私ハ何時カ兩方好イ加減ナ取扱ラシマシタコトガアツタヤウニ記憶シテ居リマスノデ——アツタカ無カッタカ知リマセヌガ、可ナリ是ハ重大ナ問題デスガ、委員トシテ制定スベカラズト云フ本當ノ委員全部ノ同意ノ下ニ採擇セラレルナラ私ハ異論ハ申シマセヌ、唯動モスレバサウ云フヤウナ場合ニ、今迄殆ド其内容ニ餘リ觸レヌデ、簡單ニ通シタヤウナコトガアッテ、アトデ私等本議場ニ臨ンダ時ニ甚ダ迷惑ラ感ジタ、是ハ自分ガ惡イ、自分ガ惡イノダケレドモ、成ベク委員會ハ數ニ依ッテ決セヌデ、大勢ニ依ッテ行カウト云フコトニナッテ居リマスカラ、サウ云フコトガアリマシタカラ私ハ念ノ爲ニ申上ゲタイノデスガ、一方ガ採擇

ニナッテ一方ガ不採擇ニナル、或ハ參考送付ニナル、是ハ委員ノ本當ノ意思ガアッテスルコトナラ差支ナイ、實ハ此問題ニ付テハ委員會ニ本當ハ可ナリ眞剣ナ意見ガアル筈ダト思フ、ソレヲ餘リ簡單ニ考ヘテ居ハセヌカト思フノデスガ、併シ此議場デ斯ウ云フコトガ現ハレヌト致シマスレバ、私ハ敢テ之ニ付テ異論ハ申シマセヌ、ドウデモ宜シウゴザイマス、私ハ之ニ付テ實ハ反對デス、此請願其モノニ反對デス、ケレドモ一人デ意見ヲ固執シテ大勢ヲ動かスト云フコトハ委員會トシテ避ケテ居リマスカラ、大勢ガサウデアレバ採擇ニ從ヒマス、是ダケ申上ゲテ置キマス

○太田信治郎君 私ハ此場合ニ、委員外デゴザイマスカラ意見ヲ申上ゲルコトハ差控ヘマスガ、要スルニ只今中村君ノ御話ノ中ニ、意思表示スルコトハ良イカ惡イカト云フヤウナ御言葉ガゴザイマシタガ、私共ハ委員諸君ガ意思ヲ表示シテ下サルモノトモ思ッテ信賴ヲシテ御願致シテ居ル、ソコデ御反對ノ御意見モアルカモ知レマセヌガ、今迄モ既ニ數回同一請願ガ採擇セラレタコトガアル、此場合私ハ議論ヲ申ス必要ハアリマセヌ、願クハ諸君ノ御同情ヲ以チマシテ御採擇アランコトヲ私ハ偏ニ御願ヲ致ス次第デアリマス

〔採擇ト呼フ者アリ〕
○中委員長 採擇ニ御異議アリマセヌカ〔異議ナシ〕呼フ者アリ〕
○中委員長 ソレデハ左様決定致シマス
○中委員長 議案第十號質屋取締法中改正ノ件、文書表第二百四十九號、之ヲ議題ニ供シマス、紹介議員ノ御説明ヲ煩シマス
○安部磯雄君 此案ハ多分今回ガ三回目位ダト思フノデス、前ニモ既ニ出デ居ルノデアリマス、此請願ノ趣旨ハ詰リ質屋取締法ノ第十一條但書ニ付テ修正ヲ加ヘル、サウ云フ案デアリマス、ドウ云フ風ニ加ヘルカト申シマス、今マデノ慣例デハ若シ質屋カラ金ヲ借りテ、サウシテ期限ガ參リマス、サウシテマダオ金ヲ返済スルコトガ出來ナイト云フコトニナリマス、或ル期間ヲ置イテ、質屋ハ其抵當物ヲ競賣ニ附シテサウシテ其金ヲ以テ自分ノ取ルベキ所ノ利子ニ充テル、トコロガ實際ニ於テハ其競賣ニ附シマシタ所ノ金額ト云フモノガ其質ヲ置キマシタ人ノ質主ニ對シテ拂フベキ所ノ金額ノ數倍ニ當ルト云フヤウナコトガ度々アルノデアリマス、ソレハ餘リニ不公平デアル、無論拂フベキ所ノ金ト、ソレニ對スル所ノ利子ヲ其實物ヲ競賣シマシタ其中カラ引イ

テ貰フト云フコトハ、是ハモウ當然ノコトデアリマスケレドモ、ソレヲ全部質主ガ取ルト云フコトハ餘リニ酷イ、ソレデ但書ノ中ニ質主ノ取ルベキ其元金ト利子、ソレヲ今ノ質物ヲ競賣致シマシタ其賣上代ノ申カラ引去ッテ、サウシテアトハ質ヲ置イタ人ニ返ス、是ガ一ツ、ソレカラモウ一ツハ質ヲ置キマシタ者ガ期間ガ來タニ拘ラズ、マダオ金ヲ返スコトガ出來ナイト云フ場合、其場合カラ今度品物ヲ競賣致シマスルノニハ若干ノ日數ガアリマスガ、其間ニマダ競賣ラシナイ前ニ、其質ヲ置キマシタ所ノ人ガ元金ト利息トヲ揃ヘテ質主ニ返スコトガ出來ル、サウ云フ風ニ自分ノ方デ金策ガ出來マシタナラバ、ソレハ其場合デモ——期限ガ過ギテ居リマシタ場合デモ、マダ競賣ニ附セラレヌ前ノコトデアリマスルナラバ、其時ニハオ金ヲ持ッテ行ケバ、ソレデ以テ質物ヲ取返スコトガ出來ル、勿論其時ニ拂ッテ居ナイ——支拂ヲ延期シテ居リマシタ其元金ニ對シテ、ソレニ拂フベキ所ノ金ニ對スル又相當ノ利子ハ是ハ當然拂ハナケレバナリマセヌケレドモ、ソレヲ拂ヒサヘスレバ競賣ラスト云フ其時期ノ少シ前デアリマシタナラバ、何時デモ其實物ヲ取返スコトガ出來ル、サウ云フ但書ヲ第十一條ニ付加ヘ

タイト云フノガ此請願ノ趣旨デアリマス、言フマデモナク今日質屋ト云フノハ貧民階級ノ爲ニハ、最モ廣ク行ハレテ居ル所ノ金融機關デアリマスカラ、餘リニ質屋ヲ經營シテ居ル人が取過ぎテハ居ナイカ、利益ヲ餘リ得過ぎテハ居ナイカト云フ其處ニ懸念ガアルノデアリマス、此請願ヲシマシタ人ハ何モ自分ガ質屋ノ厄介ニナルト云フヤウナサウ云フ人デアリマセヌ、之ヲ出シマシタ人ハ相當自分モ仕事ヲシテ居ルノデアリマスガ、唯細民ガ質屋ノ爲ニ隨分苦シメラレテ居ルト云フコトヲ自ラ知ッテ居リマスカラ、是ダケハドウシテモ救済ヲシナケレバナラスト云フノデ、斯ウ云フ請願ヲ出シタ譯デアリマス、今度ガ約三回目ダト思ヒマスガ、之ヲ私ノ名前デ以テ自分ガ提出者トナッテ、サウシテ皆サンニ御願ヲ致シテ居ル譯デアリマス、ドウゾ御調査ノ上デ御採擇下サルヤウニ私ハ更ニ御願申上ゲタイト思ヒマス

○岡田委員 本件ハ只今安部先生ノ仰シヤツク通りデアリマシテ、實情ハ其通りダト思フノデアリマス、唯問題ハ斯様ニ致シマスト云フト、庶民金融機關デアリ最モ細民ノ使ッテ居ル機關ガ、簡單デ取扱ハレル所ニ又其處ニ斯ウ云フ庶民金融ノ味ガアルコトデ

アリマスノデ、之ヲ一ツノ法規ニ當嵌メテ、其嚴重ナル規定ニ從フ取締ヲ受ケルト云フコトニナルト、勢ヒ色々ナ手數ガ掛リマシテ、其爲ニ簡單ニ取扱フコトガ出來ナイ、隨テ又利息モソレニ加算サレルト云フヤウナコトニナリマスノデ、昔ハ隨分質屋ト云フモノハ過酷ナル利息ヲ取ッテ居ッタヤウデアリマスガ、最近ハ段々世間ノ掣肘ヤ、實際ノ狀況カラ是ガ訂正サレテ來テ居ッタと思フノデアリマス、直接ノ當該官廳ノ取締ニ當ッテ居ラレル方ノ御意嚮ヲ承リマシテ、適當ニ處理シタイト思ヒマス

○兒玉政府委員 質屋取締法ハ御承知ノヤウニ明治二十八年ノ制定ニ掛リマシテ、最早既ニ制定後年所ヲ經テ居リマス、隨テ不備ノ點ガ相當多イノデゴザイマシテ、政府モ其不備ノ點ハ認メテ居ルノデゴザイマス、近ク法全體ニ互ッテ改正スル必要ガアルト思ッテ居リマス、只今安部先生カラ御話ノゴザイマス流質ノ場合ノ方法デゴザイマシガ、是ハ是ト大體同様ノ規定ガ公益質屋ノ方ニハアルノデゴザイマスガ、ソレニ大體準ジョウト云フ御趣旨ダト存ズルノデゴザイマス、公益質屋ニ對シマシテハ、政府カラモ相當ノ補助ガ行ッテ居リマシテ、之ヲ營利質屋ニマデ公益質屋ト同ジヤウナコトラ

ヤラスト云フコトハ、是ハ業態ノ上カラ見マシテ相當考慮ヲ要スベキモノダト思ヒマス、只今申上ゲマシタヤウニ全體トシテ考慮ヲ致シマシテ、質屋取締法ヲ新ニ制定シタイ積リデ居リマス

○岡田委員 採擇致シタイト思ヒマス

○中委員長 採擇ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○中委員長 ソレデハ左様ニ決定致シマス

○中委員長 次ニ日程第十一穀類搗精製粉取締法制定ノ件、文書表第七十七號、紹介議員ノ御説明ヲ仰ギマス——荒川君

○荒川五郎君 此請願ハ大竹貫一竝ニ大口喜六君、尾崎行雄君等カラ連署シテ紹介シテ貰ヒマシタガ、便宜上簡單ニ私ヨリ御説明申上ゲテ、皆様ノ賢明ナル御審議ヲ御願ハ學問モアリ、見識モアル一個ノ國士デアリマシテ、我が國民ノ保健衛生ノ爲ニ、是非此搗粉ヲヤメルト云フコトヲ實現シタイト云フノデ費用ヲ惜マズ、歲月ヲ惜マズシテ多年努力ヲシ來ッテ居ルノデアリマス、此搗粉ノ害ガアルコトハ、既ニ衛生試驗所ニ於テモ鼠ナドデ明ニ試驗セラレ、其結果ハ明白ニナッテ居ルノデアリマス、搗粉ニハ硅素質ノモノガアリ、石灰質ノモノガアリマ

スガ、硅素質ノモノデアルト痛ヤ、瘍ノ如キ恐ルベキ病氣ノ原因トナル、石灰質ノモノデハ尿道ヲ侵シテ膀胱結石、腸ノ結石、肝臟結石ト云フヤウナ病氣ヲ起スノデ、膏ニ其搗粉ガ害ヲスルバカリデアリマセヌ、其搗粉ヲ洗ヒ落ス爲ニ米ノ大事ナ成分

デアル蛋白質、脂肪質、灰分、「ビターミン」等ヲ悉ク洗ヒ去ッテ大事ナ米ヲ米ノ滓ニシテシマフノデアリマス、隨テ日常食品ニ脂肪ヤ蛋白質ガ足ラヌ爲ニ、或ハ肉類、卵類トカ云フヤウナ價ノ高い副食物ヲ攝ランケレバナラストニナルノデアリマス、天然ノ產物タル人間ノ生命ノ糧デアル米ニ、脂肪モ蛋白モ灰分モ洵ニ有機的ニ自然ニ適當ニ具ッテ居ルモノヲ特ニ搗粉ヲ入レテ置イテ、サウシテ又洗ウテ取去ッテ、其上ニ高い價ヲ拂ッテ他ノ滋養物ヲ要スルト云フコトハ此位矛盾ハナイノデアリマス、ナイノミナラズ肉類トカ其他ノ滋養品ハ攝ッテモ、凡ソ食物ノ元素ハ均衡ヲ得ナケレバ滋養ニナラナイノデアリマス、ソレガ人工的ニ攝ルコトハソレ等ノ成分ノ均衡ト云フコトハ、蓋シ到底望ムコトガ出來マセヌカラ、隨テ蛋白過剰トナリ、或ハ脂肪過多トナリ、今日ノ中流以上ノ多クノ人ハ皆榮養障礙ヲ受ケテ居ル、小前ノ者ハ滋養物ヲ攝ルコトガ出

來ナイデ榮養不足トナリ、中以上ノ者ハ榮養ヲ不均衡ニ攝ッテ居ル、不衛生的ニ攝ッテ居ルガ爲ニ、脂肪過多トナリ、蛋白過剰トナッテ榮養障礙ヲ受ケテ居ル、上下ヲ通ジテ國民衛生ノ上ニハ多大ノ損害ヲ受ケテ居ル、今日ノ日本國民ハ殆ド總テガ病人ト云ッテ宜イ、肺病ヤ肋膜炎ノ病氣ハ日ニ殖エテ居ル、近眼ヤ神經衰弱ノ如キハ殆ド調ベタラ總テノ人ガソレニ胃サレテ居ル程、國民ノ健康ハ害セラレテ居ル有様デアリマス、ソコデ一方ニハ肺病ノ治療、或ハ國民健康上ノ施設トカ色々ナコトニ多クノ費用ヲ入レテ施設セラレマスケレドモ、此國民保健衛生ノ根本デアリ、國民ヲ養フ生命ノ糧デアル米ガ若シ完全デアッタナラバ、斯様ナ多クノ衛生的設備モ蓋シナクテ済ムデアラウ、片一方ニサウ云フ風ナ色々ナコトヲシテ其病氣ノ原因ヲ作ッテ、サウシテ其病氣ガアルカラソレニ向ッテ更ニ國費ヲ掛ケテ其補ヒヲシヨウト云フコトハ、洵ニ重複シ、矛盾シタルヤリ方ト言ハンケレバナラス、斯様ニシテ行ッタナラバ、國費ハ多々益々要シテ、國民ノ健康ハ日ニ低下スルノデアリマス、國民ノ健康ノ上、民族ノ將來ヲ考ヘマズレバ洵ニ由々シキ大事デアリマスルガ、ソレガ多少ノ手間ヲ掛ケ、費用ヲ掛ケテモ、健康上

ニハ努力シナケレバナラスノニ、是ハ唯搗粉ヲ除ケバ宜シイ消極的ノコトニ依ッテ國民衛生ノ根本ガ解決出來ルノデアリマス、既ニ北海道ヤ福岡縣、滋賀縣等ニハ縣令、道廳令ヲ以テ此搗粉ヲ禁ジテ、ソレ等ノ成績ハ宜シイヤウニ承ッテ居ルノデアリマス、唯搗粉ヲ入レテ搗ケバ搗ク時間ガ經濟デアルト云フノデアリマスルガ、ソレハ直接間接ノ害、國民全般ノ衛生ノ上ニ及ボス大イナル障礙ニ比レバ洵ニ言フニ足ラヌ問題デアリマス、ノミナラズ若シ搗粉ヲ入レテ搗クコトヲ禁ジタナラバ、必要ハ發明ノ母デアル、其段ニナッタナラバ、ソレガ必要ノ爲ニ搗粉ヲ要セズシテ、サウシテ搗粉ヲ入レタ以上ニ能率ヲ擧ゲルヤウナ機械ガ必ズ必要ニ應ジテ發明セラレテ來ルト思ヒマス、既ニ今日デモ無砂搗ノ機械ハ幾種モアッテ、相當ニ成績ヲ擧ゲテ居ルノデアリマス、尙ホ將來ニハ是ガ何處マデモ人ノ智慧ニ依ッテハ進歩シ得ルコトデアリマスカラ、決シテ些々タル理由ヲ以テ國民保健ノ根本問題ヲ阻止スベキモノデハナイト考ヘマス、此問題ハ既ニ各府縣ノ衛生試験所ニ於テ、又國立ノ衛生試験所ニ於テ、總テノ方面デ其直接ノ害、間接ノ害ハ認メテ居ラレルコトデアリマスカラ、敢テ茲ニ管々シキ説明ハ要

シマセヌ、今日デハ種々ナ民業ニ於テ勸奨シ、獎勵スル法令ハ行ハレテ居ルノデアリマス、國民全般ノ保健衛生ノ上ニモ此取締法ヲ設ケテ、此害ヲ除クト云フコトハ最も重大ナ意義ガアルコトと思フノデアリマス先日豫算第二分科會デモ此事ヲ御尋シマシタ、内務大臣モソレハ全ク同感デアルト言ハレタ、衛生當局者モ其硅素質ニ於テハ斯ウ云フ病氣ヲ起ス、石灰質ニ於テハ斯ウ云フ病氣ヲ起スト云フヤウナコトモ試驗ノ結果ヲ説明セラレテ、大イニ是ハ首肯セラレテ居ル次第デアリマシテ、内務省トシテモ大臣ヲ始め御説明ニ依ッテ是ハ認メテ居ラル、ヤウデアリマス、唯中ニハ搗粉ヲ入レテモ洗ヘバマア其搗粉ハナクナルト云フヤウニ考ヘラレテ居ルヤウデアリマスルガ、米ハ搗ケバ、搗イタモノハ洗ヘバ洗フコトテ出來マスガ、粉ハ洗フコトガ出來ナイ、製粉ニモ用ヒテ居ル所ガアル、製粉ハ何トモスルコトハ出來ナイ、雷ニ搗粉バカリデハアリマセヌ、液體ヲ用ヒテ搗精シテ居ル、是等ハ製粉以上ニ如何トモスルコトガ出來ナイノデ、ソレ等ノ成分ヲ失ヒ、害的影響ヲ及ボスコトハ是ハ極メテ重大デアリマスカラ、冀クハ速ニ此取締法ガ設ケラレ、サウシテ國民保健ノ上ニドウカ大イニ其效果

ヲ擧グルヤウニ、サウシテ其途ハ何等ムツカシイコトハナイ、此方ハ速ニ御採用ニナッテ、ドウカ今日日ニ日ニ低下スル我が國民體位ヲ元ニ戻スノミナラズ、大イニ剛健有爲ナル國民ヲ打立テルベク一段ノ御努力ヲ願ヒタイノデアリマス、既ニ徵兵ノ検査ニ於テ其尺寸ガ今度低下シテ來タ、國防費ガ如何ニ増シテモ、國防ノ中幹トナル人間ガソナニ弱クナリ、小サクナッテハ洵ニ國防ノ上カラ憂フベキコトデアリマスカラ、ソレ等ノ趣意ヲ以テ熱心ニ此請願ヲ致ス次第デアリマス、速ニ御採擇アランコトヲ希望致シマス

○大竹貫一君 私モ等シク此紹介議員デアリマス、只今搗粉ノ有害ナルコトハ荒川議員ヨリ説明シマシタシ、請願委員諸君、及ビ請願ヲ紹介下サル方ガ後ニ御待チニナッテ居リマスガ故ニ、私ハ成ベク説明スル時間ヲ省ク爲ニ、一昨年ノ請願委員會ニ於テ、私ノ紹介致シマシタ趣意ヲ請願委員諸君ニ印刷ラシテ豫メ配付シテ置キマシタカラ、今更私ハ繰返シテ申上ゲマセヌ、唯遺憾ノコトハ、一昨年ノ請願委員會ニ於テ、取扱ヒ方ニ付テ大イナル私ニハ不可解ナコトガアリマシテ、其不可解至極ノコトヲ今日申上ゲマシテ、再ビ當年ハ先年ノ如キ過チヲ繰

返サナイコトヲ豫メ委員長ニ御願シテ置キ
タイ次第デアリマス、一昨十年、第六十七
議會ニ是同様ノ請願ガ出マシタ、其請願
ハ十年ノ二月十八日ノ二分科會ノ第三回ニ
於テ採擇サレテ居リマス、而シテ二月二十
二日ノ請願委員總會ニ於テ又採擇ニナッデ
居ッタノデアリマス、然ルニ三月四日ニ至リ
マシテ、此請願ト反對ナル所ノ請願ガ出マ
シタ、其請願ハ私共ガ紹介シマシタ請願ノ
如キ法律ヲ制定セザランコトヲ期スルト云
フ反對ノ請願デアリマス、之ニハ唯製粉ト
云フコトガ落チテ居リマス、唯製米ダケノ
コトニナッテ居リマス、製粉ノ方ハ入ッテ居
リマセス、其三月四日ニ於テ紹介議員ノ菅
野善右衛門君ガ説明サレマシテ、土屋清三
男君ガソレニ補足ヲ加ヘラレタノデアリマ
ス、其時ノ委員會ノ上デハ、前ニ私共ノ紹
介シマシタモノヲ既ニ採擇ニナッタコトデ
アルカラ、是ハ參考トシテ政府ニ送付シヨ
ウ、斯ウ云フコトガ多數デアッタノデアリマ
スルガ、中々議論ガ盡キマセヌノデ、土屋
君等ガ盛ニ頑張ラレタ爲ニ、ソレナラ總會
ニ廻サウト云フコトデ總會ニ廻ッタノデア
リマス、分科會ノ決ヲ採ラナイデ總會ニ廻ッ
タノデアリマス、即チ十一回ノ總會ガ三月
八日ニアリ、三月十三日ノ十二回ノ總會ニ

掛ケラレ、三月十八日ノ第十四回ノ會ニモ
日程ニ上ッタノデアリマス、三月二十二日ノ
第十六回ノ總會ニモ上ッタノデアリマスガ、
皆委員長ガ之ヲ延期スル、延期スルト云フ
コトデ後ヘ後ヘト四回マデ廻サレタノデア
リマス、而シテ三月二十四日ノ第十七回ノ
委員會ニ於キマシテ山本請願委員長ハ、是
ハ建議案ノ委員會ニ於テ既ニ是同様ノモ
ノガ「パス」シタカラ、此請願ノ方ハ政府ニ
參考送付ニスルト云フコトヲ宣セラレタノ
デアリマス、抑、人民ガ神聖ナル請願ノ權
利ヲ用ヒマシテ請願シマシタモノヲ、議會
ノ中ニ於テ議員ガ相應ジテ、ソレト同様ナ
モノヲ建議案ニ出シマシテ、建議案ガ通ッ
カラト云ッテ請願ヲ横取りスル形ニナッテ居
ルノデアリマス、況ヤ先刻申上ゲマシタ通
リ、私共ト反對ノ方ノ請願ニハ製粉ト云フ
コトガ入ッテ居ラスノデアリマス、建議案ニ
ハ勿論製粉ガ入ッテ居ラスノデアリマス、製
粉ヲ入レザル所ノ建議案ガ出マシテ、サウ
シテ菅野善右衛門君等ノ出サレマシタ所ノ
私共ノ反對ノ請願ガ參考送付トシテ政府ニ
送ラレテ居ッタ譯デアリマス、ソコデ議會ノ
最終ノ日ニ、皆様ノ御承知ノ通りニ請願委
員長ガ全部請願ノコトヲ本議會ニ報告サレ
マス、其報告サレタ際ニ當リマシテ、斯ウ

云フコトガ議長ノ發言中ニアリマス「請願
日程中只今採擇ト看做シタル請願ハ之ヲ除
キマス、又特別報告第百二十二號」是ガ即
チ私共ノ請願ノコトデアリマス「穀類搗精
製粉取締法制定ノ請願ハ、先刻是ト内容相反
スル穀類搗精取締法制定反對ニ關スル建議
案ガ議決セラレテ居リマスルカラ之ヲ除キ
マス、以上ノ請願ヲ除キタル各請願ハ、委
員長ノ報告通り採擇スルニ御異議アリマセ
スカ、御異議ナシト認メマス、仍テ各請願
ハ委員長報告通り採擇スルニ決シマシタ」
斯ウ云フコトデ本會議ガ通ッテ居リマス、サ
ウスルト私共ノ出シマシタ請願ト云フモノ
ハ、分科會ヲ通り、總會ヲ通ッテ居リマスル
カラシテ、等シク是ガ本會議デ報告ニナル
ベキ譯デアリマシタ、所ガ一方ニ反對ノ請
願モ出テ居リマシタガ、私共ノ請願ガ通ッ
後ニ出マシタノデ、中々通ラナイ、是ハ通
ラナイト認メラレタモノデアリマスカラ、
議員ガ内方カラ相應ジテ建議案ヲ出サレタ
ノデス、其請願タルヤ千葉縣安房郡館山北
條町搗粉販賣業本問讓ト云フ者カラ出テ居
リマス、即チ營業者カラ出テ居リマス、之
ヲ菅野君ガ出サレマシテ、ソレヲ通サウト
サレマシタケレドモ、中々委員會デハ通ラ
ナカッタ、通ラヌト認メラレタ爲ニ今度内方

カラ議員ノ方ガ建議案トシテ提出ヲサレ、
其建議ノ委員會デ「パス」シマス迄、先刻申シ
マシタ通り請願委員會ノ總會ガ四回開カレ
居リマシタケレドモ、四回トモ委員長ガ吞
込シテ置イテズンノト延バシテ居ッタノデ
アリマス、最後ノ五回目ノ第十七回ノ委員
會ニ於テ先刻申上ゲタ通り建議案トシテ
通ッタカラ是ハ政府參考送付トシタ、是ガ抑、
本會議ニ私共ノ請願ヲ除キマスル爲メ斯様
ナ下地ヲ作ラレタノデアリマス、サウシテ
建議案トシテ既ニ反對ノモノガ通ッタカラ、
搗粉取締ノモノハ不用デアルト言ハンバカ
リニ之ヲ總體ノ中カラ除キマシタ、議長ノ
宣告ニ百二十二號ト云フノハ即チ私共ノ請
願ノコトヲ指スノデアリマス、請願委員會
ニ於テモ如何ニモ皆様ガ熱心ニ研究サレテ
等シク採擇ニナッタモノヲ横取ノ建議案ノ
爲ニ不採擇ノ形ニナッデシマッタト云フコト
ハ請願委員會ノ見識ニモ關スルコトデア
ト信ズルノデアリマス、又人民ノ神聖ナル
請願ヲ、建議案ト云フモノデ以テ横カラ奪
ヒ取ッデシマフト云フコトハ何事デアルカ
ト思フノデアリマス、殊ニ今ノ請願ハ搗粉
ノ商賣人カラ出タ所ノ請願デアルノデア
リマス、ソレニ對シテノ事柄デアアル、又本年
モ是同様ノ請願ガ四百四十八號デ出テ居

リマス、ソレハ一昨年ノ人デハナイガ、ヤハリ等シク商賣人デアリマス、本年出マシタノハ京橋區越前堀一丁目一番地房州白土共販株式會社佐野傳兵衛ナル者カラ出テ居リマスガ、他日はガ此委員會ニ上程サレルコトト信ジテ居リマス、丁度一昨年ト同様ノ形ヲ此處デ再ビ繰返スコトニナリマス、之ヲ私が請願委員諸君ノ前ニ申上ゲルコトハ失禮デアリマスガ、一昨年ノ如キコトガ再ビ出マシタナラバ、請願委員會ノ御見識ニモ關係ラシ、一面非常ニ迷惑スルコトデアル、斯ウ考ヘマスルノデ、私が今荒川君ノ有害説ニ續イテ請願ノ取扱方ニ付テ甚ダ遺憾ノ點ガアリマスカラ、此事ヲ申上ゲテ委員長ノ御參考ニシテ戴キタイト考ヘルノデアリマス

ソレカラ立チマシタ序デニ政府委員ニ伺ヒマスガ、内務省ハ昨今ドシナ程度ニナッテ居リマセウカ、此請願ハ度々是マデ出タコトデアリマスルガ、未ダ内務省ニ於テハ取締規則ヲ出サレヌヤウニ私ハ見テ居リマス、所ガ今申上ゲマシタ反對ノ請願及ビ反對ノ建議ノ議サレル際ニハ、内務省カラヤハリ政府委員ガ出テ居ラレマシテ、其政府委員ノ説明ヲ聽キマスルト云フト、ヤハリ先刻荒川君ガ述べラレタ通り害ガアルト云フコ

トヲ十分認メテ居ラレル、サリナガラ、副食物ヲ用ヒレバ其害ハナイト、斯ウ云フコトニ結論ハナリマス、今言ハレタ通り一人前ノ人ナラバ其通りデアリマスケレドモ、民間ノ下層ニ居リマス勞働者アタリニナリマスレバ、米ノ御飯ヲ炊イテ朝ナラバ味噌汁一杯、御晝ナラバ澤庵カ、或ハ梅干、或ハ生ノ味噌ヲ辨當ニ詰メテ働キニ出テ居ルカラ、之ヲ補フニ足ルヤウナ副食物ヲ付ケ得ベクモナイ、然ルニ此搗粉サヘ混ヘナケレバ副食物ナシト云フヤ、コシイ問題ニハナラス、胚芽其儘ヲ存シテ置キ搗粉ヲ入レスト云フコトデアレバ、ソレデ立派ナ營養ガアル、今日此瑞穂ノ國ニ生レテ米ヲ食ッテ大和民族ト云フ立派ナ實質ナル吾々同胞ガ生レテ來タノデアルガ、ソレヲ故ラニ、亞米利加カラ搗粉ヲ入レテ搗ク機械ガ入ッテ來タ、アノ亞米利加ノ機械ハ搗粉ヲ入レナケレバ役ニ立タナイ、今日デハアンナ機械ヲ使ハナイデモ立派ナ機械ガ、内地ニ出來テ居ルカラ、態、搗粉ヲ入レテオ五ニ害毒ヲ流スヤウナモノヲ使ッデ、サウシテソレヲ洗ヘバ落チルト言ヒマスケレドモ、サウデヤナイ、幾ラ洗ッテモ洗ッテモ搗粉ハ入ッテ居ル、ソレヲ奇麗ニ洗ハウトスレバ大事ナ營養分ヲ殘ラズ落シテシマヒマス、態、金

ヲ掛ケテ骨ヲ折ッテ營養分ヲ取去リ、サウシテアトハ副食物ヲ攝レバ差支ナイト云フヤウナ隨分吞氣ナコトヲ内務省ノ政府委員ガ仰シヤル、此政府委員ノ方ハ貴族院カラ出ラレマシタ參與官デアリマシタガ、是ハ素人ノ方デ其時ノ一夜學問ダト思ヒマシタカラ、私共ハ相手ニセズ、唯フン／＼ト聽イテ居リマシタ、併シソシナコトデハ濟マナイト思フ、今日保健衛生ト云フコトハ非常ナ問題ニナッテ來マシテ、保健衛生ノ爲ニハ態、今日ハ一省ヲ設ケルト云フ風ニ國論ガ盛シニナッテ來タ、又日本ノ國防ト云フコトニ付テモ、今荒川君ガ言ハレル通り、徴兵検査ニ於テ年々歳々甲乙ヨリ丙丁ト云フモノガ段々検査ノ結果出テ來テ居ル、斯ウ云フコトガ明ニナッテ居リマス、況ヤ動物ニ喰ベサセタラ非常ナ害ガアル、其話ヲスルト非常ニ長クナリマスカラ、私が上ゲマシタ印刷物ガアリマスガ、是ハ一昨年私ノ演説ヲ致シマシタモノデスカラ、後デ御覽下サルト分リマス、内務省ノ方カラ今日ノ取締ニ對スル御意見ヲ拜聽致シタイト思ヒマス

○兒玉政府委員 只今御述ニナリマシタコトハ、大體吾々ノ伺ッテ居ッタコトト同様デゴザイマス、即チ内務省ト致シマシテモ搗

粉ヲ用ヒマスルト人體ニ相當ナ害ヲ與ヘルト云フコトハ、是ハ此間ノ分科會ニ於テモ大臣ガ申述ベテ居ラレマス、動物試験ノ結果ニ依リマスルト、搗粉ヲ用ヒマシタ米ヲ食ハシマスレバ、或ル程度ノ生理的障礙ヲ與ヘル、隨テ之ヲ人間ガ喰ベマスレバ色々ナ障礙ヲ生ズルデアラウト云フコトハ、今デモ内務省ハサウ云フ見解ヲ取ッテ居リマス、ソレデ只今御述ニナリマシタヤウニ内務省ノ考ト致シマシテハ、搗粉ハ加ヘテ居ルケレドモ現在ノ慣習ト致シマシテハ米ハ洗ッテ磨イテ炊クト云フ慣習ニナッテ居ル、隨テ磨イダ米ニ於キマシテハ多少ノ搗粉ハ殘ッテ居リマセウケレドモ、大體ニ於テハ洗ハレテシマヒマスルノデ、人體ニ害ヲ與ヘル程ノ搗粉ハ其中ニハ殘ッテ居ナイデアラウ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス、其際ニ營養分ガ無クナリマスルノデ之ヲドウシタラ宜イカト申シマス、先程御述ベニナリマシタヤウニ、其營養分ノ不足ト云フモノハ或ハ副食物ニ依リマシテ「ビタミン」蛋白質其他ノモノヲ整ヘレバソレデ大體足リルノデハナイカト斯ウ云フ風ニ今デモ實ハ内務省ハ思ッテ居リマス、偕デソレ以上ノ議論デゴザイマスルガ、此様ナ狀況デ以テ法律ヲ制定シテ搗粉ノ禁止ヲスルト云フコトニ

付テ、是ダケデ根據ガアルカドウカト申シマスルト、餘程躊躇セザルヲ得ナイダラウト思ヒマス、一方ニ於キマシテハヤハリ經濟的ノ問題モ考ヘナケレバナリマセヌ、是ハ農林省ノ所管ニ相成ラウト思ヒマスルノデ深ク申述べマセヌガ、ヤハリ經濟的ニ考ヘマシテ搗粉ヲ使フト云フコトハ相當ニ有利デアツテ、之ヲ全然法律ヲ以テ禁止ラスルト云フコトハ經濟的ニ困ルデハナイカト考ヘテ居リマス、ソレカラ又榮養上ノ問題ト致シマシテモ、ヤハリ搗粉ヲ用ヒナイ米ヲ用ヒレバハ一番榮養上ハ良イニ違ハアリマセケレドモ、ソレデハ或ハ個人ノ嗜好ニ副ハナイト云フヤウナ點モ考ヘナケレバナリマセヌ、又搗粉ヲ使ハナイ米ノミヲ食ベテ居レバソレデ榮養ハ足リルノダト云フ結論ガ確實ニ得ラレルナラバ、是ハ餘程突達ンデ考ヘテ宜イノデゴザイマスルケレドモ、現在ニ於キマシテハ國民ノ嗜好ト云フコトモ考ヘナケレバナリマセヌ、又假ニ搗粉ヲ用ヒナイ米ヲ全部ノ國民ニ用ヒサセマシテモ、尙且ツ相當ノ副食物ガ必要デアラウト云フヤウナ考カラ致シマシテ、今直チニ之ヲ法律ヲ以テ禁止シテ、搗粉ヲ使ハセナイヤウニスルト云フコトハ餘程考慮ヲ要スベキモノデハナイカト斯ウ考ヘテ居リマス

○大竹貫一君 只今ノ内務省デモヤハリ有害ト云フコトハ確ニ御認メニナツテ居リマスケレドモ、ヤハリ米ニ對シテハ洗ヘバ落ちルカラ差支ナイト云フ、ソレト又搗粉時ニ若シ搗粉ヲ止メルト云フコトニナレバ、搗クニモ大變手間ガ掛ツテ費用ニ關係スルト云フコトデ僅ニ説明ヲ遁レテ居リマシマス、小糠ノコトニ對シテハ一向御話シニナラナイ、此出タ所ノ、搗粉ヲ用ヒテ出來タル所ノ小糠ト云フモノハ動物ニヤラナケレバナラス、牛馬ヲ飼ヒマスルニモ、豚ヲ飼ヒマスルニモ今日ハ小糠ト云フモノハ大切ニナツテ居リマス、搗粉ヲ入レタ小糠ト云フモノヲ牛馬ニ與ヘマスレバ、先刻言ハレマシタ通り膀胱結石其他色々ナオ腹ノ中ニ結石ガ出來ルト云フコトハ、動物學者ガ澤山調べテ居リマスルコトハ此前會ニ於テ私が説明シテ居ル筈デアリマス、サウシマスルト云フトドウシタツテ此取締規則ヲ設ケテ置キマセスケレバ益、搗粉ト云フモノガ盛ンニナツテ來ル、土屋君ナドハ搗粉ヲ入レタ所ガ何モ害ガ無イト云フコトヲ論ジテ居ラレル、是ハ實ニ間違ッテ考デアリマス、ケレドモアノ人ハ平氣デア、云フコトヲ唱ヘラレマスガ、是ハ論外デアリマス、今申上ゲタヤウニ小糠ニ付テハ内務省ハ御答辯ハ出來

ナイト云フコトト、動物ニヤルコトニ付テ如何ニシテ之ヲ防グカ、之ヲドウ爲サル御積リデスカ、動物ニ今マデ通り搗粉ヲ混ゼタ小糠ヲヤレバ害ニナルコトハ分リ切ツテ居ル、馬ナドハソレガ爲ニ走ルコトガ出來ナイヤウニナルコトハ、獸類學者ガ皆報告シテ居リマス、又腹ノ中ニ結石ガ出來ル、牛デモサウデアリマス、續々ト其實例ガアル、ソレハドウシテ御取締ニナル考デアリマスカ

○兒玉政府委員 只今ノ牛馬ニ對シマシテノ糠ノ問題デアリマスガ、是ハ牛馬ニ對シマシテ糠ノミヲ飼料ニスルト云フコトデゴザイマスレバ、或ハ其ヤウナ結果ガ出ナイトモ限リマセヌ、色々混合シタ飼料ヲ與ヘマスレバ、サウ大シタ心配ハナイノデヤナイカト思ツテ居リマス、製粉ニ於キマシテモ米程ニ常用ヲ致シテ居リマセヌシ、ソレト同時ニ副食物ヲヤハリ攝ツテ居リマスノデ、其點ハ餘程米トハ違フト思ヒマス

○大竹貫一君 只今内務政府委員ノ説明ヲ聽キマシタガ、一向私ハ感服出來マセヌ、製粉ニ付テハ殆ド御答辯ガ出來ナイ、動物ニ對シテハ是バカリヤツタラ或ハ悪イカモ知レナイガ、ソレ程害ガナイト言ハレル、勿論動物デモ小糠バカリデナク適當ニ秣ニ

混ゼテヤルベキモノデアリマス、十分御説明ノ出來ナイモノヲ強ヒテ私ハ説明ヲ求メル必要ハアリマセヌガ、此保健衛生ト云フコトハ今日何ヨリモ大切ナコトデアリマスカラ、願クハ委員長ヨリモ内務省ニ御話下サイマシテ、至急此製粉精米ニ付テノ取締法案ノ制定サレルコトヲ希望致シマス

○中委員長 先刻大竹サンカラ委員長ニ色御話ガゴザイマシタガ、本委員會ト致シマシテハ取扱上斷ジテ誤ツテ居ルコトハシナイ積リデアリマス、此段御斷リ致シマス、本案ハ採擇ニ決定致シマシテ御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○中委員長 ソレデハ採擇ト決定致シマス

○中委員長 日程第十二、「奈良月瀬線」及「月瀬上野線」ヲ指定府縣道ニ復活ノ件、第八十號、紹介議員ノ御説明ヲ願ヒマス

○福井甚三君 本請願ノ要旨ヲ簡單ニ御紹介致シマシテ御審議ヲ御願致シタイノデスガ、本請願ハ奈良月瀬線及比月瀬上野線ヲ指定府縣道ニ復活ラシテ戴キタイト云フノガ請願ノ要旨デアリマス、本路線ハ曩ニ府縣道トシテ内務省ノ指定ヲ受ケテ居ッタノデアリマスガ、突然トシテドウ云フ譯デアリマシタカ、昨年はガ指定ヲ取消サレタノ

デアリマス、本路線ハ既ニ御承知ノ通り名勝地デ、史蹟ニ富シテ居リマス所ノ梅林デ、最モ有名ナル月瀬デアリマス、殊ニ文部省ニ於テハ史蹟名勝ヲ保存セラル、コトニ非常ニ努メテ居ラレマスルニモ拘リマセズ、突然取消サレタト云フコトハ地元ノ者ニ取リマシテハ非常ナ遺憾ニ感ジテ居ル次第デゴザイマス、承リマスルト、是ハ内務省ノ道路ノ整理ノ爲ニ取消シタノダ、斯ウ云フヤウナ御話デアッタト云フコトヲ請願人ガ申シテ居リマスルガ、先程申上デマス通り、此月瀬ト云フ處ハ非常ナ名勝地デ、現ニ保勝會ガ益、擴大ヲ致シテ、各方面ノ識者ノ稱讃ヲ仰イデ居ル所デアリマス、殊ニ又奈良ト月瀬、三重縣ノ上野ト月瀬ノ交通上カラ考ヘマシテモ非常ニ重要ナル線路デゴザイマスノデ、ドウカ政府當局ノ御意見ヲ一應御聽キヲ願ヒマシテ、其上デ御採擇アランコトヲ切ニ希望致ス次第デアリマス

○**兒玉政府委員** 只今申述べラレマシタ路線ハ、月瀬ノ附近ヲ除キマス、沿道ハ大概山嶽地帯デゴザイマス、樞要地ニ乏シイノデゴザイマスシ、且ツ之ヲ改修致シマスルノニ、相當多額ノ經費ヲ要シマシテ、謂ハハ不經濟ナ路線デゴザイマスノデ、指定

道府縣道トシテ十分ノ機能ヲ發揮スルコトガ出來ナイヤウナ状態ニアルノデゴザイマス、仍テ本路線ヲ廢シマスル代リニ、奈良市カラ三重縣ノ上野町ニ達スル道路ト致シマシテ、京都府上狛町及ビ加茂町ヲ經テ、上野ニ到ル處ノ路線ヲ之ニ代ヘマシテ、新ニ指定道府縣道ニ編入シタヤウナ次第デゴザイマス、此新ニ指定致シマシタ所ノ府縣道ガ、數個ノ樞要地點ヲ相連絡シテ居リマシテ、其道路ノ經濟的價值ニ於キマシテ、以前ノモノヨリハ餘程優レテ居リマスノミナラズ、是ガ改修ノ爲ニモ經費ハ割合ニ小額ヲ以テ濟ミマスノデ、奈良上野間ノ交通ニ資スル處ハ大ナルモノガアルト存ズルノデゴザイマス、尤モ本請願ニ係リマスル路線ニ付キマシテキモ、將來同地方ノ發展ニ伴ヒマシテ、交通情勢等ガ變テ參リマスレバ、更ニ指定府縣道ト致シマスルコトニ考慮ラシテモ宜シイノデゴザイマスガ、當分ノ間ト致シマシテ、代線ヲ指定致シマシテ之ニ代ヘタヤウナ次第デゴザイマス

○**福井甚三君** 只今ノ政府委員ノ御答デハ一寸私モ首肯出來ナイ氣ガ致シマスカラ、一言申上ゲテ置キマス、要スルニ不便デアリ、道ノ改修費ガ澤山掛ルカラ出來ナイ、

斯ウ云フコトニ歸著スルヤウデアリマス、其代リ上野カラ廻ッテ行ケバ宜イデハナイカ、斯ウ云フ線デアアルカラ上野カラ奈良ノ月瀬ヘ參リマスノニ、上野ヲ經テ月瀬ヘ行クト云フコトハ非常ニ迂回スルヤウナ感じモ致シマス、又上野カラ奈良月瀬ノ線路モ府縣道ニ取消ニナルト云フ所ノ意思ガ少シモ判然シテ居リマセヌ、殊ニ又月瀬ノ土地發展云々ト仰セニナリマシタガ、近來日本精神ノ高調ガ叫バレテ居リマスル時期ニ際會致シテ、殊ニ我ガ奈良縣ハ皇紀二千六百年ノ大祭ヲ數年後ニ控ヘテ居ル譯デアリマスカラ、非常ニ是等ノ名勝史蹟ヲ探勝スル遊客ガ續々ト殖エテ居ルノデアリマス、斯ウ云フ所ニモ拘リマセズ、突然經費ガ澤山要ルカラ之ヲ取消シタノダ、又經濟上ノ價值ガナイカラト云フ御説明デハ吾々ガ首肯出來ナイ、何故カト言ヘバ御承知ノ通り月瀬ト云フ處ハ非常ニ山間地デアリマシテ、國費ノ恩典ニ與ルコトガ洵ニ渺イノデアリマス、斯様ナ不便ナ土地、斯様ナ歴史ノアル所ノ土地ニ向ッテハ、少々ノ經費ガ要リマシテモ其土地ニ十分ノ國費ノ恩典ヲ與ヘテコソ、初メテ庶政一新ノ目的ヲ達シ、今日ノ日本精神高調ニ努メルコトガ出來ルト思フノデアリマス、唯經濟々々デ、金ガ要ル

カラヤレナイノダ、斯ウ云フ御説明デハドウモ吾々ハ首肯出來ナイノデアリマス、縣當局ニ於キマシテモ斯ウ云フモノヲ取消シタト云フコトニ付テ、内務省ノ道路政策ニ甚ダ遺憾ヲ感ジテ居ル、斯ウ云フコトニ請願者ハ當面致シテ居ルヤウナ次第デアリマス、殊ニ奈良縣會ニ於テモ此線路ヲ取消シタコトハ、何等カノ事情——誰カノ運動ニ依ッテ取消サレタノデハアルマイカト云フ疑マデ持ッテ居ル問題デアリマス、サウ云フ譯デアリマスルカラ、篤ト一ツ御考慮ノ上デ、殊ニ大和ハ二千六百年デ各名勝史蹟ヲ探勝シヨウ、又月瀬ノ梅林ノ結構ナ處、賴山陽ノ歴史ヲ一ツ探ッテ見ヨウ、斯ウ云フ客ガ續續上野ナリ、奈良ヨリ遊覽ニ來ル、サウ云フ客ガ殖エテ居ル次第デアリマスルカラ、此邊ハ篤ト一ツ御調査ノ上御考ヲ願ヒタイト思ヒマス、只今ハ唯金ガ掛ルカラマダヤレナイノデアアル、價值ガナイカラヤレナイト云フヤウナ御考デ、之ヲ御取消ニナルト云フコトニ付キシマテハ、吾々ハ何トシテモ首肯ノ出來ナイコトデアリマスカラ、篤ト一ツ御考ヲ願ヒタイト存ジマス、ドウカ委員諸君ニ於カセラレマシテモ、只今政府委員ノ御答辯モアリマシタガ、私ノ御願ヲ致ス趣旨ヲ諒トセラレマシテ、何卒御採擇ア

ランコトヲ御願致シマス

〔採擇願ヒマス〕ト呼フ者アリ〕

○中委員長 採擇ニ御異議アリマセスカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ〕

○中委員長 ソレデハ左様決定致シマス

○中委員長 次ハ日程第十三、理髮業者ニ對スル營業稅免除ノ件、文書表第四十二號、紹介議員ノ御説明ヲ願ヒマス

○矢野床太郎君 本請願ハ理髮業者ニ對スル營業稅——是ハ地方稅タル營業稅デアリマス、其營業稅ヲ免除シテ貰ヒタイト云フ請願デアリマス、其要旨ヲ申上ゲマス

ルト、理髮業ハ、人體ヲ職業ノ對象トシテ居リマシテ、一定ノ法規ノ下ニ、色色ナ技術ヲ施スモノナル點ニ於テ、醫師、產婆、鍼按業者ナドト少シモ變ル所ハナイ、然ルニモ拘ラズ、獨リ理髮業者ノミガ、高率ノ營業稅ヲ賦課セラレテ居ルト云フ實情ハ、極メテ不合理デアルカラシテ、來ルベキ稅制改革ノ際ニ於テ理髮業者ニ對スル營業稅ヲ免除シテ貰ヒタイト云フノデアリマス、此聲ハ請願人太田貞雄外百四十九名ダケノ聲デハナクシテ、恐ラク全國ニ亙ル非常ナ多數ノ理髮業者ノ要求デアラウト存ジマスルノデ、此請願ノ趣旨ヲ御採擇下サランコトヲ御願申上ゲマス、此際

政府ニ一寸御尋シタイノデゴザイマスカ、委員長宜シウゴザイマスカ

○中委員長 宜シウゴザイマス

○矢野庄太郎君 政府ノ方ニ御尋致シマス、ソレハ地方稅タル營業稅ノ稅收ハ、十一年度デドノ位ノ金額ニ上ツテ居リマスカ、又前内閣ニ於テハ、此營業稅ハ半減位ニスル計畫デアッタト承知致シテ居ルノデスガ、其點ハ如何デセウカ

○田中内務書記官 私ヨリ御答申シマス、地方稅ノ營業稅ノ總額ヲ申上ゲマスカ、昭和十一年度ノ當初豫算ニ於キマスカ、府縣ガ約七百萬圓、市町村ヲ通ジマシテ七百萬圓デゴザイマシテ、合計致シマシテ千四百萬圓ニナツテ居リマス、其中デ理髮業ヲ申上ゲマスト、理髮業ニ課ケテ居リマスカ、營業稅ハ府縣三十七萬圓デゴザイマス、市町村ハヤハリ彼此レ同額ガ課ケテ居リマス

○矢野庄太郎君 只今承リマスト、理髮業者ノ納メテ居ル營業稅ハ、七拾萬圓位ト承知致シテ宜シウゴザイマスカ——シテ見ルト極メテ少額ノ稅收デアリマスノデ、是非此請願ヲ御採擇下サランコトヲ、委員各位ニ御願申上ゲマス

○岡田委員 今ノ數字ハ分リマシタガ、政府ハ今度ノ稅制改正ニ對シテドンナ御意向

デアルカ、一言伺ツテ置キタイ

○田中内務書記官 營業稅ハ御承知ノ如クニ雜多ナ營業ニ課ケテ居リマスノデ、之ニ付キマシテハ内務省トシテモ色々研究致シテ居ル次第デゴザイマス、唯理髮業ニ付キマシテハ、ヤハリ單純ナル道具トカ、單純ナル技能ト云フ以外ニ、多少設備モゴザイマスシ、資本モ投下シテ居リマスノガゴザイマスノデ、内務省ト致シマシテハ、他ノ營業稅ヲ課ケテ居リマスル狀態ト比較致シマシテ、營業稅ヲ全廢致スノハドウ云フモノデアラウカト云フ風ニ、只今ノ所考ヘテ居ル次第デゴザイマス、併ナガラ先程申上ゲマシタヤウニ、營業稅ト云フモノハ少額ノ營業收益ヲ上ゲテ居リマス者ニ課カテ居ル場合ガ多イノデゴザイマスルノデ、是等ノ點ニ付キマシテ、稅制改革ノ時ニ考究シテ見タイ考ヘテ居リマス、理髮業者ニ對スル營業稅ヲ全廢スルト云フコトハドウデアラウカト云フ疑惑ヲ、今日持ツテ居ルト云フコトヲ御答申上ゲテ置キマス

○矢野庄太郎君 政府ノ説明ヲ聞キマスカト全廢ハ出來ナイ、併ナガラ輕減ヲスル計畫ハシテ居ルト云フ風ニ聞エルノデアリマスガ、此請願人モ勿論免稅ハ希望シテ居ルノデアリマスカレドモ、免稅ガ出來ナイ場

合ハ輕減シテ貰ヒタイト云フ意思ガ、當然含マレテ居ルモノト思ヒマスノデ、其意味ニ於テ御採擇アランコトヲ希望致シマス

○岡田委員 今紹介議員モ既ニ減稅ノ程度デモ請願ノ趣旨ハ宜イト云フ御意嚮デアラカラシテ、其意味ニ於テ採擇シテ宜シイト思ヒマス

○中委員長 採擇ニ御異議アリマセスカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ〕

○中委員長 ソレデハ左様決シマス本日ハ是ニテ散會ヲ致シマス

午後五時三十分散會

〔參照〕

既ニ審査ヲ終リタル請願ト同一趣旨ノ請願ニシテ前請願ト同一ノ議決ヲ爲シタルモノト認メタルモノ

一 兵役義務者及傷痍軍人待遇改善施設ニ關スル件（第一八四號乃至第一八七號、第一九〇號、第二〇八號、第二七

七號）ハ採擇

二 産業組合稅反對ニ關スル件（第一

三一號、第一五〇號、第一九一號、第

二〇七號、第二六〇號）ハ採擇

三 產婆法制定ノ件（第一九二號乃至第

二〇二號、第二五〇號乃至第二五五號、

第二六三號乃至第二六八號）ハ採擇

昭和十二年三月九日印刷

昭和十二年三月十日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局